

一般廃棄物処理基本計画

平成 2 8 年 3 月

新 上 五 島 町

はじめに

今日、これまでの私たちの 1 人ひとりの日常生活や産業活動の影響などによって、資源の枯渇や環境への負荷が増大し、異常気象・生態系への影響等の深刻な事態をもたらす地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模での環境問題が生じている。

ごみ問題もその中の一つで、特に、近年ごみ量の増大やごみ処理に起因する環境汚染が顕著となり、環境負荷の軽減、ごみ減量化対策の強化の必要性が生じたことから、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄といった社会構造の見直しが必要となってきた。

また、快適で豊かな生活環境の確保や環境保全に対する社会的要請の高まりのなか、海域、河川などの公共用水域における生活排水による水質汚濁の防止が重要な課題となっている。

このような状況の中、「若松町、上五島町、新魚目町、有川町、奈良尾町」の旧 5 町で構成されていた上五島地域広域市町村圏組合で、資源ごみの選別、粗大可燃ごみ、不燃ごみの処理と再生利用を促進するリサイクルプラザの建設を行い、平成 14 年 4 月 1 日から処理を開始し、資源ごみの分別収集品目を拡大した。併せて、し尿・汚泥を処理しコンポスト化して農地に還元するため汚泥再生処理センターの建設も行い、同じく平成 14 年 4 月 1 日から処理を開始し、海洋投入を廃止してし尿・汚泥を適正に処理するようになった。

さらに、ダイオキシンなどの国の厳しい排出基準を十分クリアすることができる信頼性の高い各種公害防止装置や焼却後の灰を熔融処理してスラグにする灰熔融施設を備えたごみ焼却施設の建設も行い、平成 14 年 12 月から旧 5 町の可燃ごみを焼却するようになった。

平成 16 年 8 月 1 日に 5 町合併により新上五島町が発足し、これを機に平成 17 年 4 月 1 日からごみ処理手数料の徴収方法を、従来の定額徴収方式からごみ袋有料化方式に変更するなど、家庭ごみの減量化と資源物の分別促進に取り組んできた。また、合併処理浄化槽設置補助を実施するなど水質汚濁防止にも取り組んできた。

これらのことにより、住民のごみ問題や生活排水処理に対する意識が高まり、ごみ量もやや減少傾向にあり、また、合併処理浄化槽設置者が年々増加しているものの、本町のごみ処理や生活排水処理を取り巻く環境は依然厳しい状況にあるのが現状である。

本計画は、このような廃棄物を取り巻く諸情勢の変化に対応するため、今後、本町において循環型社会を目指すために講ずべきごみ及び生活排水の処理の諸施策について基本方針を策定するものである。

なお、本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 6 条の規定に基づき策定するものであり、住民、事業者、行政が一体となった一般廃棄物の減量化・再資源化並びに適正処理を推進していくものである。

平成 28 年 3 月

目 次

第1部 基本的事項

| | |
|--------------------|----|
| 第1章 新上五島町の概要及び将来構想 | 1 |
| 第1節 新上五島町の概要 | 1 |
| 第2節 新上五島町の将来構想 | 12 |

第2部 ごみ処理

| | |
|-------------------|----|
| 第1章 ごみ処理の現況と評価 | 13 |
| 第1節 処理体系の概要 | 13 |
| 第2節 ごみの排出量及び性状 | 16 |
| 第3節 分別の現況 | 22 |
| 第4節 減量化・再資源化の現況 | 23 |
| 第5節 収集運搬の現況 | 25 |
| 第6節 中間処理の現況 | 26 |
| 第7節 最終処分の現況 | 33 |
| 第8節 処理体制に係る問題点と課題 | 35 |
| 第9節 関係市町村の動向 | 36 |
| 第2章 ごみ処理基本計画 | 37 |
| 第1節 基本方針 | 37 |
| 第2節 人口の将来推計 | 38 |
| 第3節 ごみ排出量の将来推計 | 40 |
| 第4節 減量化・再資源化目標 | 42 |
| 第3章 処理計画 | 45 |
| 第1節 減量化、再資源化計画 | 45 |
| 第2節 収集運搬計画 | 48 |
| 第3節 中間処理計画 | 50 |
| 第4節 最終処分計画 | 53 |
| 第5節 その他の対策 | 54 |

第3部 生活排水処理

| | |
|------------------|----|
| 第1章 生活排水処理の現況と評価 | 55 |
| 第1節 生活排水処理の現況 | 55 |
| 第2節 生活排水処理の課題 | 66 |
| 第2章 生活排水処理基本計画 | 67 |
| 第1節 基本方針 | 67 |
| 第2節 生活排水処理基本計画 | 69 |
| 第3節 将来予測 | 74 |
| 第4節 生活排水処理計画 | 78 |

第5節 し尿・汚泥の処理計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・82

検討資料

第1部 基本的事項

第1章 新上五島町の概要及び将来構想

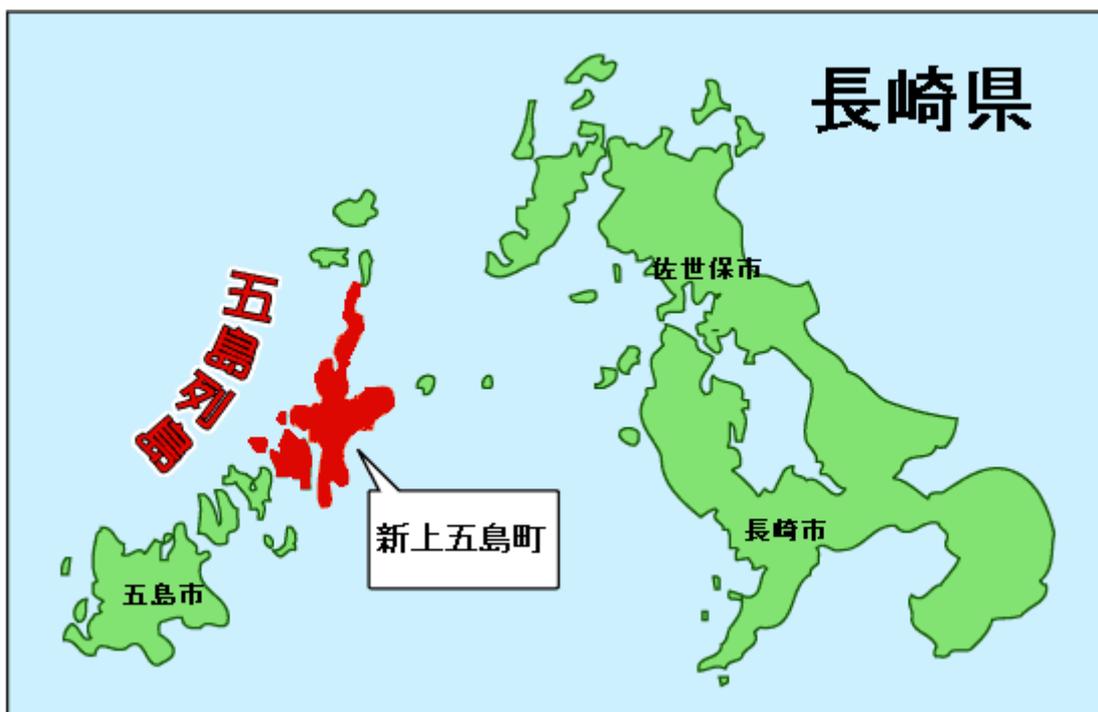
第1節 新上五島町の概要

1. 位置

新上五島町は、長崎県の西方、五島列島の北部に位置し、中通島と若松島を主体とする7つの有人島と60の無人島から構成されている。

北は海上600mを隔てて北松浦郡小値賀町野崎島と接し、南は海上約900mを隔てて五島市奈留島と接している。本土には、奈良尾港から長崎港まで77km、有川港から佐世保港まで60kmの距離（いずれも直線）にある。

以下にその位置を示す。



2. 地形と気候

地形は全般に細長く、極めて複雑で、山から急勾配で海に面しているため、平地は海岸沿いにわずかに広がっているにとどまり、大きな河川はない。

海岸線延長は 429km に及び、南北に細長い中通島には白砂をたたえた多くの自然海浜が存在し、海蝕崖など複雑で変化にとんだ地形が特色となっている。また、東海岸の断崖の男性的な眺望と、西海岸に広がる若松瀬戸の景観は非常に美しく、観光客にも人気がある。海と山の豊かな自然を擁する本町は、その大部分が西海国立公園に指定されている。

気候は、対馬暖流の影響を受け比較的温暖な海洋性気候であるが、春から夏には南東の風が、秋から冬にかけては北西の季節風が多く、また、台風の常襲地域であることから年間降水量が多くなっている。

3. 沿革

上五島地域では、地域内の各所で旧石器時代、縄文時代、弥生時代の遺跡が発見されていることから、これらの時代から人類が生活を営んでいたと推測されている。平安時代には、遣唐使船の寄港地にもなるなど、大陸交流の拠点として栄えた。

また、江戸時代には、幕府からの厳しい弾圧によって信仰を隠さなければならなかったキリスト教徒が、新たな生活の場として移住した地域の一つでもある。

産業的には、一本釣り、定置網、まき網、養殖などの水産業中心に栄え、今日はその衰退がみられるものの、これまでに蓄積された歴史・文化は脈々と受け継がれている。

さらに、カトリック教会や寺社をはじめとして地域内には多くの遺跡や文化財が残っている。上五島神楽や青方念仏踊り、捕鯨の伝統を伝える鯨唄や羽差太鼓等の郷土芸能、弁財天などの伝統行事等が継承され、独特の地域文化を形成している。

合併に関しては、町村制が施行された明治 22 年 4 月 1 日、上五島地域は若松村、日ノ島村、青方村、浜ノ浦村、魚目村、北魚目村、有川村、奈良尾村の 8 村で構成されていた。その後、昭和に入って、青方村、有川村、奈良尾村がそれぞれ町制を施行している。全国的に市町村合併が促進され、「昭和の大合併」と呼ばれた昭和 30 年代には、上五島地域でも合併が進み、若松村と日ノ島村が若松町に、青方町と浜ノ浦村が上五島町に、魚目村と北魚目村が新魚目町に、それぞれ合併した。

こうした歴史的条件に加え、経済的、社会的にもつながりの強い上五島地域は住民の交流も盛んであり、平成 3 年に若松大橋が完成したことにより、中通島と若松島は陸路で結ばれ、その 13 年後の平成 16 年 8 月には 5 町が合併し新上五島町が誕生し、上五島地域の一体性は以前にも増して高まっている。

21 世紀を迎え、国際化、情報化、地方分権など社会環境は大きく変化している中で、水産業の停滞、定住人口の減少と少子・高齢化の進行など多くの問題を抱えているが、これらの問題の解決を図りつつ、行財政基盤を強化し、より一層の住民サービス向上と地域の活性化に向けた新たなまちづくりに取り組む必要がある。

4. 人口動態と分析

本町の人口推移を以下に示す。

本町の人口推移においては、平成 17 年度と比較して減少傾向にあり、平成 26 年度人口は 20,780 人であった。

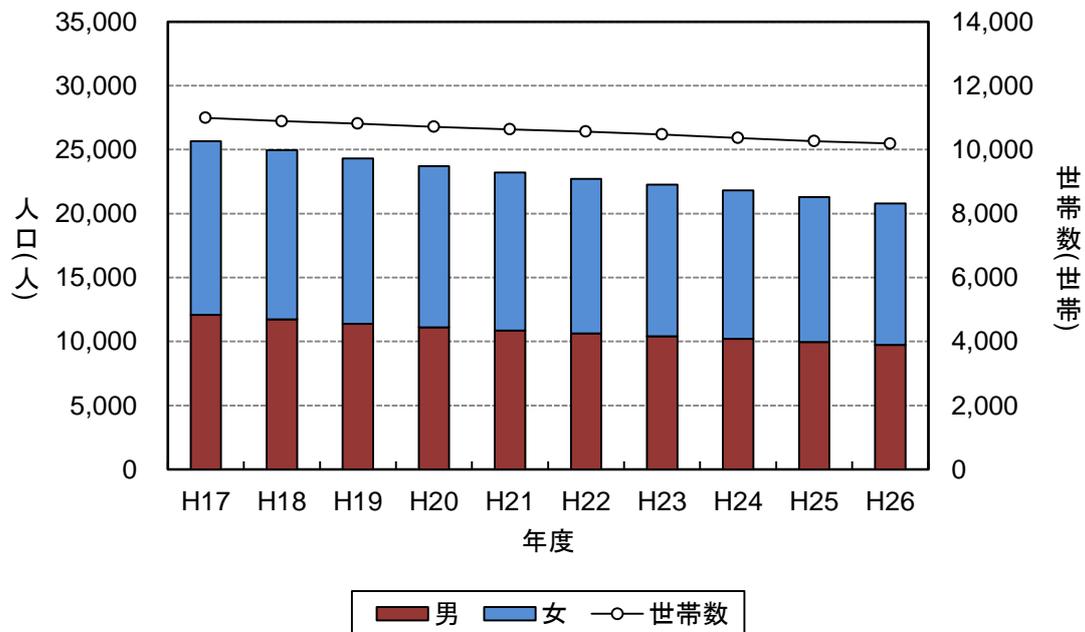
世帯数推移においても減少傾向にあり、平成 26 年度世帯数は 10,189 世帯であった。

また、1 世帯構成人員、人口密度においても、いずれも減少傾向にある。

人口の推移

単位：人

| 年度 | 世帯数 (世帯) | 人口 | | | 1 世帯 構成人員 | 人口密度 (1 km ² 当たり) |
|----------|-------------|--------|--------|--------|--------------|---------------------------------|
| | | 男 | 女 | 計 | | |
| 平成 17 年度 | 10,992 | 12,089 | 13,565 | 25,654 | 2.3 | 120 |
| 平成 18 年度 | 10,887 | 11,731 | 13,228 | 24,959 | 2.3 | 117 |
| 平成 19 年度 | 10,814 | 11,374 | 12,925 | 24,299 | 2.2 | 114 |
| 平成 20 年度 | 10,716 | 11,098 | 12,621 | 23,719 | 2.2 | 111 |
| 平成 21 年度 | 10,635 | 10,857 | 12,353 | 23,210 | 2.2 | 108 |
| 平成 22 年度 | 10,565 | 10,643 | 12,077 | 22,720 | 2.2 | 106 |
| 平成 23 年度 | 10,475 | 10,402 | 11,852 | 22,254 | 2.1 | 104 |
| 平成 24 年度 | 10,366 | 10,198 | 11,611 | 21,809 | 2.1 | 102 |
| 平成 25 年度 | 10,264 | 9,953 | 11,332 | 21,285 | 2.1 | 99 |
| 平成 26 年度 | 10,189 | 9,738 | 11,042 | 20,780 | 2.0 | 97 |



人口の推移

5. 観光人口

新上五島町は、美しい自然景観と遣唐使、倭寇、キリシタンなど多くの歴史的文化遺産に恵まれた国内に残された数少ない観光地として最近注目を浴びており、観光産業は水産業に次ぐ上五島の基幹産業となりつつある。しかしながら、観光客数の伸びを見ると、平成 17 年度から平成 20 年度にかけて落ち込むものの、その後は増加傾向となっている。

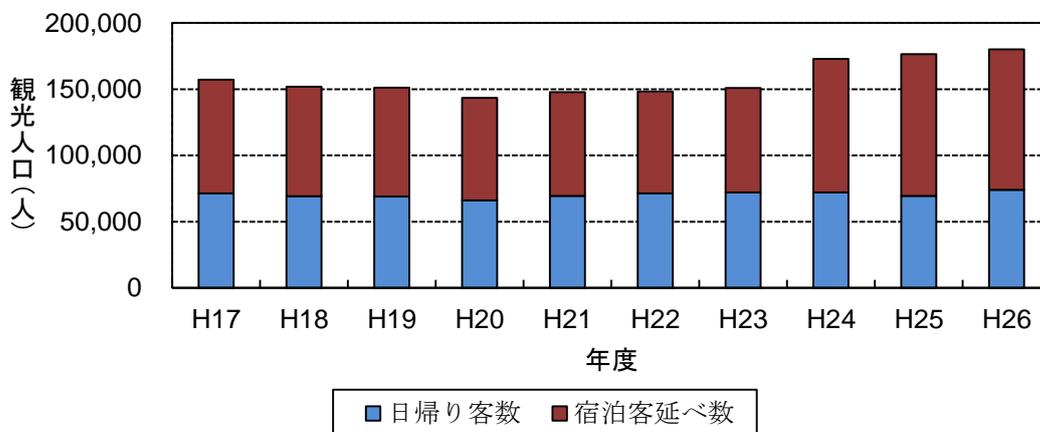
平成 27 年 1 月に、「長崎の教会群」の世界遺産推薦が正式決定され、平成 28 年度の世界遺産登録を目指している。今後、観光人口が増加すると考えられ、ホテル、旅館等の宿泊能力、交通機関等受け入れ体制の整備や、広く島外に情報を発信し、積極的に観光振興に取り組むことが求められている。

以下に本町における観光人口の推移を示す。(資料：長崎県観光統計)

本町における観光人口の推移

単位：人

| 区分 年 | 観光人口 | | | 観光客実数 | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|--------|-----------|
| | 日帰り 客数 | 宿泊客 延数 | 観光客 延数 | 地元客 | 県内客 | 県外客 | 観光客 実数 |
| 平成 17 年 | 71,294 | 85,862 | 157,156 | 17,801 | 43,504 | 63,993 | 125,298 |
| 平成 18 年 | 69,226 | 82,685 | 151,911 | 16,910 | 42,242 | 63,051 | 122,203 |
| 平成 19 年 | 69,018 | 82,106 | 151,124 | 17,350 | 41,693 | 62,736 | 121,779 |
| 平成 20 年 | 66,050 | 77,343 | 143,393 | 15,268 | 39,399 | 59,034 | 113,701 |
| 平成 21 年 | 69,485 | 78,348 | 147,833 | 19,793 | 40,581 | 57,381 | 117,755 |
| 平成 22 年 | 71,430 | 76,781 | 148,211 | 28,937 | 38,673 | 53,200 | 120,810 |
| 平成 23 年 | 72,015 | 78,854 | 150,869 | 27,563 | 38,703 | 54,981 | 121,247 |
| 平成 24 年 | 72,159 | 100,775 | 172,934 | 27,755 | 40,096 | 60,383 | 128,234 |
| 平成 25 年 | 69,345 | 107,023 | 176,368 | 29,559 | 41,470 | 62,465 | 133,494 |
| 平成 26 年 | 73,922 | 106,060 | 179,982 | 30,118 | 42,254 | 63,646 | 136,018 |



観光人口の推移

6. 市街地・集落等

近年、地域の拠点を結ぶ国道・県道などの幹線道路の整備が進むとともに、モータリゼーションの進展などによって、住民の日常生活の行動範囲はますます拡大している。

また、5町合併により役場本庁が青方地区に設置され、大型店舗やレジャー施設が青方地区、浦桑地区、有川地区に集積していることに併せて、旅館・ホテル等の宿泊施設も集中していること等から、これらの地区を有する町の中心部が、町内のにぎわいと交流のゾーンとして市街地・集落地を形成している。

さらに、この地域は、青方港・有川港・鯛ノ浦港を擁し、本土との交通アクセスとして福岡・長崎・佐世保方面への航路が整備されている。また、高速海上輸送時代を迎え、長崎市、佐世保市への旅行も日帰りが可能となり、短縮化されていく本土への輸送時間に、住民の生活圏も島内から島外へと確実に進んでいる。

7. 産業の動向

平成7年から平成22年の過去4回の国勢調査における産業別就業者数を見ると、総数としては人口の減少傾向に伴い、平成7年の12,186人から平成22年の8,640人と減ってきている。産業別に見てみると、第一次産業が平成7年の2,726人から平成22年の982人と減少が顕著である。また、第二次産業も平成7年の2,502人から平成22年の1,381人と、第一次産業就業者数と比べると緩やかではあるが、減少傾向が顕著となっている。

一方、第三次産業は、平成7年の6,958人から平成22年の6,277人と、人口の減少傾向に伴い緩やかな減少傾向を示している。

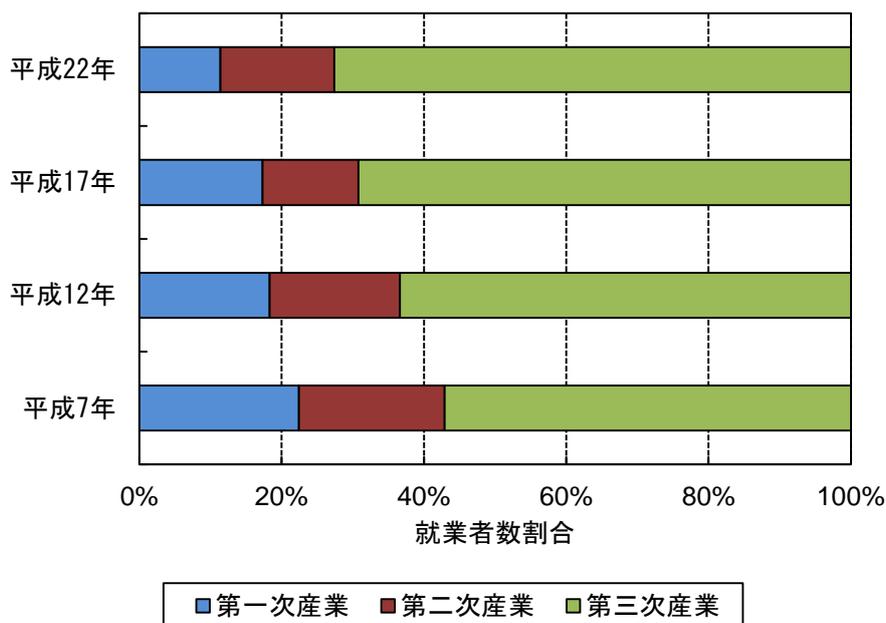
構成比については、第一次産業で22.4%から11.4%へと減少しており、第二次産業は20.5%から16.0%へと緩やかな減少の状況にある。第三次産業は、57.1%から72.6%へと増加傾向にあり、全体の7割以上を占めている。

以下に本町における産業別就業者数の推移を示す。(資料：国勢調査)

本町における産業別就業者数の推移

単位 実数：人，構成比：%

| 区分 産業 | 平成7年 | | 平成12年 | | 平成17年 | | 平成22年 | |
|----------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 実数 | 構成比 | 実数 | 構成比 | 実数 | 構成比 | 実数 | 構成比 |
| 第一次産業 | 2,726 | 22.4 | 2,014 | 18.3 | 1,667 | 17.3 | 982 | 11.4 |
| 第二次産業 | 2,502 | 20.5 | 2,014 | 18.3 | 1,304 | 13.5 | 1,381 | 16.0 |
| 第三次産業 | 6,958 | 57.1 | 6,951 | 63.4 | 6,672 | 69.2 | 6,277 | 72.6 |
| 就業者総数 | 12,186 | 100.0 | 10,979 | 100.0 | 9,643 | 100.0 | 8,640 | 100.0 |



産業別就業者構成割合

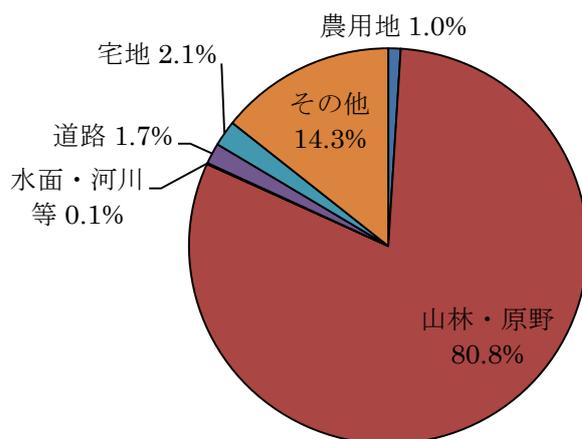
8. 土地利用状況

土地利用状況は、下記のとおりである。

地目区分では、山林・原野が全体の 80%強を占め、その谷間や海岸部に農地、宅地等が点在しており、農用地は 2.20km²で 1.0%、宅地においては 4.49km²で 2.1%となっている。

本町における土地利用状況（平成 21 年度土地利用現況把握調査）

| 項目 | 面積 (km ²) | 率 (%) |
|--------|-----------------------|-------|
| 農用地 | 2.20 | 1.0 |
| 山林・原野 | 172.86 | 80.8 |
| 水面・河川等 | 0.27 | 0.1 |
| 道路 | 3.56 | 1.7 |
| 宅地 | 4.49 | 2.1 |
| その他 | 30.59 | 14.3 |
| 総面積 | 213.97 | 100.0 |



本町の土地利用状況（平成 21 年度土地利用現況把握調査）

9. 交通

本町の幹線道路は、国道 384 号、主要地方道として若松白魚線・有川新魚目線・有川奈良尾線、一般県道として上五島空港線・太田有川線・日島猿浦線・青方港魚目線・佐尾港線・岩瀬浦港線があり、その他一級・二級町道とで構成されている。

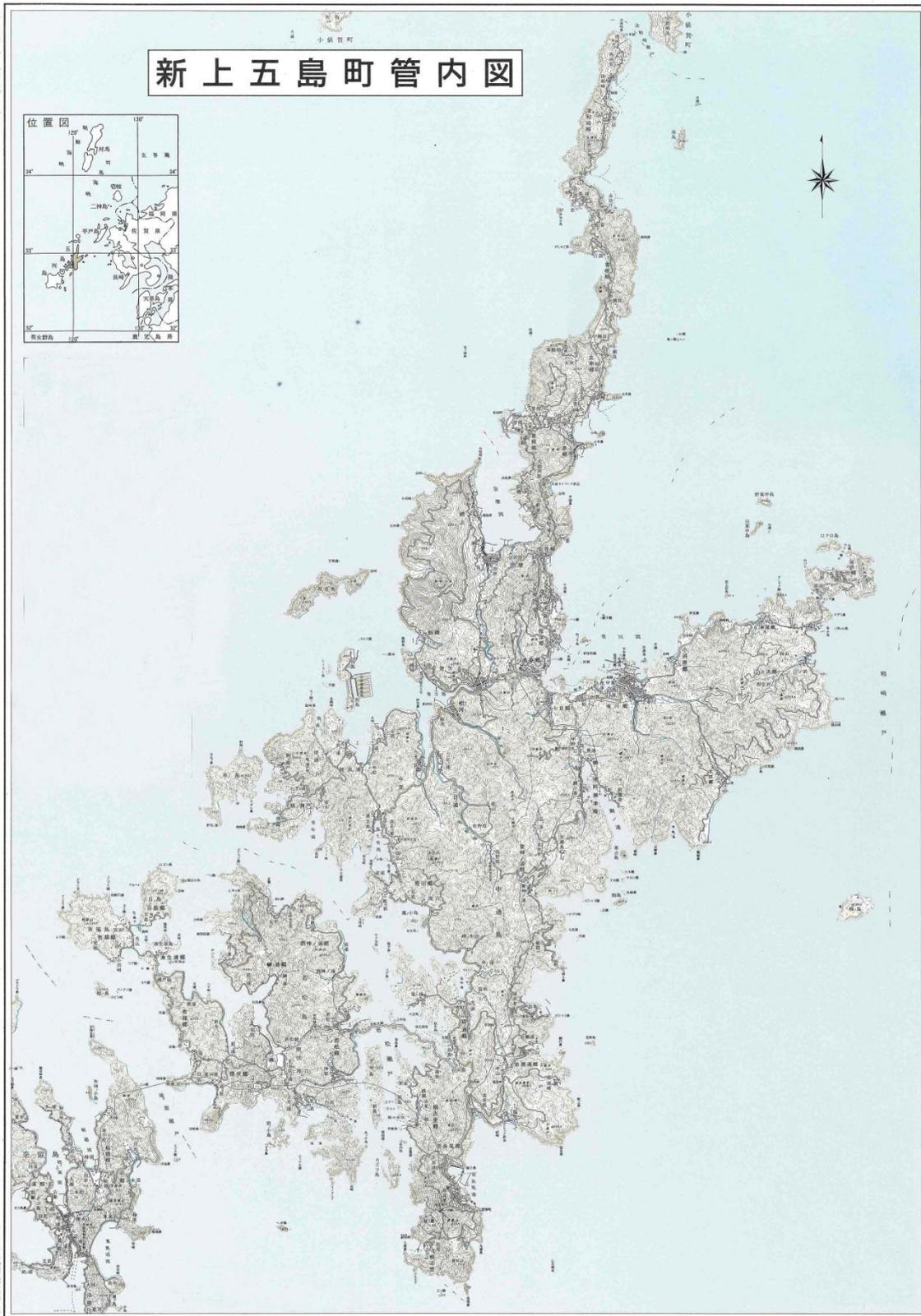
なかでも、上五島縦貫道路としての役割を果たしている国道 384 号は、昭和 50 年国道昇格以来、5 箇所トンネルが開通するなど急速に整備が進んできた。

また、一般県道である若松島の日島猿浦線は若松島唯一の生活及び産業道路であり、若松大橋の開通により更にその重要性を増している。

本町内の主要交通網は定期バスであり、地域住民の足として重要な役割を担っており、自家用車の普及増によりバスの利用者が減少しているものの、その公共的性格から適切な運営がなされるように図っていかねばならない。

また、本土との交通アクセスについては、海路で長崎・佐世保・博多間を結ぶ定期航路便が高速化、大型化され、その利便性は増している。

平成十六年八月



アジア航測株式会社

新上五島町

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平16九独、第132号)」

新上五島町管内図

10. 気候

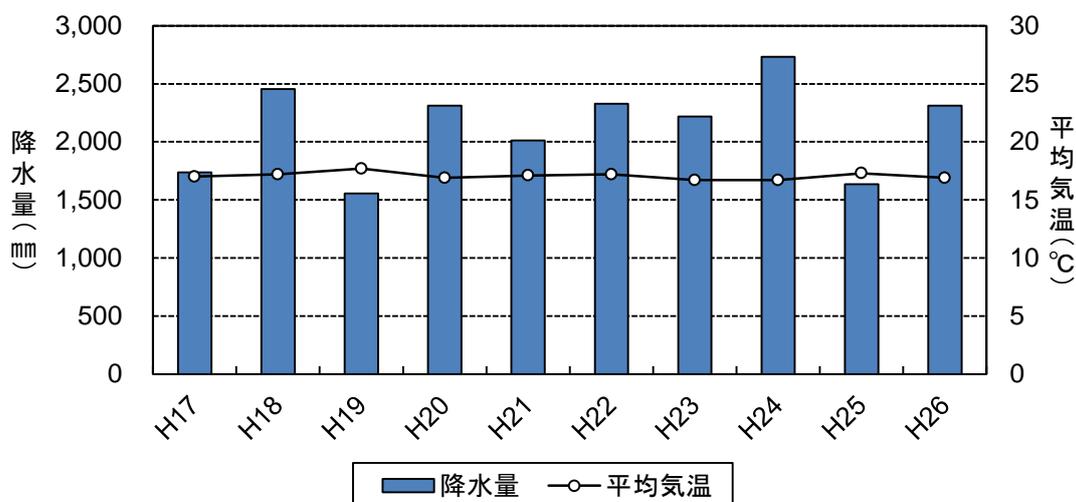
有川地域気象観測所における気象概要（平成26年）、平成17年～26年の気温・降水量の経年変化を以下に示す。

平成26年の平均気温は16.9℃と穏やかな気候であり、降水量は7月、8月に多くなっている。

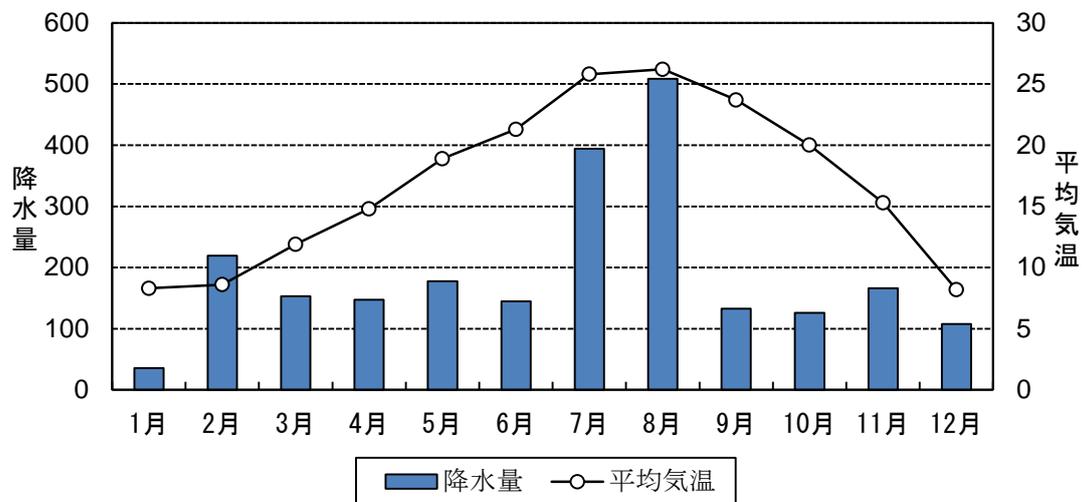
降水量の経年変化においては、平成7年～8年まで2,000mm以下であったが、平成20年以降は2,000mmを超えている年が多くなっている。平均気温の経年変化においては、17℃前後となっている。

平成26年の気象概要（有川地域気象観測所）

| | 気 温 (°C) | | | 平均風速 (m/s) | 降水量 (mm) |
|-----|----------|------|------|---------------|-------------|
| | 平均気温 | 最高気温 | 最低気温 | | |
| 1月 | 8.3 | 19.2 | 0.7 | 3.5 | 35.5 |
| 2月 | 8.6 | 18.8 | 1.7 | 4.3 | 219.5 |
| 3月 | 11.9 | 22.1 | 2.5 | 3.8 | 153.0 |
| 4月 | 14.8 | 24.0 | 6.0 | 2.8 | 147.5 |
| 5月 | 18.9 | 27.3 | 7.5 | 2.7 | 177.5 |
| 6月 | 21.3 | 28.3 | 16.0 | 2.6 | 145.0 |
| 7月 | 25.8 | 33.1 | 19.9 | 2.4 | 394.0 |
| 8月 | 26.2 | 31.9 | 20.8 | 3.3 | 508.5 |
| 9月 | 23.7 | 29.7 | 16.4 | 2.6 | 133.0 |
| 10月 | 20.0 | 26.8 | 11.7 | 4.2 | 126.0 |
| 11月 | 15.3 | 21.7 | 6.4 | 3.3 | 166.0 |
| 12月 | 8.2 | 18.8 | 1.0 | 3.9 | 107.5 |
| 年間 | 16.9 | 25.1 | 9.2 | 3.3 | 2,313.0 |



降水量・平均気温の経年変化



平成 26 年の降水量・平均気温

第 2 節 新上五島町の将来構想

1. 道路整備計画

主要幹線である国道 384 号を始め、主要地方道の若松白魚線、有川新魚目線、有川奈良尾線、一般県道、その他一・二級町道とも、随時、改良・補修・拡幅等について、県、本町で計画的に整備していくものとする。

また、本町内に新設路線としての大規模な計画は今のところ見あたらない。

しかしながら、ごみ処理やし尿処理の効率的な活動には道路の整備は欠かせないものであり、関係各位の協力を願うものである。

2. 開発計画

特に開発計画はないが、本町においては、全国平均を上回る少子高齢化が急激に進行しており、今後も人口減少の長期継続が見込まれる。そのような中、平成 26 年 12 月に「まち・ひと・しごと創生統合戦略」が策定され、人口減少に歯止めをかけるべく、人口減少対策を特に重点的に取り組み、地域資源を活用した観光 PR、地場産業の拡大とともに五島手延うどんのさらなる知名度アップを図ることで、販路の拡大と雇用機会の創出、さらには定住対策の諸施策を推進し、人口増大を目指す。

第2部 ごみ処理

第1章 ごみ処理の現況と評価

第1節 処理体系の概要

1. 処理フロー図

次頁に、平成26年度のごみ処理フロー図を示す。

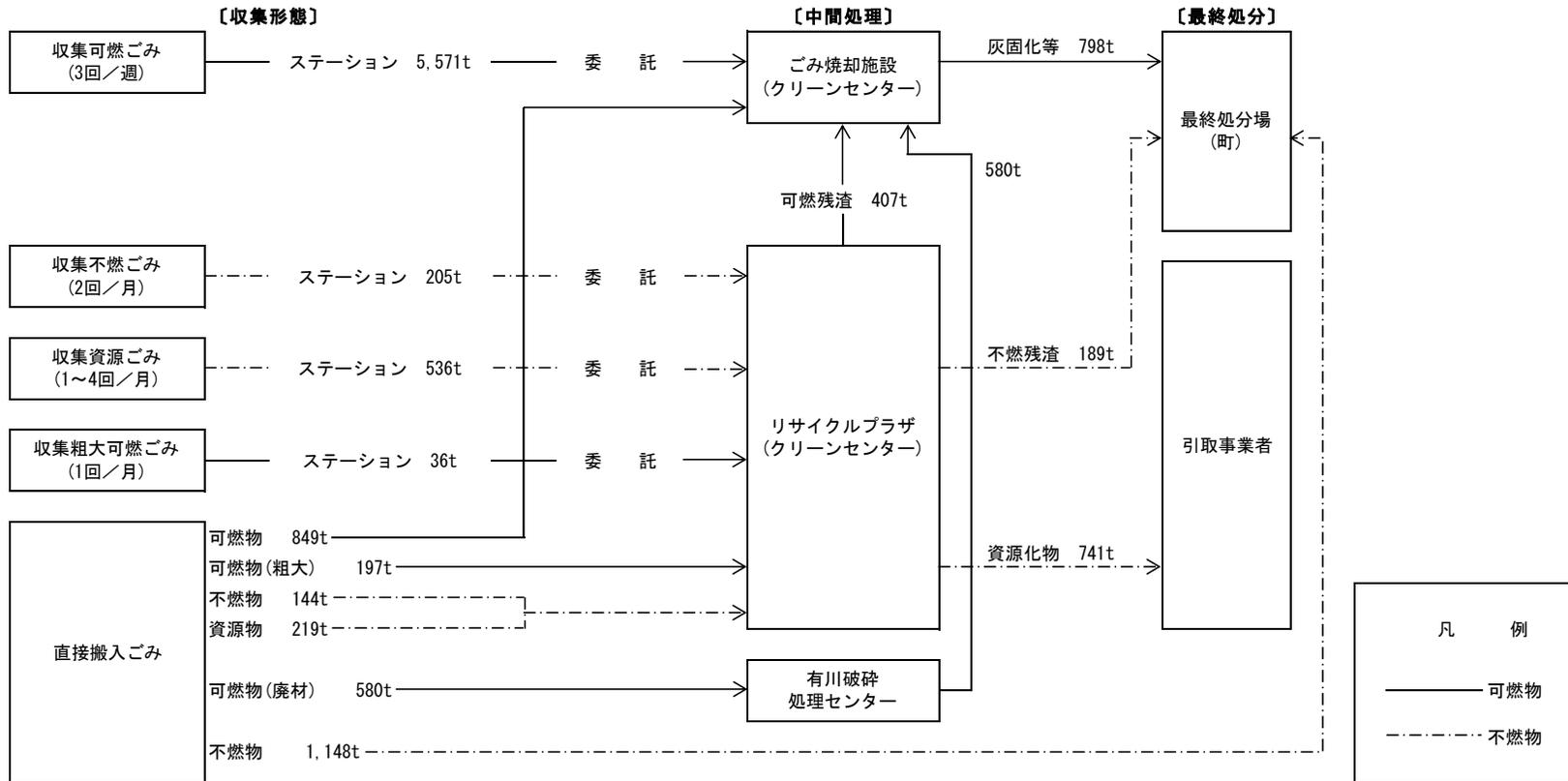
・新上五島町の概要（年度末）

| | | |
|--------|--------|----|
| 世帯数 | 10,189 | 世帯 |
| 総人口 | 20,780 | 人 |
| 計画収集人口 | 20,780 | 人 |
| 自家処理人数 | 0 | 人 |

| 収集形態別収集量(t) | |
|-------------|-------|
| 収集ごみ(可燃物) | 5,607 |
| 収集ごみ(不燃物) | 205 |
| 収集ごみ(資源ごみ) | 536 |
| 直接搬入ごみ(可燃物) | 1,626 |
| 直接搬入ごみ(不燃物) | 1,292 |
| 直接搬入ごみ(資源物) | 219 |
| 合計 | 9,485 |

| 処理施設別受入量(t) | |
|-------------|-------|
| ごみの直接焼却 | 6,420 |
| 焼却以外の中間処理施設 | 1,933 |
| ごみの直接埋立 | 1,132 |
| 合計 | 9,485 |

| 最終処分量(t) | |
|-------------|-------|
| 埋立処分(灰固化等) | 798 |
| 埋立処分(直接搬入物) | 1,132 |
| 埋立処分(不燃残渣) | 205 |
| 資源化 | 741 |
| 合計 | 2,876 |



新上五島町のごみ処理フロー（平成26年度実績）

2. 処理経費（処理別、推移、1人当り額、一般会計との比較）

収集運搬については、5業者へ委託し収集を行っている。

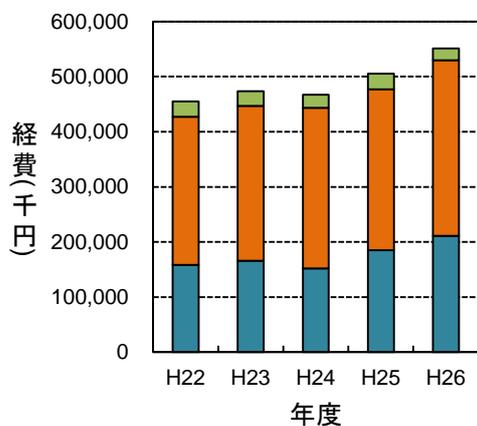
下記に本町のごみ処理経費の推移を以下に示す。

処理経費は年々増加傾向にあり、平成26年度には平成22年度の1.2倍に増加している。平成26年度の1人当りのごみ処理経費は、26,500円となっている。

本町におけるごみ処理経費の推移

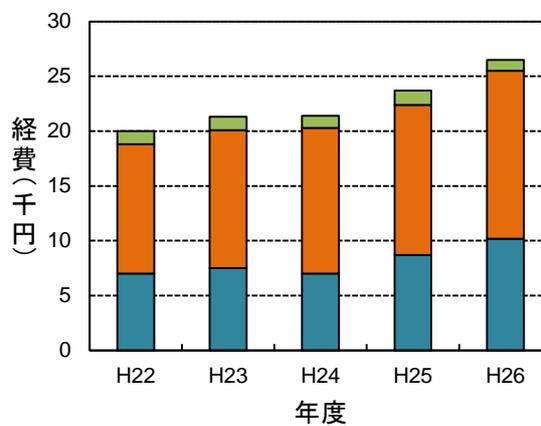
単位：千円

| 区分 | | 年度 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 収集運搬 経費 | 経費実績 | 158,659 | 166,186 | 152,217 | 185,118 |
| | 町民1人当り | 7.0 | 7.5 | 7.0 | 8.7 | 10.2 | |
| 処理 経費 | 経費実績 | 268,496 | 280,900 | 291,047 | 291,805 | 318,587 | |
| | 町民1人当り | 11.8 | 12.6 | 13.3 | 13.7 | 15.3 | |
| 最終処分 経費 | 経費実績 | 28,014 | 26,292 | 24,144 | 28,556 | 21,481 | |
| | 町民1人当り | 1.2 | 1.2 | 1.1 | 1.3 | 1.0 | |
| 経費合計 | 経費実績 | 455,169 | 473,378 | 467,408 | 505,479 | 551,301 | |
| | 町民1人当り | 20.0 | 21.3 | 21.4 | 23.7 | 26.5 | |
| | 一般会計に占める割合 | 2.36% | 2.56% | 2.60% | 2.64% | 3.01% | |



■収集運搬経費 ■処理経費 ■最終処分経費

ごみ処理経費の推移



■収集運搬経費 ■処理経費 ■最終処分経費

町民1人当たりのごみ処理経費の推移

第2節 ごみの排出量及び性状

1. 可燃ごみ

(1) 可燃ごみ排出量の推移

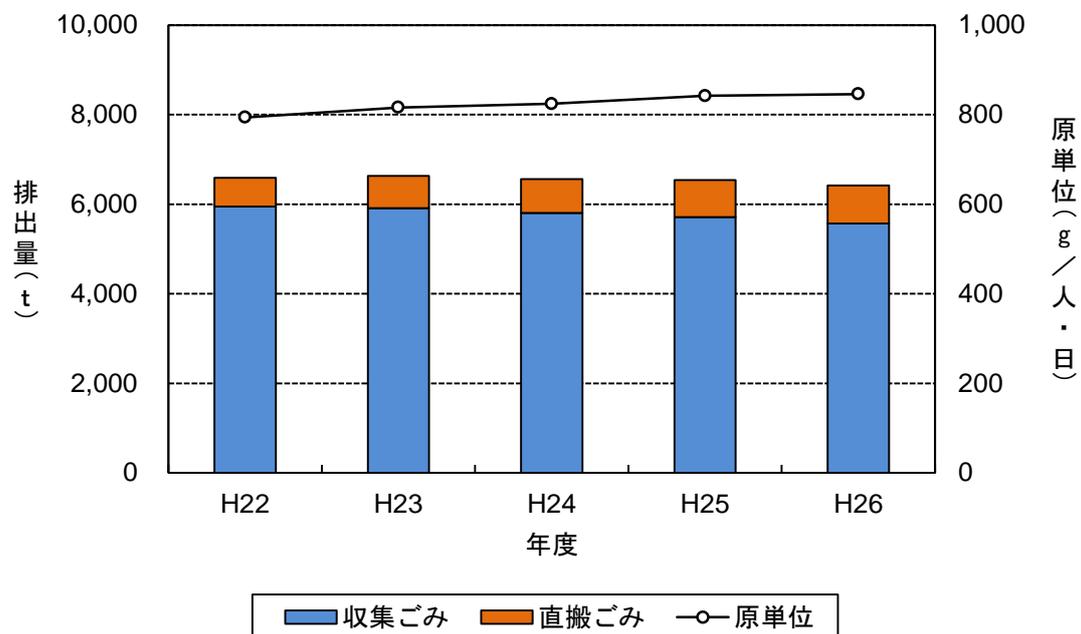
可燃ごみ排出量の推移を以下に示す。

これによると、本町の可燃ごみの量は、平成23年度をピークに年々減少傾向にあるが、町民1人1日当りの排出量においては、直搬ごみの増加に伴い、平成22年度の794g/人・日に対し、平成26年度では846g/人・日と増加している。

可燃ごみ排出量の推移

単位：t

| 区分 \ 年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 収集ごみ | 5,946 | 5,910 | 5,805 | 5,710 | 5,571 |
| 直搬ごみ | 640 | 722 | 755 | 832 | 849 |
| 合計 | 6,586 | 6,632 | 6,560 | 6,542 | 6,420 |
| 原単位 (g/人・日) | 794 | 816 | 824 | 842 | 846 |



可燃ごみ排出量の推移

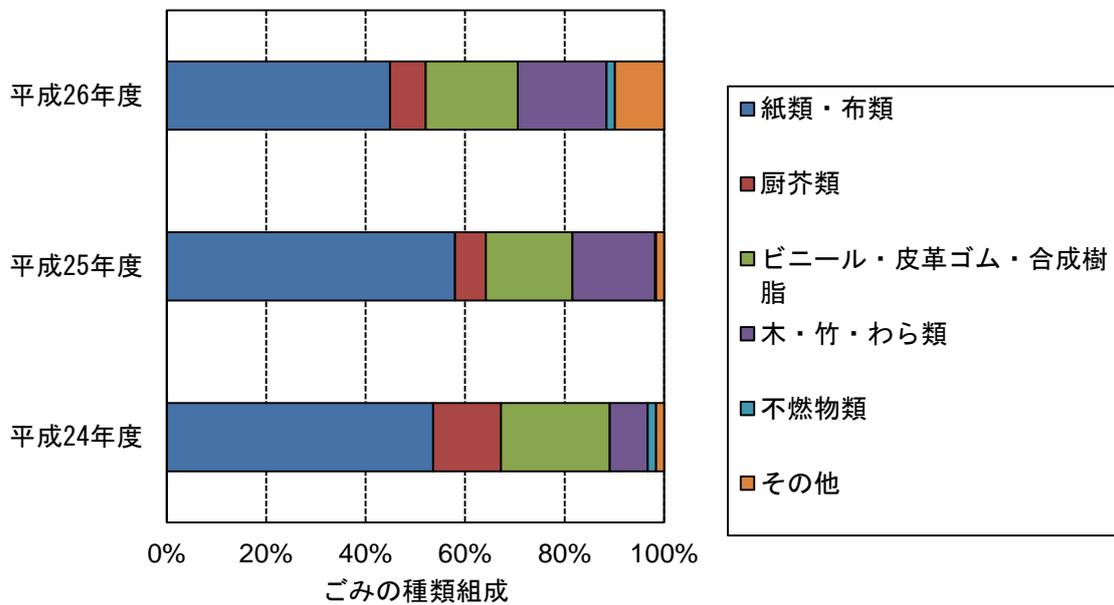
(2) ごみ質の推移

本町における平成 24 年度から平成 26 年度までのごみ焼却施設で調査したごみ質の推移を以下に示す。

紙類・布類の割合が平成 26 年度において減少したため、その他の割合が大きく増加している。他の項目については、ほぼ横ばいの状況である。

ごみ質の推移

| | | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|---------|--------------------------------|----------|----------|----------|
| ごみの種類組成 | 紙類・布類 (%) | 53.6 | 58.0 | 44.9 |
| | ビニール・皮革ゴム・合成樹脂 (%) | 21.9 | 17.4 | 18.5 |
| | 木・竹・わら類 (%) | 7.6 | 16.6 | 17.8 |
| | 厨芥類 (%) | 13.6 | 6.2 | 7.2 |
| | 不燃物類 (%) (金属類・ガラス類・瀬戸物・砂・石) | 1.7 | 0.2 | 1.7 |
| | その他 (%) | 1.6 | 1.6 | 9.9 |
| 三成分 | 水分 (%) | 50.4 | 39.2 | 46.6 |
| | 可燃分 (%) | 45.1 | 55.6 | 47.8 |
| | 灰分 (%) | 4.5 | 5.2 | 5.6 |
| 低位発熱量 | (kcal/kg) | 1,728 | 2,265 | 1,870 |
| | (kJ/kg) | 7,231 | 9,485 | 7,828 |



ごみ質の推移

2. 不燃ごみ排出量の推移

不燃ごみ排出量の推移を以下に示す。

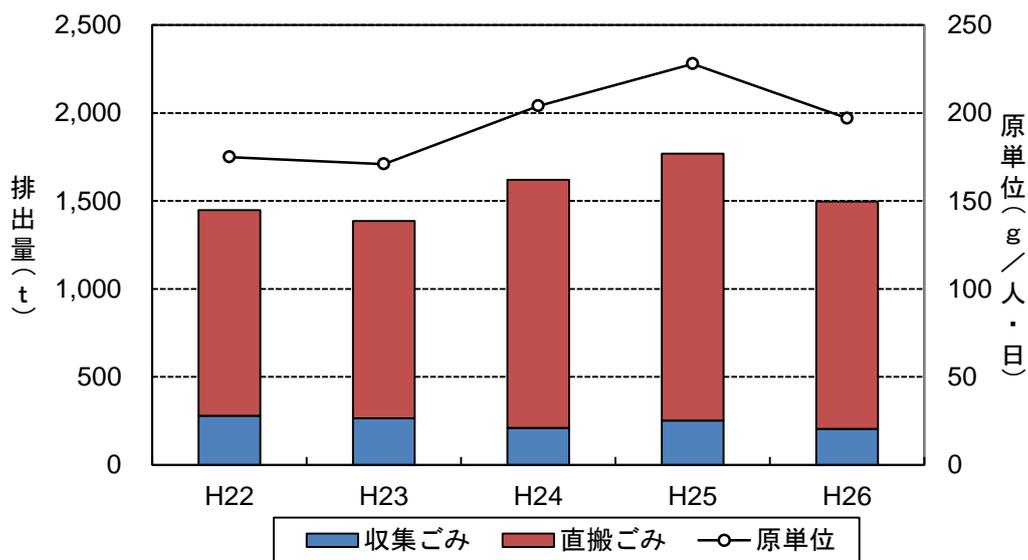
これによると、不燃ごみは平成 25 年度にかけて増加傾向であったが、平成 26 年度については減少傾向となっている。

また、町民 1 人 1 日当りの排出量についても同様である。

不燃ごみ排出量の推移

単位：t

| 年度 \ 区分 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 収集ごみ | 279 | 264 | 210 | 252 | 205 |
| 直搬ごみ | 1,170 | 1,123 | 1,411 | 1,517 | 1,292 |
| 合計 | 1,449 | 1,387 | 1,621 | 1,769 | 1,497 |
| 原単位 (g/人・日) | 175 | 171 | 204 | 228 | 197 |



不燃ごみ排出量の推移

3. 粗大可燃ごみの排出量の推移

粗大可燃ごみの排出量の推移を以下に示す。

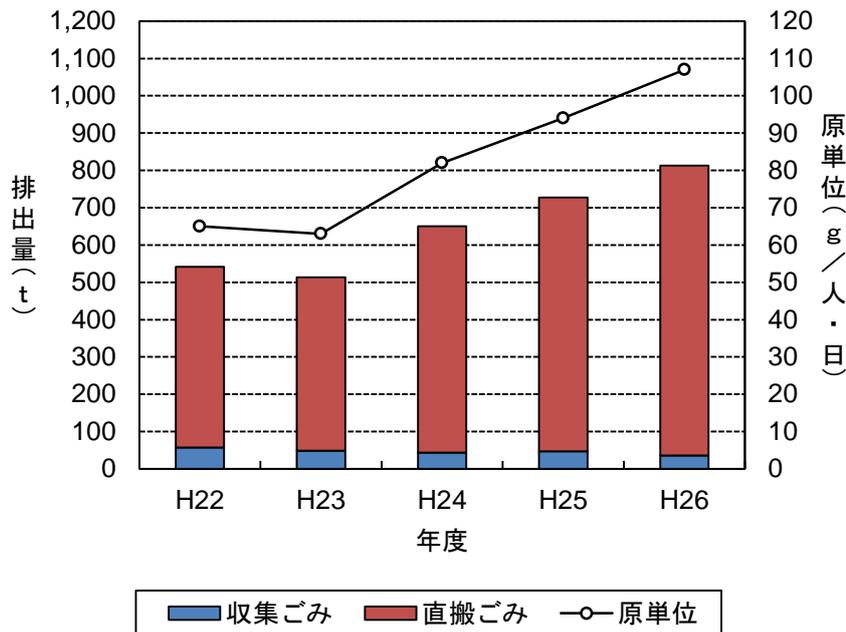
これによると、粗大可燃ごみは平成 23 年度にいったん減少したものの、その後は増加傾向である。

また、町民 1 人 1 日当りの排出量においては、平成 22 年度に 65 g/人・日だったが、平成 26 年度には 107 g/人・日となっている。

粗大可燃ごみ排出量の推移

単位：t

| 年度 | 区分 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 収集ごみ | 57 | 49 | 44 | 47 | 36 |
| | 直搬ごみ | 485 | 464 | 606 | 680 | 777 |
| | 合計 | 542 | 513 | 650 | 727 | 813 |
| | 原単位 (g/人・日) | 65 | 63 | 82 | 94 | 107 |



粗大可燃ごみ排出量の推移

4. 資源ごみの排出量の推移

資源ごみの排出量の推移を以下に示す。

段ボールの排出量が平成 23 年度から平成 25 年度にかけて増加しているが、平成 26 年度に減少している。また、缶・びん・ペットボトルの排出量は年々減少傾向にある。

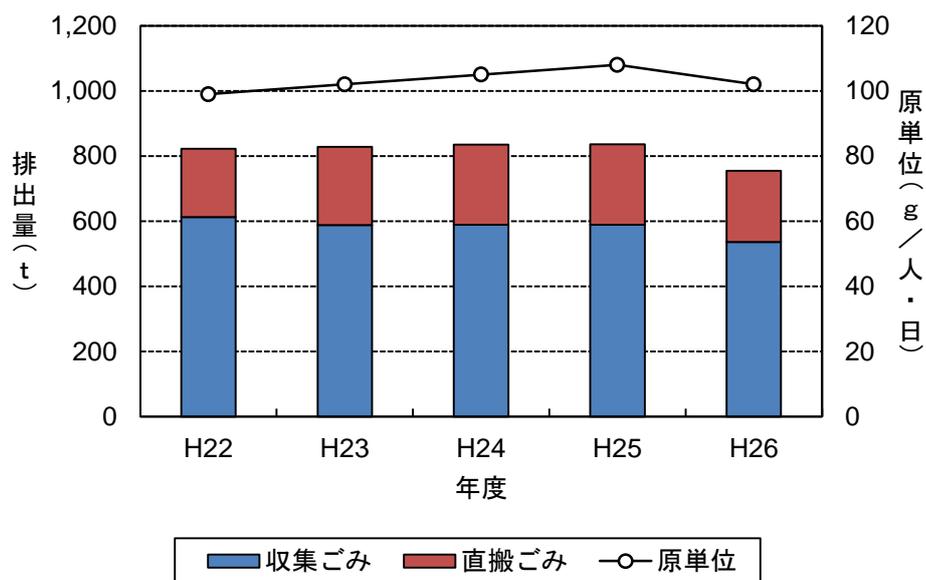
資源ごみの総排出量については、平成 22 年度から平成 25 年度にかけて増加傾向であったが、平成 26 年度は減少している。

また、町民 1 人 1 日当りの排出量においては、平成 22 年度で 99 g/人・日であり平成 25 年度までは増加傾向であったが、平成 26 年度には 100 g/人・日と減少している。

資源ごみの排出量の推移

単位：t

| 区分 | | 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----------------|-------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 缶・びん・ ペットボトル | 収集ごみ | | 394 | 388 | 380 | 375 | 335 |
| | 直搬ごみ | | 17 | 20 | 18 | 19 | 15 |
| | 合計 | | 411 | 408 | 398 | 394 | 368 |
| | 原単位 (g/人・日) | | 50 | 50 | 50 | 51 | 48 |
| 段ボール | 収集ごみ | | 128 | 121 | 125 | 132 | 122 |
| | 直搬ごみ | | 23 | 35 | 37 | 50 | 36 |
| | 合計 | | 151 | 156 | 162 | 182 | 158 |
| | 原単位 (g/人・日) | | 18 | 19 | 20 | 24 | 21 |
| 新聞紙 | 収集ごみ | | 62 | 50 | 56 | 54 | 53 |
| | 直搬ごみ | | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| | 合計 | | 65 | 52 | 57 | 56 | 54 |
| | 原単位 (g/人・日) | | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 発泡スチロール・ トレ | 収集ごみ | | 9 | 9 | 8 | 8 | 7 |
| | 直搬ごみ | | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | 合計 | | 11 | 11 | 10 | 10 | 9 |
| | 原単位 (g/人・日) | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 有害ごみ | 収集ごみ | | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 |
| | 直搬ごみ | | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| | 合計 | | 22 | 22 | 22 | 21 | 20 |
| | 原単位 (g/人・日) | | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| その他 | 収集ごみ | | — | — | — | — | — |
| | 直搬ごみ | | 162 | 179 | 186 | 173 | 164 |
| | 合計 | | 162 | 179 | 186 | 173 | 164 |
| | 原単位 (g/人・日) | | 19 | 22 | 24 | 22 | 22 |
| 合計 | 収集ごみ | | 613 | 588 | 589 | 589 | 536 |
| | 直搬ごみ | | 209 | 240 | 246 | 247 | 219 |
| | 合計 | | 822 | 828 | 835 | 836 | 755 |
| | 原単位 (g/人・日) | | 99 | 102 | 105 | 108 | 100 |



資源ごみ排出量の推移

5. 事業系一般廃棄物

事業系一般廃棄物については、直接搬入を原則としており、ごみ焼却施設及びリサイクルプラザで処理している。

直接搬入ごみは、そのほとんどは事業系ごみで占めている。

第3節 分別の現況

分別・収集・運搬については、下記のとおりとなっている。

| 分別の種類 | | 収集に係る 分別の区分 | 収集・運搬 | 選別・保管等 |
|---------|--------|----------------|----------------|--------|
| 可燃ごみ | | 可燃ごみ | 委託による 指定日回収 | 新上五島町 |
| 不燃ごみ | | 不燃ごみ | | |
| 缶 | スチール | 資源ごみ | | |
| | アルミ | | | |
| びん | 無色ガラス | | | |
| | 茶色ガラス | | | |
| | その他ガラス | | | |
| ペットボトル | | | | |
| 段ボール | | | | |
| 新聞紙・チラシ | | | | |
| 発泡スチロール | | | | |
| トレー | | | | |
| 有害ごみ | | | | |
| スプレー缶 | | | | |
| 粗大可燃ごみ | | 粗大可燃ごみ | | |

第4節 減量化・再資源化の現況

1. 資源化物の現況

再資源化の対象物としては、缶・びん・ペットボトル、発泡スチロール・トレイ、段ボール・新聞紙・チラシ、有害ごみを指定し、資源ごみとして収集している。

また、分別については、ごみ収集カレンダー・ごみの分別早見表・家庭ごみの正しい分け方・出し方手引書を各家庭、事業所に配付し、また町広報紙等を通じて町民の協力を呼びかけている。

平成22年度から平成26年度の資源化物量を以下に示す。

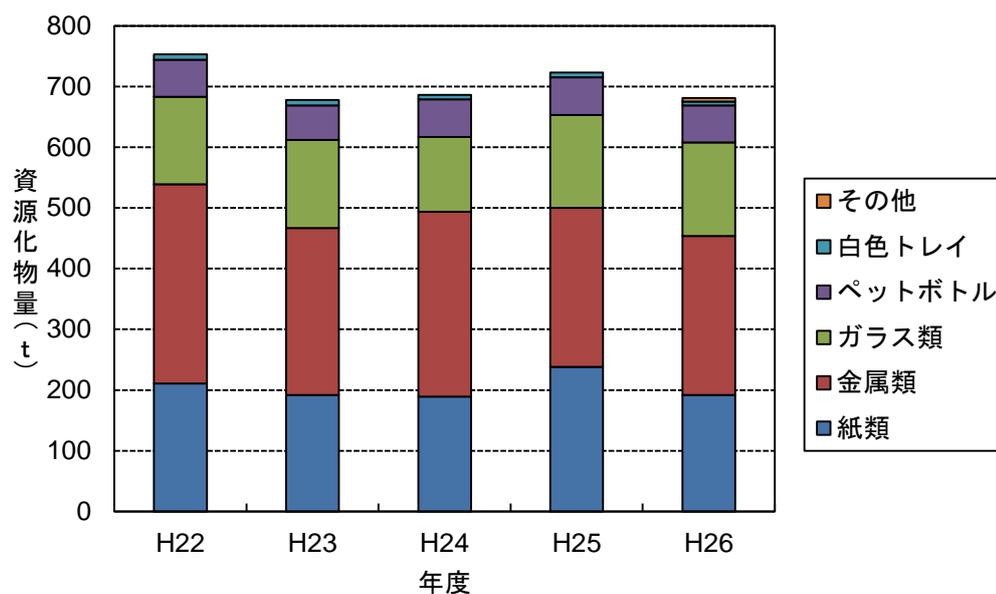
資源化物として排出される量は、毎年800t前後となっているが、紙類及び金属類の資源化物量は減少傾向にある。

資源化物量の推移

単位：t

| 種別 \ 年度 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 紙類 | 211 | 192 | 189 | 238 | 192 |
| 金属類 | 328 | 275 | 305 | 262 | 262 |
| ガラス類 | 144 | 145 | 123 | 153 | 154 |
| ペットボトル | 61 | 57 | 62 | 62 | 61 |
| 白色トレイ | 9 | 9 | 7 | 8 | 6 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 計 | 753 | 678 | 686 | 723 | 681 |
| 厨芥ごみ | 116 | 89 | 102 | 68 | 60 |
| 合計 | 869 | 767 | 788 | 791 | 741 |

※厨芥ごみについては、堆肥化を目的とし、堆肥化を行ったもの。



資源化物量の推移

2. 不燃ごみからの資源回収

不燃ごみからの資源回収は、月 2 回、ステーション方式により収集され、リサイクルプラザに搬入し、資源として鉄、アルミ、ガラスを選別・抽出後、その残渣は最終処分場に埋立処分している。

3. 住民団体による資源回収

子供会、婦人会等による集団回収については特に推進を図っておらず、その団体数、回収実績は把握していない。また、回収にかかる支援も特に行っていない。

4. 事業者等による資源回収

牛乳パックやトレイなどの資源回収を実施している店舗もあるが、その実態は把握しておらず、支援等も行っていない。

5. 厨芥ごみのコンポスト化利用

汚泥再生処理センターにおいては、汚泥をコンポスト化する際に必要な厨芥ごみを協力事業所等から収集している。

第5節 収集運搬の現況

1. 収集区域：町内全域
2. 収集人口：20,780人（平成26年度末）
3. 収集方法

分別方法及び収集形態

| 分別区分 | 収集回数 | 収集方法 | 収集体制 |
|--------|--------|----------|------|
| 可燃ごみ | 3回／週 | ステーション方式 | 委託 |
| 不燃ごみ | 2回／月 | | |
| 資源ごみ | 1～4回／月 | | |
| 有害ごみ | 1回／月 | | |
| 粗大可燃ごみ | 1回／月 | | |

4. 有料化実施状況

| 種 類 | 徴収方法 | 料 金 |
|---|-------------------|-------------------------------------|
| ・可燃性ごみ ・不燃性ごみ | 指定ごみ袋 | 大：40円 中：30円 小：20円 |
| ・可燃性粗大ごみ ・不燃性粗大ごみ | ごみ処理券 | 1人で排出できないごみ：600円 1人で排出できるごみ：300円 |
| ・ごみ焼却施設へ搬入した可燃性ごみ ・リサイクルプラザに搬入した可燃性及び不燃性ごみ | 窓 口 または 納付書 | 10kgあたり40円 |
| ・管理型最終処分場へ搬入したごみ | 納付書 | 1tまで：2,050円 1tを超えて10kgあたり：20円 |
| ・安定型最終処分場へ搬入したごみ | 納付書 | 1tまで：1,020円 1tを超えて10kgあたり：10円 |
| ・有川破碎処理センターへ搬入したごみ | 窓 口 または 納付書 | 1m ³ あたり：4,110円 |

第6節 中間処理の現況

1. ごみ焼却施設

この施設は、平成14年12月から稼動し、ダイオキシン類の発生や有害化学物質など、国の厳しい排出基準を十分クリアすることができる信頼性の高い各種公害防止装置を備えている。また、焼却した後の灰を熔融処理してスラグ化する灰熔融施設を備え、周辺環境保全に配慮したものとなっている。排水は場外完全無放流のクローズドシステムである。

なお、5町合併前に各町が保有していた旧清掃センター(ごみ焼却場)については、全て解体が終了し、現在は跡地利用としてストックヤードを整備している。

所在地・・・南松浦郡新上五島町網上郷813番地8

処理主体・・・新上五島町

供用開始・・・平成14年12月(西暦2002年)

敷地面積・・・15,495m²

建築面積・・・2,233m²

①焼却施設概要

処理能力・・・40t/日(20t/16h×2炉)

処理方式・・・准連続燃焼式ストーカ方式

焼却対象・・・可燃ごみ

処理実績 (単位：t)

| 年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 処理量 | 7,744 | 7,593 | 7,799 |

②熔融処理施設概要

熔融能力・・・6t/日(6t/24h×1炉)

処理方式・・・バーナ式表面熔融炉

処理対象・・・焼却灰・焼却飛灰

処理実績 (単位：t)

| 年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 処理量 | 403 | 353 | 529 |

2. リサイクルプラザ

この施設は、平成 14 年 4 月から稼動し、資源ごみの選別、粗大可燃ごみ、不燃ごみの処理及び資源化と再生利用を推進する施設である。また、公害防止機能を備え、周辺的环境保全に配慮したものとなっている。

さらに、平成 16 年 2 月からは、段ボール等処理施設が同施設内で稼動し、段ボール・新聞紙・チラシ、発泡スチロール・トレイ、蛍光管の処理を開始している。

所在地・・・南松浦郡新上五島町鯛ノ浦郷 5 番地 170

処理主体・・・新上五島町

敷地面積・・・約 6,900m²

①リサイクルプラザ

供用開始・・・平成 14 年 4 月（西暦 2002 年）

建物面積・・・約 1,500m²

処理能力・・・資源ごみ 5.8 t / 日

粗大可燃ごみ・不燃ごみ 7.7 t / 日

処理方法・・・資源ごみ 選別圧縮処理

粗大可燃ごみ・不燃ごみ 破砕選別処理

②段ボール等処理施設

供用開始・・・平成 16 年 2 月（西暦 2004 年）

建物面積・・・約 500m²

処理能力・・・段ボール・新聞紙・チラシ 4.4 t / 日

発泡スチロール・トレイ 3.2 t / 日

蛍光管 0.4 t / 日

合計 8.0 t / 日（4 時間 / 日）

処理方法・・・段ボール・新聞紙・チラシ 圧縮梱包処理

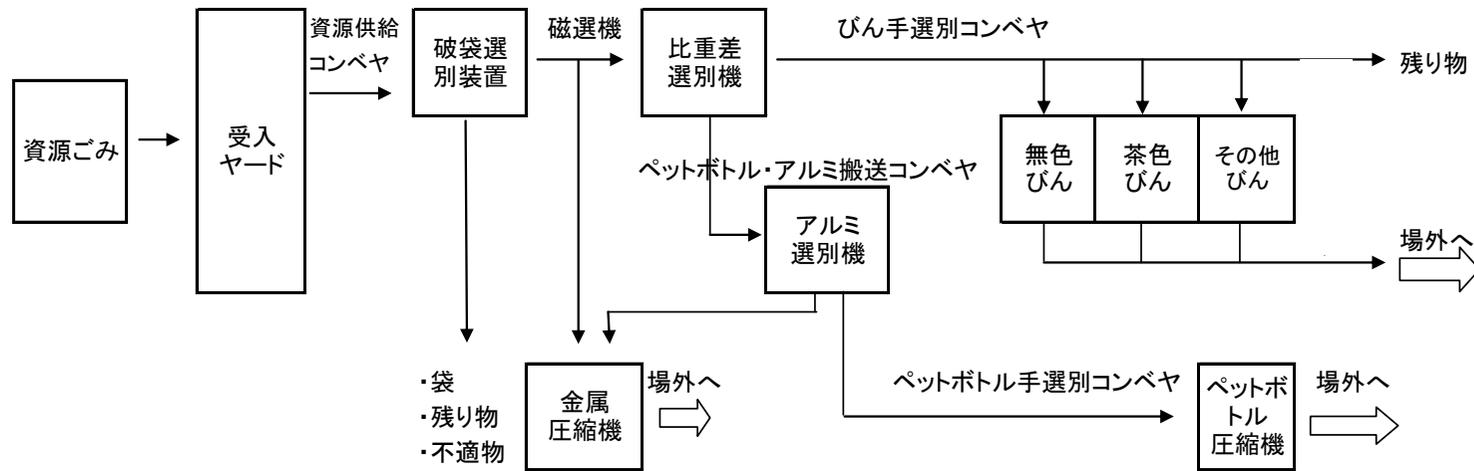
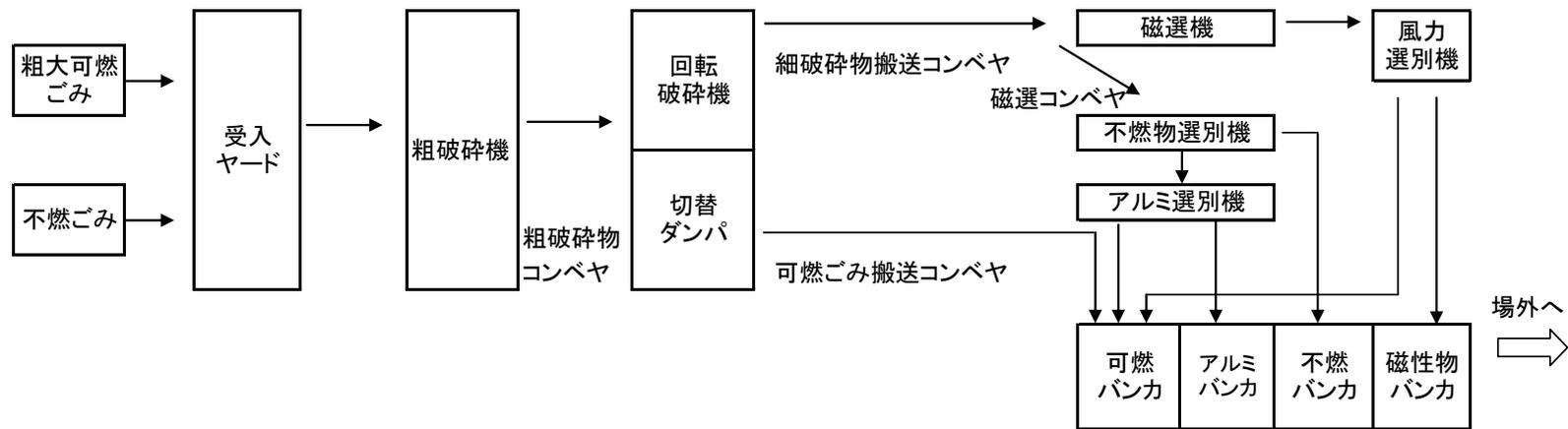
発泡スチロール・トレイ 湿潤熱源蒸気による熔融減容方式

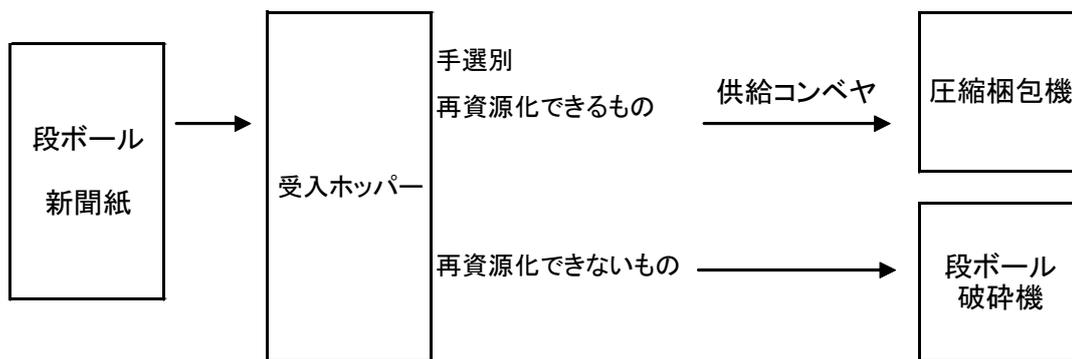
蛍光管 無破砕＋ドラム缶充填

段ボール等処理施設処理実績

（単位：t）

| | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----|----------|----------|----------|
| 合 計 | 1,236 | 1,305 | 1,219 |





段ボール等処理施設フローシート

3. 新上五島町有川廃棄物破碎処理センター

旧有川町において、廃材等の中間処理を行うため平成10年度に建設され、平成11年4月から供用開始された。

合併に伴い、新上五島町における一般廃棄物となる廃材等や粗大可燃ごみの一部の処理を行っている。

所在地・・・南松浦郡新上五島町七目郷733番地7

処理主体・・・新上五島町

供用開始・・・平成11年4月（西暦1999年）

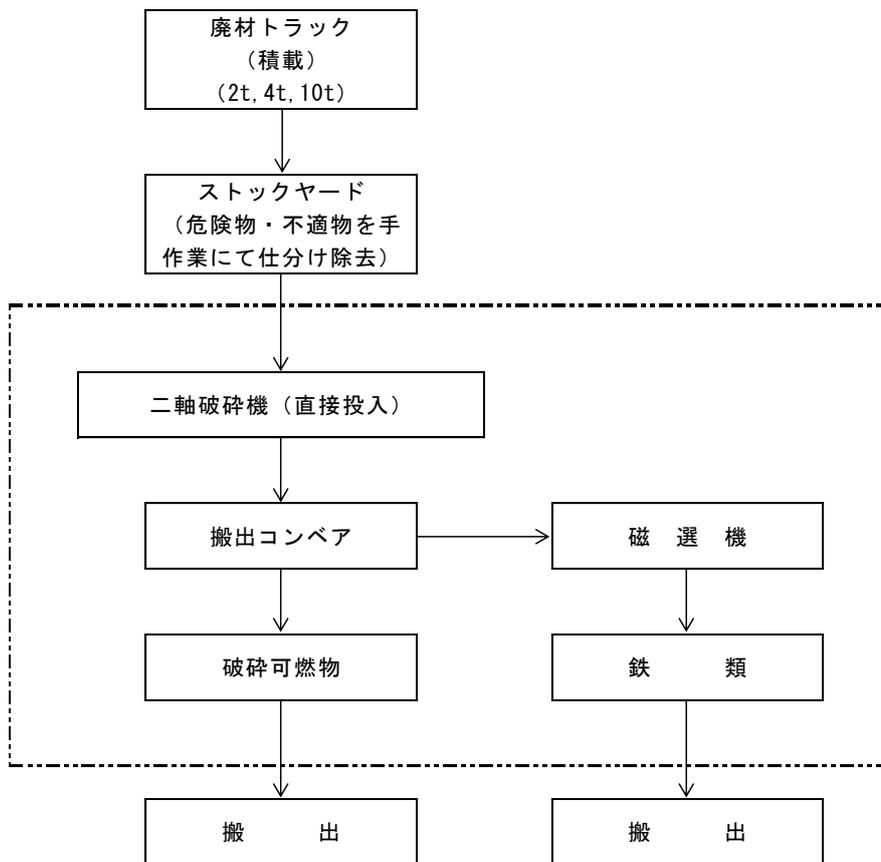
敷地面積・・・約1,280m²

処理能力・・・25 m³/5h

処理実績

(単位：m³)

| 年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 処理量 | 876 | 916 | 1,311 | 1,341 | 1,249 |



破碎処理センターフロー

第7節 最終処分の現況

最終処分は、合併時に管理型最終処分場 5 箇所、安定型最終処分場 4 箇所が稼働して全てを新上五島町に引き継ぎ、現在、管理型最終処分場 4 箇所、安定型最終処分場 1 箇所を継続して利用している。新上五島町の最終処分場の概要を以下に示す。

1. 上五島一般廃棄物最終処分場

所在地・・・南松浦郡新上五島町網上郷 834 番地 1

処理主体・・・新上五島町

埋立開始・・・平成 14 年度（西暦 2002 年）

処理能力・・・埋立面積 3,770m²、埋立容量 13,060m³

残余容量・・・6,079m³（平成 27 年 3 月末）

埋立実績

（単位：t）

| 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 埋立量 | 1,245 | 1,200 | 0 | 0 | 659 |

2. 新魚目一般廃棄物最終処分場

所在地・・・南松浦郡新上五島町似首郷 975 番地 8

処理主体・・・新上五島町

埋立開始・・・平成 10 年度（西暦 1998 年）

埋立終了・・・平成 26 年 1 月（西暦 2014 年）

処理能力・・・埋立面積 2,175m²、埋立容量 12,858m³

残余容量・・・0m³（平成 27 年 3 月末）

廃止に係る水質検査を実施・・・平成 28 年（西暦 2016 年）3 月まで

埋立実績

（単位：t）

| 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 埋立量 | 387 | 285 | 2,762 | 5,805 | 0 |

3. 有川一般廃棄物最終処分場

管理型一般廃棄物最終処分場

所在地・・・南松浦郡新上五島町東神ノ浦郷 252 番地 60

処理主体・・・新上五島町

供用開始・・・平成 13 年度（西暦 2001 年）

処理能力・・・埋立面積 3,000m²、埋立容量 13,065m³

残余容量・・・7,552m³（平成 27 年 3 月末）

埋立実績

（単位：t）

| 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 埋立量 | 48 | 51 | 205 | 401 | 635 |

安定型一般廃棄物最終処分場

所在地・・・南松浦郡新上五島町東神ノ浦郷 252 番地 66

処理主体・・・新上五島町

埋立開始・・・平成 7 年度（西暦 1995 年）

処理能力・・・埋立面積 3,775m²、埋立容量 13,248m³

残余容量・・・7,952m³

埋立実績

（単位：t）

| 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 埋立量 | 148 | 206 | 0 | 747 | 625 |

4. 奈良尾一般廃棄物最終処分場

管理型一般廃棄物最終処分場

所在地・・・南松浦郡新上五島町奈良尾郷 67 番地 1

処理主体・・・新上五島町

埋立開始・・・平成 18 年度（西暦 2006 年）

処理能力・・・埋立面積 2,462m²、埋立容量 6,713m³

残余容量・・・4,711m³（平成 27 年 3 月末）

埋立実績

（単位：t）

| 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| 埋立量 | 239 | 175 | 157 | 329 | 216 |

第8節 処理体制に係る問題点と課題

1. 排出抑制の問題

可燃ごみについては、収集ごみが年々減少し、直搬ごみが増加傾向にあるため、可燃ごみの総排出量はほぼ横ばいとなっている。また、不燃ごみ、資源ごみについても平成22年度から平成26年度まではほぼ横ばいとなっている。

この大きな原因としては、海岸漂着ごみの回収量の増加や、家屋解体等で発生する建築廃材の増加があげられ、引き続き排出抑制を推進していくために、住民一人ひとりの意識改革が必要である。

2. 減量化、資源化への問題点

紙パック・その他の紙製容器包装、その他のプラスチック製容器包装は可燃ごみとして焼却しているが、平成24年4月から新聞折り込みチラシを資源化物として分別・回収することとなり、また、町内の大型店舗を中心として、レジ袋削減に向けた取り組みが始まり、現在7事業者14店舗の協力を得て推進している。しかしながら、今後も分別回収による減量化・資源化に課題を残している。

3. 収集運搬の問題点

収集運搬については、平成19年4月から全地区において、民間委託による収集運搬体系へ移行し、住民サービスの公平性の確保が図られた。また、収集運搬業者の収集区域を見直して、業者間による収集量の是正を行った。しかし、人口減少と共に、年々収集量が減少傾向にあることから、さらに今後も収集運搬業者の統合など、収集体制を見直す必要がある。

4. 中間処理方法、能力の問題点

ごみ焼却施設は平成14年12月から可燃ごみの焼却を開始し、現在に至っている。施設では2段階バグフィルタシステムによる排出ガスの高度処理を行い、ダイオキシン類など有害物質の低減、及びスラグ化による最終処分量の低減を実現した施設で、40t/日の処理能力を有し、中間処理方法、能力に問題はない。

リサイクルプラザは、平成14年4月から供用開始しており、処理方法、処理能力に問題はない。

有川破碎処理センターについては、平成11年4月より供用開始されている。施設が有川地区にあるので、今後は処理の効率化を図るためごみ焼却施設敷地内への移設等の検討が必要である。

5. 最終処分方法、能力の問題点

現在、本町管内の一般廃棄物最終処分場は、若松、新魚目地区を除く3地区（上五島、有川、奈良尾）にあり稼働中である。若松地区の管理型最終処分場にあつては、平成23年に廃止の手続を終了し、新魚目地区の管理型最終処分場にあつては、

平成 26 年 2 月に埋立終了し、廃止のための水質検査を平成 28 年 3 月まで実施し、平成 28 年度中には、廃止の手続きを終了する予定である。

また、奈良尾地区では、平成 18 年度から管理型最終処分場の供用を開始したが、今後、残りの処分場についても、今日の廃棄物の排出量推移を考慮すると 10 年後には満杯となるため、平成 30 年頃には次の建設予定地を検討する必要がある。

第 9 節 関係市町村の動向

廃棄物処理事業は、中間処理施設整備等において多大な投資を伴うものであることから、近隣の自治体と提携し、広域処理体制を構築することが効率的である。

長崎県ではごみ処理広域化計画が平成 21 年 7 月に見直され、目標年次（平成 30 年度）以降におけるごみ処理施設の整備について、ダイオキシン類の一層の排出抑制や、より効果的・効率的なごみ処理体制の構築等を検討するうえでの目安として、長崎県を 7 ブロックの広域化グループに分けた施設整備の方向性が示されている。

上五島地域は、新上五島町と小値賀町の 2 町がグループ化されており、今後は県や、小値賀町と協議しながら、より効率的な処理体制の整備を推進していかなければならない。

第2章 ごみ処理基本計画

第1節 基本方針

1. 趣旨

近年、経済活動の拡大、生活水準の向上により、ごみ排出量の増大やごみ質の多様化は、最終処分場の不足、施設整備の困難性と相まって、全国的に深刻なごみ問題を引き起こしている。国においては、廃棄物処理法の改正、容器リサイクル法等の制定により、ごみの排出抑制・再資源化を中心とした制度、実施体制の整備を継続して進めており、廃棄物行政は今後も一層、ごみ減量・資源化を柱とした循環型社会づくりを目指す必要がある。

このようなことから、資源循環型システムの確立を図るため、住民・事業者の協力のもとに排出源での排出抑制策、ごみ減量化、資源化をより一層推進していく必要がある。

一方、廃棄物処理に伴う二次公害防止については、ダイオキシン類に係る基準が制定され、広域処理によるダイオキシン類の効率的な削減、焼却灰の熔融固化等の高度処理が必要となったため、平成14年度に新たなごみ焼却施設を建設したが、合併後も人口減少等により慢性的に財政状況の悪化が進んでいるため、今後は熔融施設の休止の検討と併せて、焼却灰等を処分する最終処分場の建設を計画するとともに施設の長寿命化を図る等の対応が必要となっている。

ごみの排出抑制・再資源化の施策としては、現在実施している施策をさらに充実、発展していくとともに、中間処理施設での資源回収を積極的に行い、また資源循環型システムの構築を図るなど今後の基本方針を以下に示し、推進していくものとする。

《新上五島町におけるごみ処理基本方針》

(1) ごみの排出抑制とリサイクルを中心とした循環型社会の構築

- ・住民、事業者、行政が一体となった排出抑制、再資源化、再生品の積極的な利用等を促進する。
- ・従来の焼却・埋立中心の処理から、「4R」を中心にごみの発生を抑制し、減量化・再資源化を促進して適正なごみ処理体制の構築を図る。

「4R」について

| | |
|-----------------|-------------------------------|
| Refuse (リフューズ) | : 家庭にごみになるものを持ち込まないように「断る」。 |
| Reduce (リデュース) | : ものを大切にし、ごみとして出すものを「減らす」。 |
| Reuse (リユース) | : そのままの形で「再使用」する。 |
| Recycle (リサイクル) | : 廃棄物となったものを、再び資源化して「再生利用」する。 |

(2) 廃棄物の適正処理を推進し地域環境を保全

- ・環境保全、資源循環を前提とした適正な処理施設の整備・運営を図る。
- ・不法投棄の根絶を図り、環境美化を推進する。

(3) 環境教育の充実

- ・住民一人ひとりが、ごみを減らす工夫に心掛け、生活様式、活動様式等を見直すなど、ごみ問題に対する住民意識を高め、物の大切さや自然・環境を大事にする心を次世代に引き継ぐために、情報の提供や環境教育の充実を図る。

2. 目標年次

本町のごみ処理基本計画における目標年次は、本計画策定時（平成 28 年度）から 10 年後の

平成 37 年度

とし、今後 10 年間のごみ処理に関する基本施策を策定するものとする。

なお、概ね 5 年毎もしくは社会情勢に大きな変動がある場合においては、計画の見直しを行うものとする。

第 2 節 人口の将来推計

1. 行政区域内人口の推移

本町の過去 10 年間における行政区域内人口の推移を以下に示す。

行政区域内人口の推移をみると、その減少幅に変動はあるものの減少傾向にある。

行政区域内人口の推移

単位：人

| 年度 | 平成 17 年度 | 平成 18 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | 平成 21 年度 |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 行政区域内人口 | 25,654 | 24,959 | 24,299 | 23,719 | 23,210 |

| 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 行政区域内人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 |

2. 行政区域内人口の将来推計

本町の行政区域内人口の将来推計については、過疎化対策等、人口の減少傾向に歯止めをかけるべく、諸々の対策を講じているものの、今後もこの現状のまま推移すれば、減少傾向をたどると考えられる。

行政区域内人口の将来推計

単位：人

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 32 年度 | 平成 37 年度 |
|---------|----------|----------|----------|
| 行政区域内人口 | 19,597 | 17,494 | 15,493 |

推計手法について

推計にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所による推計値を使用した。この推計では、平成22年の男女・年齢（5歳階級）別人口（国勢調査）を使用し、コーホート要因法によって5年ごとに推計している。

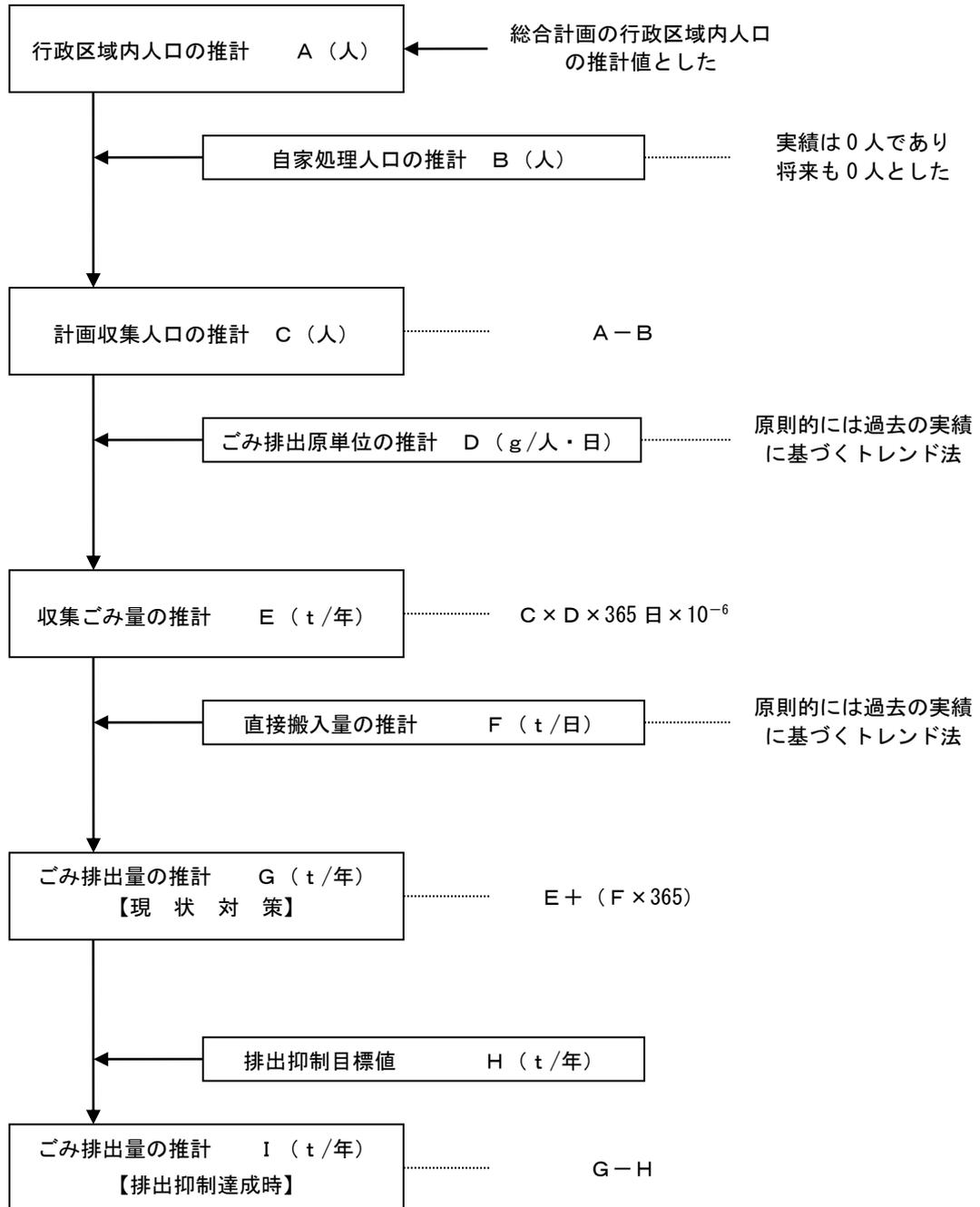
コーホート要因法とは、「自然増減」（出生と死亡）及び「純移動」（転出入）という二つの「人口変動要因」それぞれについて将来値を仮定し、それに基づいて将来人口を推計するものです。

2. 計画収集人口の推計

本町では、従来どおり「計画収集人口＝行政区域内人口」とし、適正処理を進めていくものとする。

第3節 ごみ排出量の将来推計

下記の排出量予測概念図をもとに目標年次における各種ごみ排出量の予測を行うものとする。



排出量予測概念図

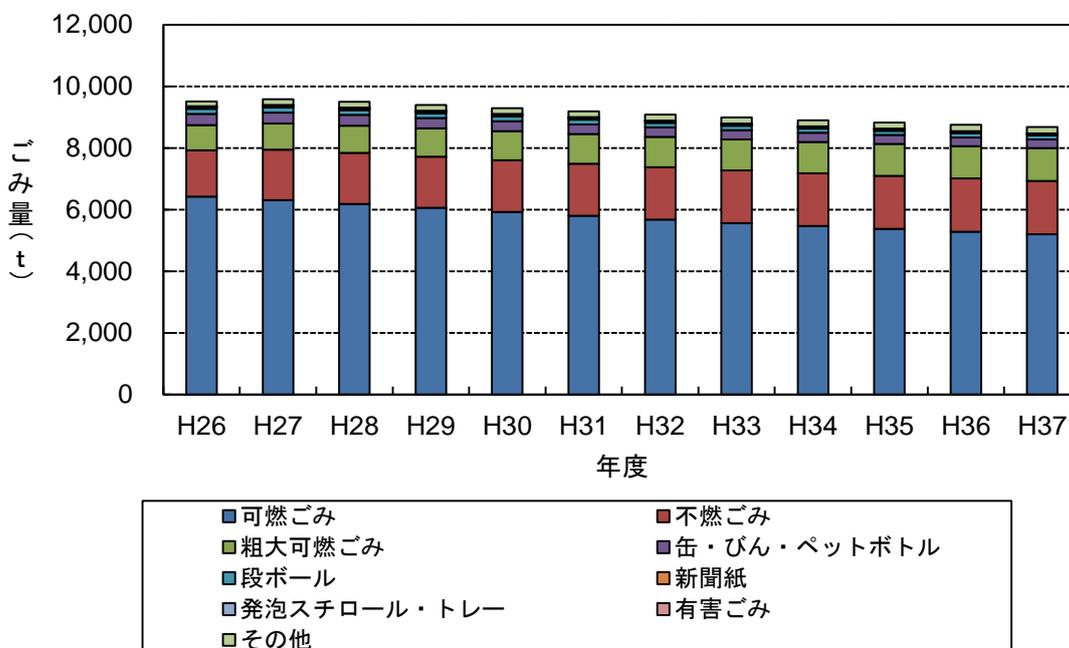
1. ごみ発生量の将来予測

本町の過去5年間（平成22～26年度）のごみ発生量をもとに推計した将来のごみ発生量を以下に示す。

将来ごみ量の推計結果（現状対策）

単位：t/年

| 種 類 | 平成26年度 （実績） | 平成32年度 | 平成37年度 |
|--------------|----------------|--------|--------|
| 可燃ごみ | 6,420 | 5,679 | 5,199 |
| 不燃ごみ | 1,497 | 1,695 | 1,728 |
| 粗大可燃ごみ | 813 | 987 | 1,072 |
| 缶・びん・ペットボトル | 350 | 308 | 272 |
| 段ボール | 158 | 147 | 135 |
| 新聞紙 | 54 | 49 | 44 |
| 発泡スチロール・トレー | 9 | 10 | 9 |
| 有害ごみ | 20 | 20 | 18 |
| その他 | 164 | 193 | 201 |
| 合計 | 9,485 | 9,088 | 8,678 |
| 排出原単位（g/人・日） | 1,251 | 1,423 | 1,535 |
| 資源化量 | 741 | 718 | 694 |
| リサイクル率（%） | 7.8% | 7.9% | 8.0% |



将来ごみ量の推計結果

第4節 減量化・再資源化目標

1. 目標の設定

本町においては、現状のまま推移し続けると、1人1日あたりの排出量が10年後の平成37年度には平成26年度の約22.7%増の1,535gになると推計されるが、人口の減少傾向が大きいと、排出量は減少傾向になると推測される。

ごみの排出量を可能な限り抑制し、地球環境負荷を軽減させていくことが今後のごみ行政の役割であることから、一定の排出抑制量を設定し、これを行政目標として施策推進を図っていくことが必要である。しかし、ごみの排出抑制は、住民・事業者・行政のそれぞれの役割を明確にしたうえで、お互いがさまざまな角度から連携し協力しながら取り組んでいかなければ実効性のあるものとはならないため、それぞれが行うごみ減量化への具体的な取り組みを整理する。

(1) 住民の取り組み

住民は、ごみの排出者としての責任を自覚し、大量消費、大量廃棄の生活から4Rを意識し、環境に配慮した生活スタイルを心がける。具体的な取り組みは以下のとおり。

① ごみの排出抑制・資源化に対する意識の向上

・地域で開催される環境啓発イベントや講習会、施設見学等の機会を積極的に活用し、ごみ問題に対する関心・理解を深める。

② ごみの排出抑制・再資源化の推進

・ごみを出さない買い物行動（必要なものだけ購入する、過剰包装を辞退する、マイバッグを持参する等）を心がける。

・物を無駄なく大事に使う（修理してできるだけ長く使う、必要な人へ譲渡する等）よう心がける。また、生ごみについては、家庭で堆肥化し有効利用するか、ごみとして排出する場合には水切りを徹底することで、ごみの排出抑制に努める。

・分別排出のきまりを遵守する。

③ 地域のごみの排出抑制・資源化、環境美化活動への参加

・地域におけるごみの排出抑制・資源化、環境美化活動の取り組みに積極的に参加する。

(2) 事業者の取り組み

事業者は、社会的責任を認識し、4Rに重点を置いた、環境に負荷の少ないビジネススタイルへの転換を目指す。具体的な取り組みは以下のとおり。

① 消費者の4Rの取り組みへ配慮した事業活動の推進

・製品の生産に際しては、消費者が排出する廃棄物が減少するよう、再使用や資源化を考慮した製品の設計・製造を行うと共に、商品の流通・販売に際しては、簡易包装に努める。また、使用済容器などの回収ルートや資源化システムの整備を進める。

② 事業者が排出するごみの排出抑制・資源化等の推進

・事務用品等に再生品を使用するよう努めるとともに、事業活動に使用する原材料についても再生品の使用に努める。また、可能な限り物を無駄にしないよう努める。

・事業者が排出するごみの適正処理や4Rの取り組みを推進するために、4Rに対する意識を向上させ、ごみの排出抑制・資源化を着実に進めるよう努める。

・事業者が排出するごみの資源化を推進するため、分別排出のきまりを遵守し、ごみステーションに排出するか、施設へ直接搬入する。

③ 地域の循環型社会の形成への貢献

・住民団体や行政のごみの減量化や資源化等の取り組みに積極的に参加する。

・事業活動を通して、地域の循環型社会の形成に積極的に参加する。マイバッグ運動の推進や店頭回収の実施、再使用や資源化の方法のPRなど、家庭から出るごみの減量化につながる活動を自主的に行い、社会に貢献する。

(3) 行政の取り組み

本町は、一般廃棄物の処理責任者として、一般廃棄物に関する適正処理及び4Rへの取り組みを推進するとともに、住民、事業者に対しては、4Rの取り組みが円滑に行われるよう各種施策を実施する。一方、事業者・消費者として、4Rに重点を置いた、環境負荷の少ない取り組みを率先する。具体的な取り組みは以下のとおり。

① 家庭系ごみの排出抑制・資源化の推進

○情報提供及び意識啓発の推進

・広報やホームページ等によるごみの排出抑制・資源化に係る情報発信や環境啓発イベント、講習会及び施設見学等の機会を住民や住民団体等へ積極的に提供する。

○ごみ処理の有料化の継続と見直し

・ごみ処理費用の負担の公平化、排出抑制策の観点から、必要に応じてごみ処理料金の見直しを検討する。

○マイバッグ運動や簡易包装の推進

・関係機関と協力し、マイバッグ運動（買物袋の持参運動）や簡易包装を推進する。

②事業系ごみの排出抑制・資源化の推進

○情報提供及び意識啓発の推進

・事業者へのごみの排出抑制・資源化に係る情報発信・意識啓発活動を行う。

○ごみ処理の有料化の継続と見直し

・今後のごみの搬入状況、ごみ処理経費の推移及び近隣自治体等の動向を踏まえ、必要に応じて事業系ごみの処理料金の見直しを検討する。

○事業系ごみの排出抑制・資源化の推進

・事業系一般廃棄物の排出事業者の減量化を促進するため、事業所用のごみ分別表を作成、配布するなど、分別、生ごみの水切り等を徹底するよう指導を行う。

③公共施設（庁舎用）におけるごみの排出抑制・資源化等の推進

○事業者・消費者として、ごみの排出抑制や適正分別に努めるとともに、事務用品などの庁用品や公共関与事業において、積極的な再生品利用（グリーン購入）を進める。

これらの取り組みを踏まえ、平成 37 年度における減量目標を以下のとおり設定する。

◆ 《 排出量 》 を 1 人 1 日あたり平成 26 年度に比べ「5% 約 63 g」減量する。

◆ 《 リサイクル率 》 を排出量の「約 9%」に増加させる。

◆ 《 最終処分量 》 を、平成 26 年度に比べ「約 10%」削減する。

※排出量＝「収集量」＋「直接搬入量」＋「住民回収量」

リサイクル率＝「町の資源化量」＋「住民回収量」／町の処理量＋集団回収量

最終処分量＝「直接最終処分量」＋「処理後最終処分量」

第3章 処理計画

第1節 減量化、再資源化計画

排出抑制の目標

平成 37 年度（計画目標年次）のごみ総排出量においては、平成 26 年度ごみ総排出量より約 29%削減すること（平成 37 年度の排出抑制前ごみ量（資源ごみを除く）より 24.5%削減すること）。

1. 発生量の抑制方策

自治体における方策

| 取り組み | 具体例 |
|-------------------|---|
| ごみ分別排出の周知・徹底 | ○パンフレット等の作成や広報誌等の利用による啓発活動の実施 ○説明会の実施 |
| 適正な容器包装リサイクルの推進 | ○ポスター、チラシ等の作成 ○広報誌の利用 ○分別品目の拡大検討・実施 |
| 包装廃棄物等の排出抑制 | ○消費者・販売業者への過剰包装抑制の普及啓発活動の実施 |
| 集団回収への支援・協力 | ○集団回収への支援・協力の実施 |
| 拠点回収等への支援・協力 | ○拠点回収等への支援・協力 |
| リサイクル活動への支援 | ○リサイクルに関する情報の提供 ○イベント開催への支援 |
| 生ごみ堆肥化の支援 | ○生ごみ堆肥化に対する情報提供・資材支援・堆肥需要の開発支援 ○生ごみ減量化処理機購入助成による普及促進 |
| リサイクル情報の集積、公開 | ○リサイクルプラザでの情報公開 ○講演会、イベント等の開催 ○リサイクルプラザでの不用品の回収・展示等 |
| 再生品利用の促進 | ○庁用品や公共事業への再生品の使用 ○再生紙等リサイクル商品利用促進 ○汚泥リサイクル堆肥の利用促進 |
| 資源回収業者への支援 | ○回収業者との連絡協議 |
| 学校におけるごみ問題学習 | ○ごみ問題学習への取り組み ○ごみ問題学習の場の提供 ○ごみ処理施設の見学 |
| 多量排出事業者に対する減量化の指導 | ○多量排出事業者への減量化指導の徹底 ○事業者に対する減量化計画の策定指導 |
| 事業系ごみの料金改定 | ○事業系ごみの料金改定 |

住民における方策

| 取り組み | 具体例 |
|---|---|
| 正しい分別排出方法の理解と実行 | ○分別勉強会 ○ごみ処理施設見学会 ○環境美化指導員によるごみステーションにおける分別指導 |
| 集団回収の推進、店頭回収の協力 | ○ペットボトル、食品トレー、紙パック等の回収協力 |
| 自家処理（堆肥化等）の実践 | ○生ごみの堆肥化等 |
| 消費行動の見直し 過剰包装の拒絶 再生品利用商品の使用 使い捨て商品の使用抑制 リターナブル容器製品の使用 | ○買い物袋の持参 ○不要包装、不要トレーの拒絶 ○トイレットペーパー等再生品の使用 ○使い捨て商品の使用抑制 ○リターナブルびん利用商品の使用 ○物を大事に使い、無駄な消費をしない |
| 修理して長く使うライフスタイルづくり | ○傘、鍋、バッグ、靴等の修理 ○フリーマーケットの利用 |
| 地域でのリサイクル活動への取り組み | ○婦人会、サークル単位での取り組み ○フリーマーケットの利用 |
| 空き缶拾い、散乱ごみ清掃デーへの参加 | ○空き缶回収キャンペーンへの参加 ○ポイ捨て防止運動への協力 |

事業者における方策

| 取り組み | 具体例 |
|------------------|--|
| 事業所単位のごみ減量計画の策定 | ○ごみ減量目標の設定 |
| ごみ減量促進責任者の選定 | ○事業所におけるリサイクルリーダー育成 |
| 正しい分別排出と排出抑制 | ○収集業者等も含めた取り組み体制の管理 ○分別ボックスの設置 ○ごみの排出抑制 |
| 過剰包装の抑制 | ○自主的な過剰包装の抑制 ○買い物袋の持参運動への積極的な協力 |
| 再生品利用商品の利用 | ○再生紙等再生品の利用促進 |
| 使い捨て容器の使用抑制 | ○使い捨て容器から繰り返し利用可能な容器への転換 |
| 資源物の分別と再利用ルートの活用 | ○古紙、段ボール、びん、缶類の回収ルートの整備 ○資源物の自主回収の促進 |
| 自家処理（堆肥化）の実施 | ○ホテル、旅館、飲食店、学校等における生ごみの堆肥化 ○汚泥再生処理センターの堆肥化に生ごみを提供 |

2. 再資源化による減量化

(1) 事業者による回収再資源化

リターナブル容器など繰り返し利用可能なものや紙パック、トレー、携帯電話は店頭回収を行うなど再使用・再利用に努める。

(2) 各リサイクル法に基づく再資源化

家電リサイクル法により、エアコン、テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫の家電4品目、小型家電リサイクル法により、携帯電話端末やパーソナルコンピュータ等、自動車リサイクル法により自動車は、法律に基づいて適正に処理し再資源化する。

(3) 汚泥再生処理センターにおけるコンポスト化によるし尿・汚泥の再資源化

現在、汚泥再生処理センターにおいて、汚泥をコンポスト化するため、給食センターや事業所等に生ごみの提供をお願いしている。協力できる事業所の拡大を実施し、生ごみの減量化・資源化の推進を図る。

3. 中間処理による減量化

(1) 中間処理による資源回収

不燃ごみの破砕、選別により有価物の回収資源化を図る。

(2) 溶融スラグの有効利用

ごみ焼却施設から排出される焼却灰の溶融スラグについて、溶出基準、品質管理方法等の必要な事項を定めた長崎県溶融スラグ有効利用指針に基づき、安全性の確保及び公共事業を中心に土木、建築資材として有効利用を推進する。

4. 分別数の増加による減量化

分別数の増加と分別の徹底により、資源回収を容易にする。

また、可燃ごみの不燃ごみへの混入を防止し、埋立ごみを減少する。

第2節 収集運搬計画

1. 地域特性

収集運搬については、合併前の各旧町の収集体制をそのまま引き継いで行っていたが、平成20年度に収集運搬業者の収集区域を見直し、業者間による収集量の是正を実施した。しかし、人口減少や高齢化、処理施設への運搬時間や地理的な条件を考慮すると、収集区域の再編成、収集体制、収集頻度も含めて再検討する必要がある。

2. 分別の程度及び収集運搬対象ごみ

分別数とその内訳

| 分別区分 | 対象ごみ | 収集頻度 |
|--------|--------------------------|-------|
| 可燃ごみ | 厨芥類、紙類（再生不可）、プラスチック、木くず | 週3回 |
| 不燃ごみ | 金属、ガラス、陶磁器、雑物、自転車、小型家電製品 | 月2回 |
| 資源ごみ | 缶類・びん類・ペットボトル | 月3～4回 |
| | 古紙（新聞、折込チラシ、段ボール） | 月1～2回 |
| | 発泡スチロール・トレー | 月1回 |
| 粗大可燃ごみ | 大型家具、畳、布団 | 月1回 |
| 有害ごみ | 乾電池、蛍光灯、体温計 | 月1回 |

※その他の紙製容器包装、その他のプラスチック製容器包装の分別収集について検討する。

3. 計画収集量と収集主体（排出抑制達成時）

単位：t

| 分別区分 | 平成26年度 （実績） | 平成32年度 | 平成37年度 | 収集主体 |
|--------|----------------|--------|--------|------|
| 可燃ごみ | 5,571 | 4,723 | 4,077 | 委託 |
| 不燃ごみ | 205 | 197 | 172 | 委託 |
| 資源ごみ | 517 | 444 | 390 | 委託 |
| 粗大可燃ごみ | 36 | 36 | 33 | 委託 |
| 有害ごみ | 19 | 16 | 14 | 委託 |

4. 処理主体

| 分別区分 | 処理主体 | 備考 |
|------|-------|-------------------|
| 可燃ごみ | 新上五島町 | クリーンセンター・ごみ焼却施設 |
| 不燃ごみ | | クリーンセンター・リサイクルプラザ |
| 資源ごみ | | |
| 有害ごみ | | |
| | | |

5. 収集運搬方式

| | |
|---------------|--|
| 収集方式 | 従来どおりステーションによる収集とし、その設置基準や収集容器等についても検討を重ね、住民の利便性を考慮するとともに、周辺環境の保全に努める。 |
| 排出容器 | 可燃ごみ及び不燃ごみについては、現状の指定ごみ袋を今後とも使用していく。資源ごみについては、無色透明の市販袋を使用するが、今後有料化についても検討する。 |
| 排出及び収集時間 | 収集日の午前8時半までに排出してもらい収集する。 |
| 中継施設 | 当面は考慮しない。 |
| 特別管理 一般廃棄物 | 収集及び焼却処理は実施せず、専門業者による適正処理を行う。 煤塵は重金属類の溶出防止後、管理型最終処分場に埋立処分する。 |

6. 多量排出事業所の処理

元来、事業系ごみは直接搬入による受け入れを原則としており、今後とも収集しないこととする。また、事業系ごみの主体である紙類等（段ボール、トレー等）は資源物として再利用し、減量化に努めるよう指導強化していくものとする。

7. 住民回収への支援

ごみの減量化・再資源化に向けて、住民の協力は不可欠なものであるため、今後は住民回収への支援について前向きに検討することとする。

空き缶、空き瓶、新聞等は、婦人会、子供会、エコクラブ等での取り組みが容易であると考えられるので、助成のもとに推進していく。

8. ボランティアによるごみの収集運搬

ボランティア団体の活動に伴い排出するごみについては、少量のごみは、ステーションに排出してもらい、家庭からの一般廃棄物と併せて収集運搬する。しかし、計画収集に支障をきたす大量のごみの排出については、団体によるごみ焼却施設またはリサイクルプラザへ直接持ち込みの協力をお願いしていく。

第3節 中間処理計画

1. 中間処理対象ごみ及び計画処理量

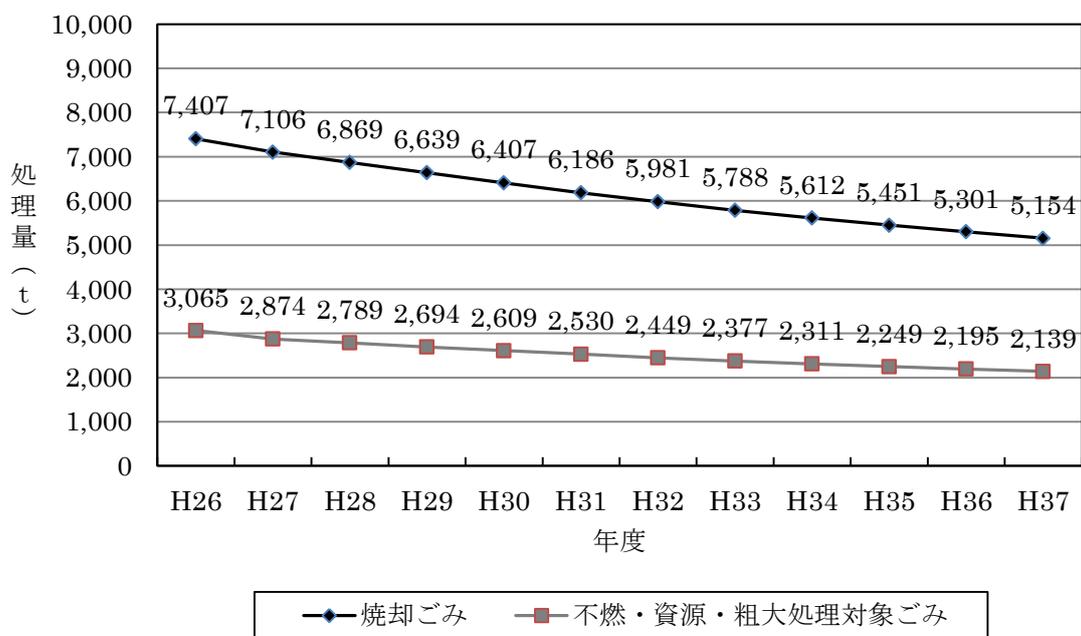
本町の中間処理は、可燃ごみの焼却処理、不燃ごみの選別処理、資源ごみの選別・圧縮処理等による資源化が行われている。

中間処理の見込みを以下に示す。

中間処理の見込み（排出抑制達成時）

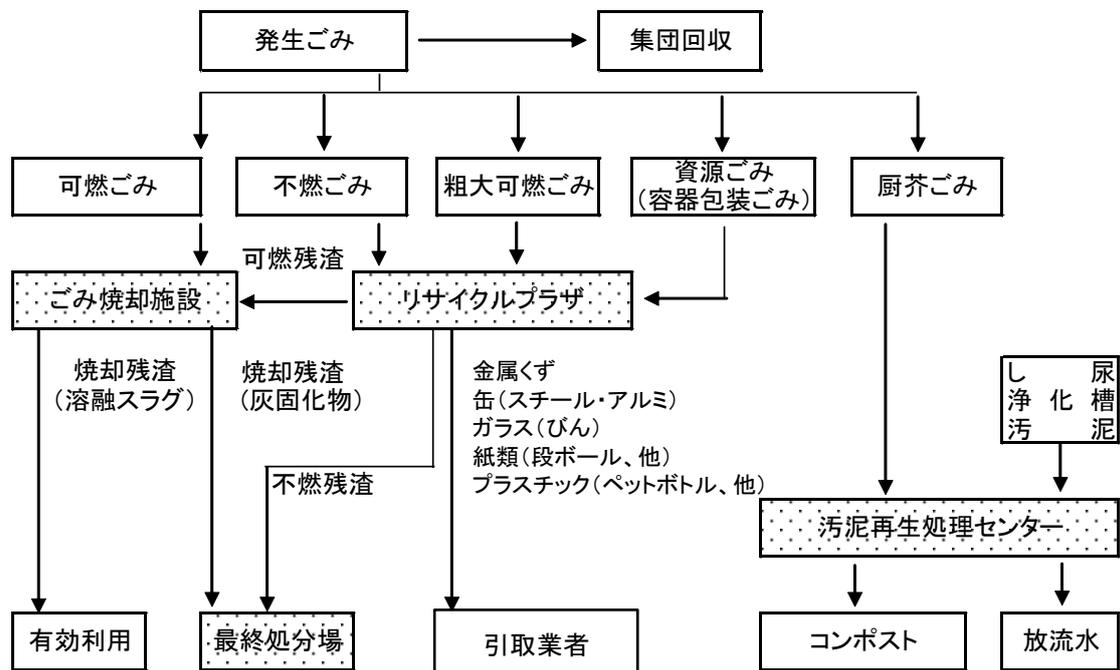
単位：t/年

| 種 類 | 平成 26 年度 (実績) | 平成 32 年度 | 平成 37 年度 |
|----------------|------------------|----------|----------|
| 焼却ごみ | 7,407 | 5,981 | 5,154 |
| 不燃・資源・粗大処理対象ごみ | 3,906 | 2,449 | 2,139 |



中間処理の見込み（排出抑制達成時）

2. 中間処理フロー



中間処理計画フロー

3. 処理施設及び整備計画

(1) ごみ焼却施設

ごみ焼却施設は、平成 14 年 12 月に供用開始した施設であることから本計画期間中には新しい施設の建設計画はなく、運転負荷を低減するため効率的な焼却処理と定期的な保守点検を行っていくことにより、施設の長寿命化に努めていく。

(2) リサイクルプラザ

リサイクルプラザは、平成 14 年 4 月に供用開始した施設であることから本計画期間中には新しい施設の建設計画はなく、運転負荷を低減するため効率的な資源化と定期的な保守点検を行っていくことにより施設の長寿命化に努めていく。

4. 施設の運転管理

(1) 運転時間

- ・ごみ焼却施設・・・16 時間／日（准連続焼却炉）
24 時間／日（灰溶融炉）
- ・リサイクルプラザ・・・ 5 時間／日

(2) 運転管理体制

新上五島町を処理主体とし、その運転管理は委託するものとする。

第4節 最終処分計画

焼却残渣を適正に処理するため、旧町において管理型の処理施設を整備してきた。当面は各旧町の管理型最終処分場において、埋立量の減量化を図るとともに周辺環境には十分に配慮した適正な管理・運営に努めなければならないが、平成30年頃には次の建設予定地を検討し、最終処分場を集中管理することによって施設の安全性を確保することができる新たな処分場の整備を進める必要がある。

1. 最終処分場の確保と地域との調和

住民の処分場に対するイメージを改善するために、周辺緑化、緑地保全及び浸出水処理施設のデザイン化等により、施設に対する違和感を払拭するとともに公園、遊歩道等を併せて整備し、人の集まる施設づくりを目指す。

2. 最終処分対象物

最終処分の対象物として、焼却処理を行った場合は、焼却残渣、焼却灰（溶融飛灰固化物、溶融スラグ）、あるいは不燃物の破碎残渣（資源化できないごみの破碎物）等を処理する。

3. 計画目標年次

平成18年度に供用開始された奈良尾最終処分場は、旧奈良尾町分の処理量に対する処理能力しかなく、他地区からの受け入れを想定していなかったことから、既設の各最終処分場の埋立処分が終了する前に、新上五島町において新たな最終処分場の建設を計画していかなければならない。

4. 最終処分場およびその整備計画の概要

- ア 計画目標年次・・・・・・・・今後検討
- イ 供用開始年・・・・・・・・今後検討
- ウ 計画埋立面積・・・・・・・・今後検討
- エ 計画埋立容量・・・・・・・・今後検討
- オ 埋立終了年・・・・・・・・今後検討

第5節 その他の対策

1. 不法投棄防止対策

通常のパトロールに加えて、県が配置している不法投棄監視員、警察等との連携により不法投棄の未然防止や早期発見に努める。また、不法投棄防止のための啓発を行い、町民や事業者の意識の向上を図る。

2. 震災時ごみ対策

震災時のごみについては、新上五島町震災廃棄物処理対策マニュアルに基づき、適切に処理していくこととする。

3. 散乱ごみ・漂着ごみ対策

道路や海岸、河川におけるポイ捨てを防止したり、漂着ごみを適切に処理するため、町民や事業者、行政が一体となって取り組む必要がある。

1) 散乱ごみの対策

- ① 町民や事業者の意識向上を図るため、各種環境教育、環境学習の場を提供する。
- ② 道路や河川の里親制度の普及を図り、ボランティア団体との共同による環境美化の推進を図る。
- ③ 毎年6月の「県下一斉空き缶回収キャンペーン」に併せて各自治会で実施している町内清掃や、町と自治会、漁協などの水産関連団体が協力して行う「県下一斉浜清掃」、各団体で行うボランティア清掃など環境美化に関して組織的に活動していく。
- ④ 5月30日を〔ごみゼロ〕の日と定め、〔ごみゼロ〕新上五島町ウォークを実施しており、今後も活動を継続して、ポイ捨て防止の意識向上を図る。

2) 漂着ごみ対策

海岸線の多い本町において、漂着ごみの対策は大きな課題となっているが、平成25年度より国・県の補助事業を活用し、漂着ごみの回収及び運搬、選別をし処理を行った。今後についても、県の関係機関に働きかけながら、漂着ごみの具体的な対策について検討し、適切な処理を進めていく。

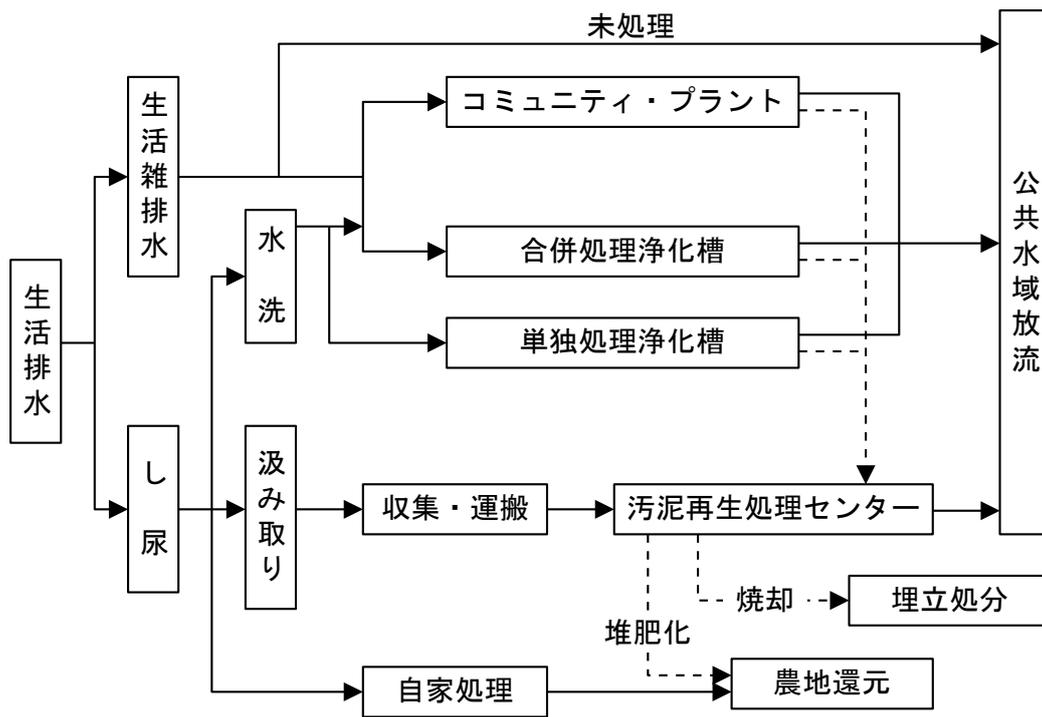
第3部 生活排水処理

第1章 生活排水処理の現況と評価

第1節 生活排水処理の現況

1. 生活排水処理の流れ

本町の平成26年度の排水処理の流れを以下に示す。



注) 図中 - - - - は、汚泥処理の流れを示す。

生活排水処理の流れ

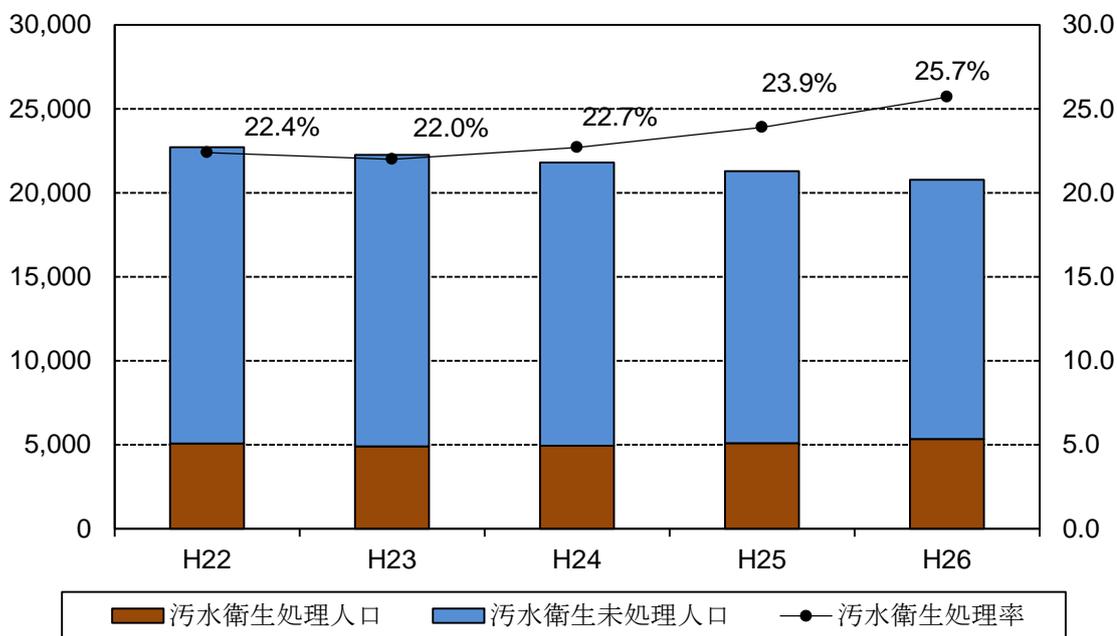
2. 生活排水処理形態別人口の現状

本町の平成 22 年度から平成 26 年度までの生活排水処理形態別人口については、下記の表に示すとおりである。

生活排水処理形態別人口の推移

単位：人

| | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|----------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 計画処理区域内人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 |
| 2. 水洗化・生活雑排水処理人口 | 5,082 | 4,901 | 4,954 | 5,091 | 5,343 |
| (1) コミュニティ・プラント | 333 | 252 | 232 | 241 | 247 |
| (2) 合併処理浄化槽 | 4,749 | 4,649 | 4,722 | 4,850 | 5,096 |
| (3) 下水道 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4) 農業集落排水施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3. 水洗化・生活雑排水未処理人口（単独処理浄化槽） | 623 | 608 | 602 | 502 | 349 |
| 4. 非水洗化人口 | 17,015 | 16,745 | 16,253 | 15,692 | 15,088 |
| 5. 計画処理区域外人口 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |



処理人口及び汚水衛生処理率の実績

※汚水衛生処理人口＝水洗化・生活雑排水処理人口

※汚水衛生未処理人口＝水洗化・生活雑排水未処理人口＋非水洗化人口

3. 生活排水処理施設の整備状況

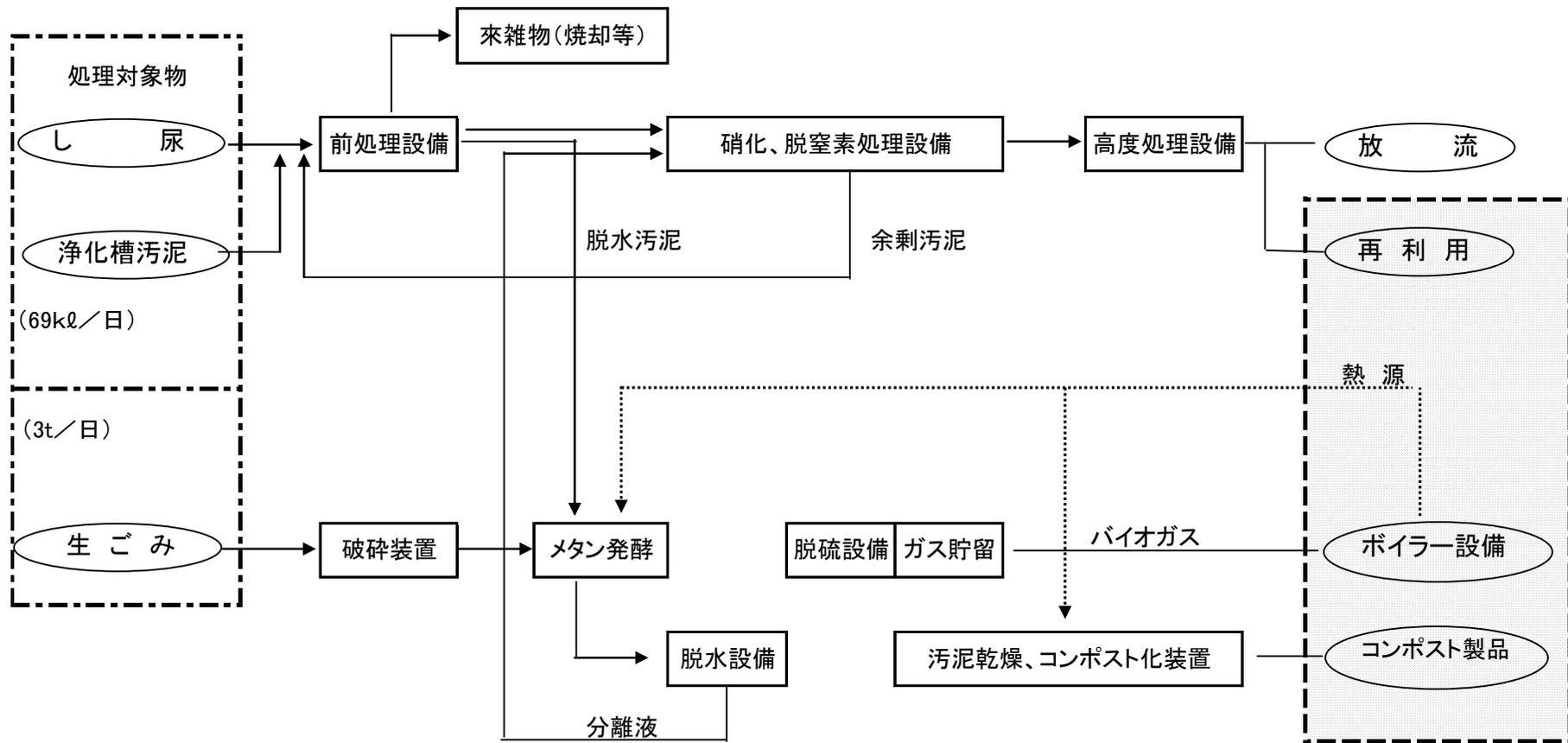
本町における生活排水処理施設は、汚泥再生処理センターと浦浜地域し尿処理施設（コミュニティ・プラント）及び個人等の浄化槽がある。

（1）汚泥再生処理センター

汚泥再生処理センターの施設概要及びフローについては、次表に示すとおりである。

施設概要

| 施設名 | | 汚泥再生処理センター | |
|--------|---------|--|-------------------------|
| 施設所管 | | 新上五島町 | |
| 施設所在地 | | 長崎県南松浦郡新上五島町綱ノ浦郷5番地170 | |
| 建設経過 | 着工 | 平成12年6月 | |
| | 竣工 | 平成14年3月 | |
| | 稼動 | 平成14年4月 | |
| 処理能力 | | し尿、浄化槽汚泥 69.0kℓ/日 (し尿 52kℓ/日, 浄化槽汚泥 17kℓ/日) 厨芥 3.0t/日 | |
| 処理方式 | | 膜分離高負荷脱窒素処理方式（浄化槽汚泥対応型システム）＋ 汚泥再生処理方式（メタン回収余熱利用設備、有機物汚泥堆肥化設備） | |
| 放流先 | | 綱ノ浦湾 | |
| 放流水質 | | pH | 5.0～9.0 |
| | | BOD | 10mg/ℓ以下 |
| | | COD | 10mg/ℓ以下 |
| | | SS | 10mg/ℓ以下 |
| | | T-N | 10mg/ℓ以下 |
| | | T-P | 1mg/ℓ以下 |
| | | 色度 | 30度以下 |
| | | 大腸菌群数 | 100個/c㎡ |
| 再資源化装置 | メタン発酵装置 | 形式 | 高速密閉式メタン発酵 |
| | | 消化温度 | 33度以上 |
| | | 固形物濃度 | 10%以上 |
| | | メタン濃度 | 60%以上 |
| | | メタン発生量 | メタン発生量 350ℓ/kg/kg・分解COD |
| | コンポスト装置 | コンポスト含水率 | 35～40% |
| | | 有機物分解率 | 15% |
| | | 製品 | 20ℓ袋詰め |



汚泥再生処理センターフローシート

汚泥再生処理センター放流水分析結果

平成 24 年度から平成 26 年度までの放流水分析結果(各年度月別結果の平均値)を以下に示す。

放流水分析結果

| | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| pH | 7.2 | 7.3 | 7.3 |
| BOD | 0.9 | 1.1 | 1.1 |
| COD | 1.5 | 1.7 | 1.9 |
| SS | ND | ND | ND |
| T-N | 2.80 | 2.54 | 2.90 |
| T-P | 0.02 | 0.04 | 0.06 |
| 色度 | ND | ND | ND |
| 大腸菌群数 | ND | ND | ND |

(ND・・・定量限界値未満)

平成 24 年度から平成 26 年度までの汚泥再生処理センターにおける除渣後し尿及び浄化槽汚泥の分析結果を下記に示す。

除渣後し尿分析結果

| 項目 | 単位 | 平成 24 年度 | | | 平成 25 年度 | | | 平成 26 年度 | | |
|-----|------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|----------|-------|-------|
| | | 平均 | 最大 | 最小 | 平均 | 最大 | 最小 | 平均 | 最大 | 最小 |
| pH | — | 7.86 | 8.08 | 7.60 | 7.79 | 8.07 | 7.60 | 7.75 | 7.93 | 7.40 |
| BOD | mg/ℓ | 3,195 | 4,740 | 2,280 | 3,935 | 5,280 | 2,520 | 4,328 | 6,120 | 2,400 |
| COD | mg/ℓ | 2,338 | 3,475 | 650 | 2,281 | 2,725 | 1,950 | 2,028 | 2,800 | 1,500 |
| SS | mg/ℓ | 3,452 | 4,438 | 1,960 | 3,279 | 8,525 | 1,400 | 2,512 | 3,725 | 1,575 |
| T-N | mg/ℓ | 1,627 | 2,645 | 259 | 1,541 | 1,759 | 1,353 | 1,192 | 1,952 | 363 |
| T-P | mg/ℓ | 134.0 | 173.0 | 95.0 | 118.0 | 155.0 | 86.0 | 123.0 | 194.0 | 90.0 |

除渣後浄化槽汚泥分析結果

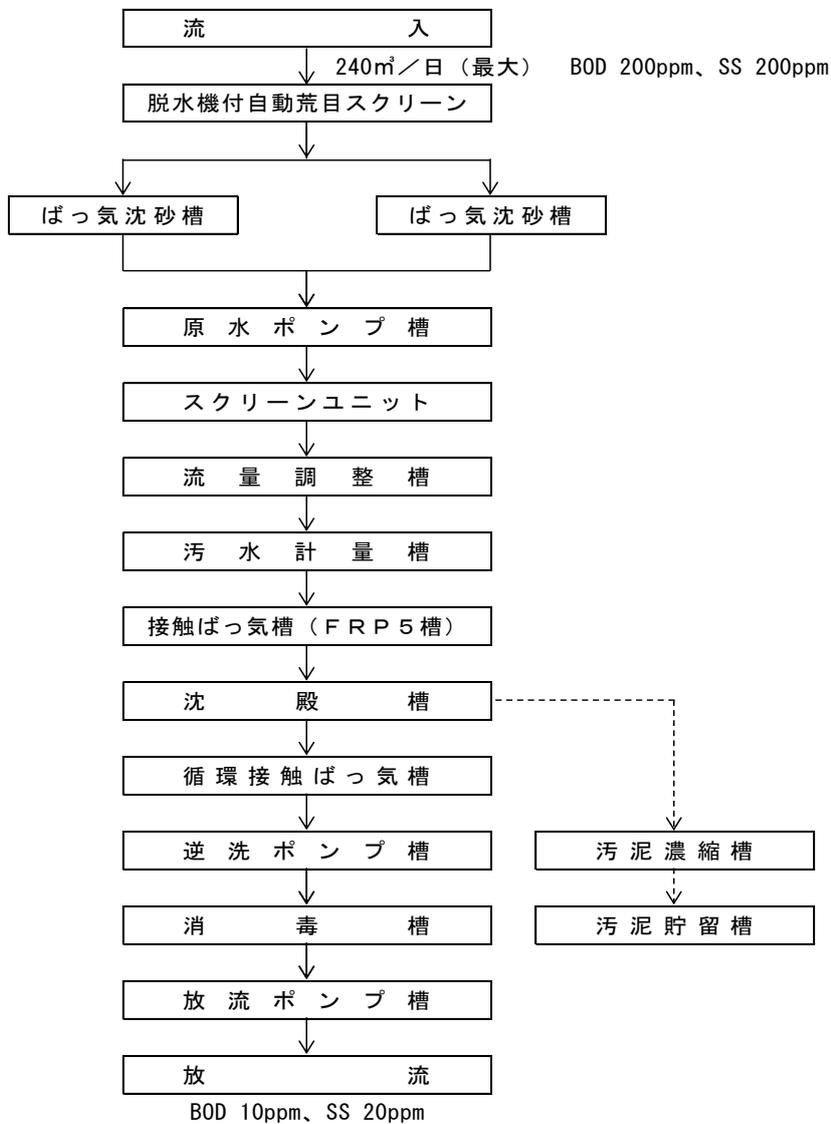
| 項目 | 単位 | 平成 24 年度 | | | 平成 25 年度 | | | 平成 26 年度 | | |
|-----|------|----------|-------|-------|----------|-------|------|----------|-------|-------|
| | | 平均 | 最大 | 最小 | 平均 | 最大 | 最小 | 平均 | 最大 | 最小 |
| pH | — | 6.77 | 7.32 | 5.91 | 6.81 | 7.55 | 6.23 | 6.93 | 7.51 | 6.24 |
| BOD | mg/ℓ | 1,298 | 2,400 | 540 | 1,035 | 1,680 | 510 | 1,120 | 1,920 | 480 |
| COD | mg/ℓ | 710 | 1,130 | 315 | 838 | 1,160 | 440 | 733 | 1,030 | 260 |
| SS | mg/ℓ | 6,660 | 8,550 | 4,863 | 4,213 | 7,750 | 850 | 4,069 | 6,263 | 2,490 |
| T-N | mg/ℓ | 292 | 734 | 99 | 227 | 348 | 109 | 216 | 350 | 60 |
| T-P | mg/ℓ | 43.9 | 81.4 | 24.4 | 35.1 | 60.7 | 22.3 | 32.6 | 45.5 | 25.0 |

(2) 浦浜地域し尿処理施設 (コミュニティ・プラント)

浦浜地域し尿処理施設概要は下記の表に示すとおりである。

施設の概要

| | |
|--------|----------------------------|
| 処理場名 | 浦浜地域し尿処理施設 |
| 所在地 | 新上五島町浦桑郷 1402 番地 |
| 排水の種類 | 合併排水 (し尿+雑排水) |
| 計画処理人口 | 630 人 |
| 計画水量 | 240 m ³ /日 (最大) |
| 処理時間 | 24 h/日 |
| 処理方式 | 接触ばっ気方式+3 次処理施設+土壌脱臭方式 |
| 管理・運営 | 委託 |



処理工程図

(3) 収集・運搬、処理の実績

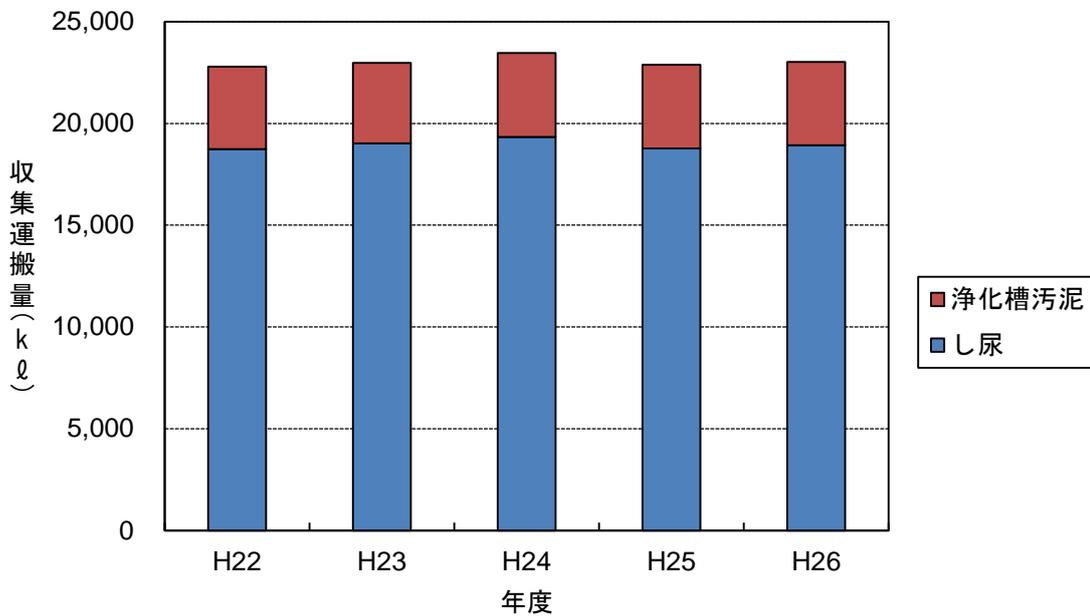
本町における、収集、運搬実績は下記の表に示すとおりである。

収集区域は町内全域とする。

本町における収集、運搬の実績

単位：kℓ

| 区分 | 年度 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|-------|----|------------|------------|------------|------------|------------|
| し尿 | | 18,733 | 19,021 | 19,331 | 18,763 | 18,923 |
| 浄化槽汚泥 | | 4,049 | 3,944 | 4,131 | 4,119 | 4,103 |
| 合計 | | 22,782 | 22,965 | 23,462 | 22,882 | 23,026 |

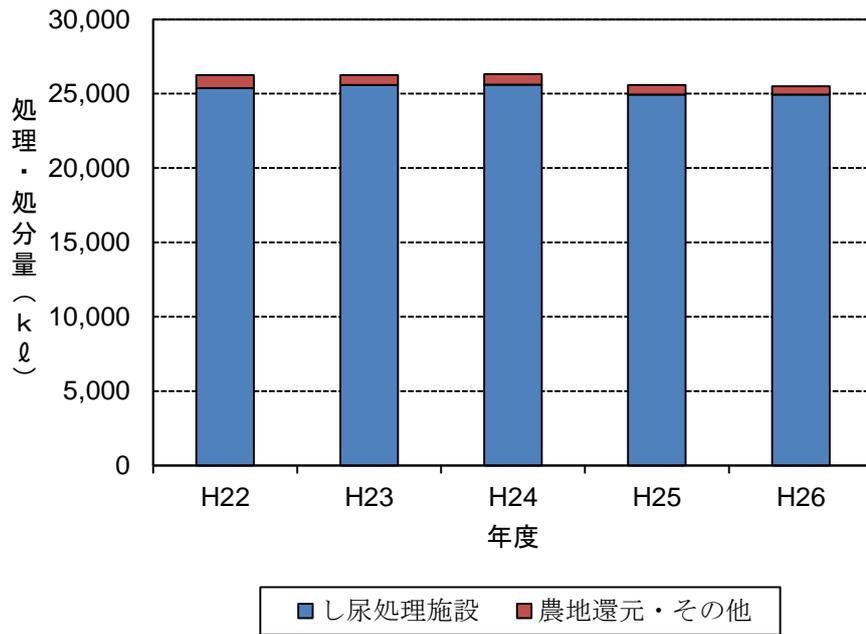


収集、運搬量の実績

本町における処理、処分の実績

単位：kℓ

| 区分 | 年度 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|-------------|----|------------|------------|------------|------------|------------|
| し尿処理 施設 | し尿 | 20,268 | 20,718 | 20,655 | 19,776 | 20,133 |
| | 汚泥 | 5,108 | 4,871 | 4,959 | 5,160 | 4,804 |
| | 計 | 25,376 | 25,589 | 25,614 | 24,936 | 24,937 |
| 農地還元 その他 | し尿 | 882 | 662 | 701 | 657 | 568 |
| | 汚泥 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 882 | 662 | 701 | 657 | 568 |
| 合計 | | 26,258 | 26,251 | 26,315 | 25,593 | 25,505 |

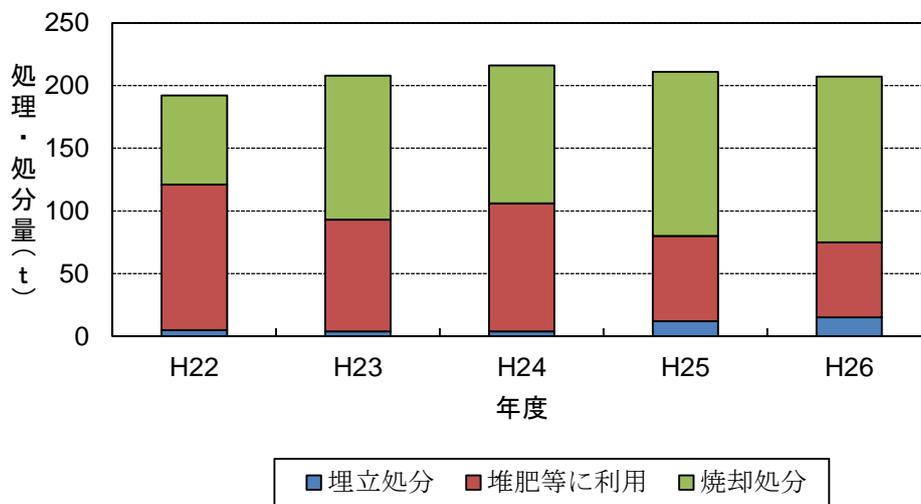


処理、処分の実績

本町における残渣処分の実績

単位：t

| 区分 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 埋立処分 | 5 | 4 | 4 | 12 | 15 |
| 肥料等に利用 | 116 | 89 | 102 | 68 | 60 |
| 焼却処分 | 71 | 115 | 110 | 131 | 132 |
| 合計 | 192 | 208 | 216 | 211 | 207 |



残渣処分の実績

(4) 管理体制

本町における汚泥再生処理センターの管理体制は下記の表に示すとおりである。

管理状況

| | | |
|--------|-----------------------------|-------------------|
| 管理体制 | 維持管理人員 | 6名(委託) |
| 資格取得状況 | 廃棄物処理施設技術管理者 | 委託業者所属 |
| | 危険物取扱者 | 〃 |
| | 酸素欠乏作業主任者 | 〃 |
| | ボイラ技師 | 〃 |
| | 電気主任技術者 | 〃 |
| | 特定化学物質等作業主任者 | 〃 |
| | 乾燥設備作業主任者 | 〃 |
| | クレーン及び玉掛技能士 フォークリフト運転技能者 | 〃 〃 |
| 収集体制 | 収集区域 | 新上五島町 |
| | 収集業者：し尿兼浄化槽汚泥 | 3業者(許可) |
| | 収集車両 | 2t車：3台 4t車：10台 |

(5) 再資源化の量

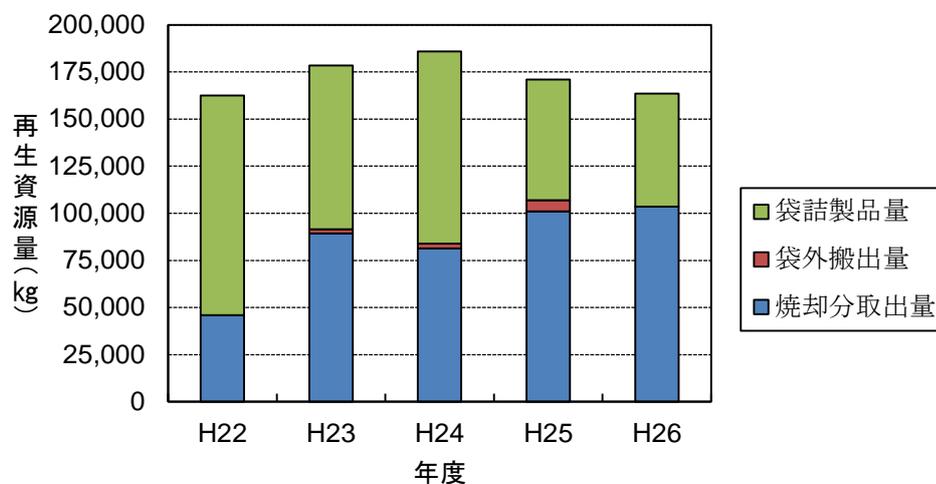
汚泥再生処理センターにおいて、汚泥と生ごみを混ぜてコンポスト化した肥料「春香」の生産状況は下記のとおりである。

肥料「春香」は、広報等で情報提供し希望者に無料で提供している。

再資源化量の推移

単位：kg

| | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 乾燥堆肥化生産量 | 162,490 | 178,510 | 185,920 | 172,920 | 163,600 |
| 焼却分取出量 | 45,890 | 89,400 | 81,410 | 101,000 | 103,600 |
| 袋外搬出量 | 0 | 2,110 | 2,510 | 5,920 | 0 |
| 袋詰製品量 | 116,600 | 87,000 | 102,000 | 64,000 | 60,000 |
| 施設保管量 | 27,290 | 10,860 | 19,190 | 22,640 | 14,120 |



再資源化量の推移

(6) 処理経費

本町における年度別処理経費は下表のとおりである。

総経費は、平成 22 年度から平成 24 年度までは増加傾向であり、平成 25 年度に一旦減少するものの、平成 26 年度はまた増加している。総経費に対する町民 1 人あたりの処理経費は、人口減少に伴い平成 22 年度と比較し、約 1.14 倍となっている。

処理経費

単位：千円

| 区分 | | 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 |
|------------|----------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | | | | | |
| 収集運 搬経費 | 経費実績 | | 5,824 | 5,115 | 5,515 | 6,002 | 8,265 |
| | 町民 1 人当り | | 0.26 | 0.23 | 0.25 | 0.28 | 0.41 |
| 中間処 理経費 | 経費実績 | | 248,581 | 255,049 | 259,732 | 249,923 | 257,666 |
| | 町民 1 人当り | | 10.94 | 11.46 | 11.91 | 11.74 | 12.39 |
| 経費 合計 | 経費実績 | | 254,405 | 260,164 | 265,247 | 255,925 | 265,931 |
| | 町民 1 人当り | | 11.20 | 11.69 | 12.16 | 12.02 | 12.80 |

4. 水利用状況、水質保全に関する状況等

(1) 水利用状況

平成26年度における各地区の水利用状況は下記の表に示すとおりである。

簡易水道利用状況

| 区分 地区 | 給水 世帯 (戸) | 人口 (人) | 給水 人口 (人) | 利用率 (%) | 最大 給水量 (m ³ /日) | 1世帯当り 最大給水量 (m ³ /世帯・日) | 1人当り 最大給水量 (m ³ /人・日) |
|----------|-----------------|-----------|-----------------|------------|----------------------------------|--|--|
| 若松地区 | 1,524 | 3,007 | 3,007 | 100.0 | 1,017 | 0.67 | 0.34 |
| 上五島地区 | 2,742 | 5,928 | 5,921 | 99.9 | 2,683 | 0.98 | 0.45 |
| 新魚目地区 | 1,870 | 3,791 | 3,791 | 100.0 | 1,364 | 0.73 | 0.36 |
| 有川地区 | 2,803 | 5,841 | 5,841 | 100.0 | 2,807 | 1.00 | 0.48 |
| 奈良尾地区 | 1,247 | 2,213 | 2,213 | 100.0 | 869 | 0.70 | 0.39 |
| 合計 | 10,186 | 20,780 | 20,773 | 99.97 | 8,740 | 町平均 0.86 | 町平均 0.42 |

(2) 水質保全状況

本町の鯛ノ浦郷地区における水質保全状況(排水基準)は下表のとおりであり、長崎県条例より、厳しい「排水基準」となっている。

排水基準(鯛ノ浦郷地区協定)

単位：pH以外mg/ℓ

| 排水基準 | | BOD (川) | COD (海) | SS (浮遊) | T-N (窒素) | pH | 大腸菌群数 (個/cm ²) |
|-----------|-------------|----------------|----------------|----------------|-------------|---------|-------------------------------|
| 厚生省等排水基準 | | 160以下 (120) | 160以下 (120) | 200以下 (150) | — | 5.8~8.6 | 3,000以下 |
| 長崎県 条例 | 長崎湾等 | 25以下 (20) | 25以下 (20) | 50以下 (40) | — | — | — |
| | 大村湾 本明川等 | 30以下 (20) | 30以下 (20) | 50以下 (40) | — | — | — |
| 鯛ノ浦郷地区 | | 10 以下 | 10 以下 | 10 以下 | 10 以下 | 5.0~9.0 | 100以下 |

※基準値は最大値を示す。(括弧内の数値は、日間平均数値)

第2節 生活排水処理の課題

本町におけるし尿処理は、平成16年8月1日の町村合併前までは、広域共同処理業務として旧5町（若松町、上五島町、新魚目町、有川町、奈良尾町）で構成する上五島地域広域市町村圏組合の許可業者による収集及び処理を行っていた。合併後は、新上五島町の許可業者による収集を行い、上五島地域広域市町村圏組合から新上五島町に引き継いだ汚泥再生処理センターで処理を行っている。

し尿、及び浄化槽汚泥の収集、運搬量は、各年度の増減はあるものの、人口は減少しているにもかかわらず、ほぼ横ばいとなっている。

処理については、平成22年度から平成24年度まではやや増加傾向であったが、平成25年度・平成26年度においては、平成24年度よりは減少したものの、2年間ほぼ同量の処理を行っている。また、汚泥と厨芥を混ぜて発酵させコンポスト化しているが、コンポストの利用者の拡大に努めていく必要がある。

今後は、施設の運転負荷を低減するため効率的な処理と定期的な点検、整備を行っていくことにより施設の長寿命化を図っていかねばならない。

また、浦浜地域し尿処理施設（コミュニティ・プラント）は、平成元年から供用開始され、平成19年度に施設の大幅な改修工事を実施し、現在、安定した処理を行っているが、一部には不具合が発生している設備もあるため、その状況を把握していく必要がある。

一方、本町の水道利用状況は、現在14簡易水道が整備され、1飲料水供給施設により給水されており、普及率は99.97%となっている。

しかしながら、地形的に急傾斜地が多く、平地は海岸沿いにわずかに広がる程度で大きな河川等がないため、水源の確保には制約があり、渇水期には水源からの安定取水が難しくなるところもある。

今後は、町水道事業は既存の簡易水道等をすべて統合し、平成29年4月から一つの上水道事業へ移行予定であるが、人口減少、給水量の減少傾向が見込まれる。しかし、安全な水道水質に対する要求は高いことから、安定的な水源確保を含めた既存水道施設の計画的な整備、水の有効利用、水質管理の徹底など長期的展望に立った水資源対策を講じていく必要がある。

第2章 生活排水処理基本計画

第1節 基本方針

1. 生活排水処理に係る理念、目標

一部の地域において、公共下水道計画の希望はあるが、本町は、地理的特性、経済性および投資的効果発現の迅速性を考慮した場合、公共下水道の普及には困難が伴う。

したがって、生活排水処理については、合併処理浄化槽やコミュニティ・プラントなどで対応することを目標とする。

なお、本計画では当面、水質保全上の特別な配慮が求められる地域を対象に合併処理浄化槽等を導入し、発生源における生活雑排水対策をより強化することで、身近な生活環境、公共用水域の環境保全を図っていくこととする。

2. 生活排水処理施設整備の基本方針

本町における、生活排水処理施設整備を推進する区域は下記に示すとおりとする。

- (1) 新規に建築する家屋については、合併処理浄化槽の導入を推進
- (2) 単独処理浄化槽を設置している家屋には、個別の状況を勘案しつつ合併処理浄化槽への転換を指導
- (3) 今後行われる宅地開発については、開発の規模に応じて、合併処理浄化槽を導入
- (4) 合併処理浄化槽、コミュニティ・プラントの未整備地域及び家屋については、汲み取りし尿の収集及び処理を適切に行う。
- (5) 浄化槽汚泥の収集および処理を適切に行う。
- (6) し尿汚泥を処理した後に発生する汚泥等については、極力資源化する。

3. 目標年次

本町の生活排水処理計画における目標年次は、本計画策定時（平成 28 年度）から 10 年後の

平成 37 年度

とし、今後 10 年間の生活排水処理に関する基本施策を策定するものとする。

なお、概ね 5 年毎もしくは社会情勢に大きな変動がある場合においては、計画の見直しを行うものとする。

【計画の推進】

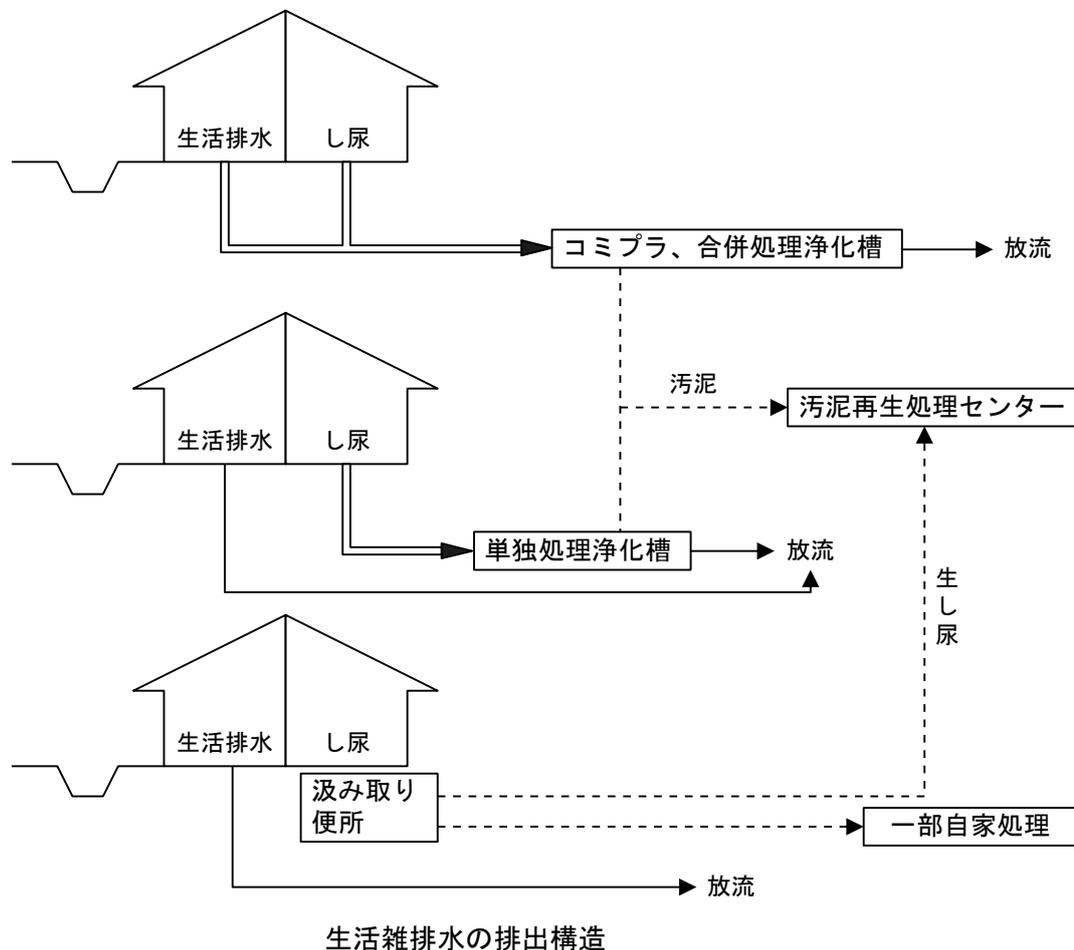
本計画に掲げた政策を推進するため、事業運営体制の強化を図るとともに、計画期間を通じて事業の進捗状況およびその効果を的確に把握し、目標の達成に努めるものとする。

なお、本計画は、現時点において得られる各種統計資料に基づき予測あるいは類推適用しているため、生活排水処理の状況、町民意識の変化、財政状況などに対応し、必要に応じて見直しを行うものとする。

第2節 生活排水処理基本計画

1. 処理形態別人口と排出量の推移

本町における生活排水の排出構造は下図のとおりである。



(1) 処理形態別人口の推移

本町の過去5年間における処理形態別人口は下表のとおりである。

平成26年度における計画処理区域内人口20,780人のうち水洗化、生活雑排水処理人口は5,343人(25.7%)、その内訳は、コミュニティ・プラント人口が247人(1.2%)、合併処理浄化槽人口が5,096人(24.5%)となっており、平成22年度の4,749人に比べて約1.1倍に上昇している。

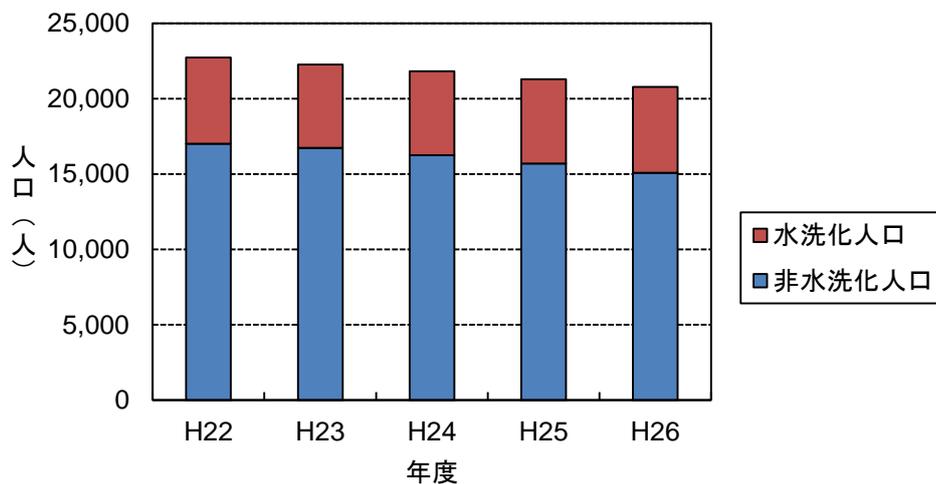
反面、単独処理浄化槽については、平成26年度は349人で平成22年度の623人に比べて約44%減少している。

一方、非水洗化人口は平成26年度が15,088人で、平成22年度の17,015人に比べて11%減少し、計画処理区域内人口全体の約73%を占めているが、過去5年間においては、僅かながら水洗化が進んでいる。

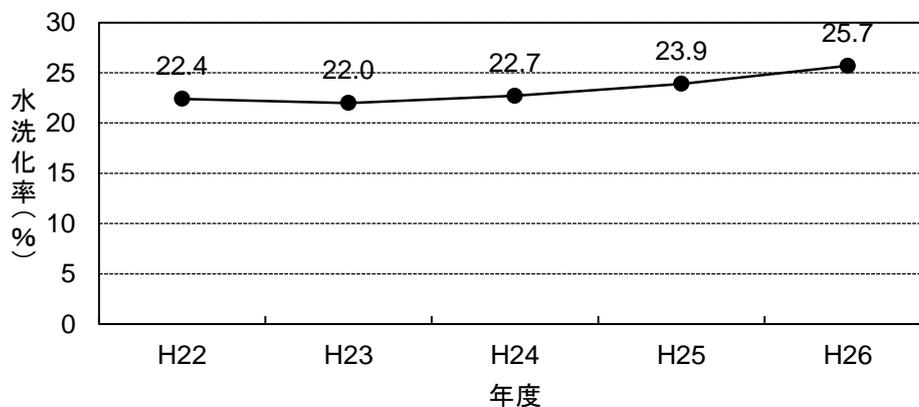
生活排水処理形態別人口の推移

単位：人

| | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|----------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 計画処理区域内人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 |
| 2. 水洗化・生活雑排水処理人口 | 5,082 | 4,901 | 4,954 | 5,091 | 5,343 |
| (1) コミュニティ・プラント | 333 | 252 | 232 | 241 | 247 |
| (2) 合併処理浄化槽 | 4,749 | 4,649 | 4,722 | 4,850 | 5,096 |
| (3) 下水道 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4) 農業集落排水施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 3. 水洗化・生活雑排水未処理人口（単独処理浄化槽） | 623 | 608 | 602 | 502 | 349 |
| 4. 非水洗化人口 | 17,015 | 16,745 | 16,253 | 15,692 | 15,088 |
| 5. 計画処理区域外人口 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |



本町過去5年間における水洗化人口の推移（単独は除く）



本町過去5年間における水洗化率の推移（単独は除く）

(2) 排出量の推移

本町の過去5年間における排出量は下記の表に示すとおりである。

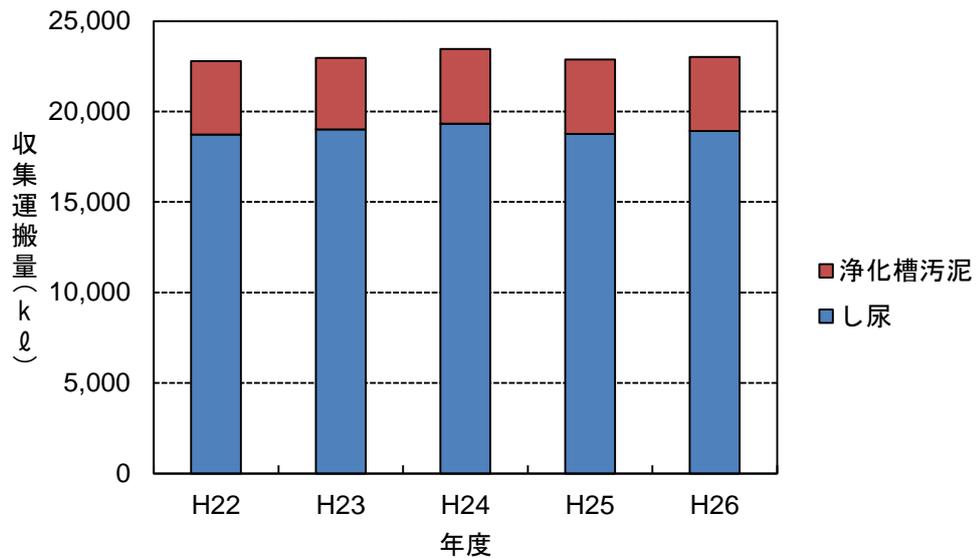
し尿・浄化槽汚泥排出量の推移

単位：kℓ

| 区分 \ 年度 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| し尿 | 18,733 | 19,021 | 19,331 | 18,763 | 18,923 |
| 浄化槽汚泥 | 4,049 | 3,944 | 4,131 | 4,119 | 4,103 |
| 合計 | 22,782 | 22,965 | 23,462 | 22,882 | 23,026 |
| 自家処理し尿 | 882 | 662 | 701 | 657 | 568 |

平成22年度から平成26年度においては、人口が減少しているにもかかわらず、ほぼ横ばいとなっている。

また、し尿についても浄化槽汚泥と同様にほぼ横ばいの状況である。



し尿・浄化槽汚泥排出量の推移

2. 生活排水の処理主体

目標年次における生活排水の処理主体は下記の表に示すとおりである。

生活排水の処理主体

| | 区 分 | 処理主体 | 備 考 |
|----------|-------------|-------|---------|
| 収集 | 生し尿 | 許可業者 | |
| | 浄化槽清掃と浄化槽汚泥 | 許可業者 | |
| 運搬 | 生し尿 | 許可業者 | |
| | 浄化槽清掃と浄化槽汚泥 | 許可業者 | |
| 中間 処理 | し尿及び浄化槽汚泥 | 新上五島町 | |
| | 合併処理浄化槽 | 各所有者 | し尿及び雑排水 |
| | 単独処理浄化槽 | 各所有者 | し尿のみ |
| 最終 処分 | 残渣 | 新上五島町 | |

3. 一般廃棄物（生活排水）処理基本計画策定にあたっての検討事項

(1) 既存施設及び既存計画との整合性の検討

既存の汚泥再生処理センターは、平成14年度から供用開始したが、新規の建設計画はなく、運転負荷を低減し効率的な処理と定期的な点検、整備を行っていくことにより、施設の長寿命化に努めていく。

(2) 経済的要因の検討

今後、住宅開発に伴う生活排水処理については、地域の地理的条件、各施設の建設費、またそれらの運用に伴う管理費等を十分検討して、町の財政状況に最適な処理施設を選定するものとする。

(3) 社会的要因の検討

本町の海域及び河川等の水質保全を図るため、コミュニティ・プラントによる集合処理施設を整備促進し、集合処理施設が適さない地域については、合併処理浄化槽の整備促進を進めていく。

また、生活排水に対する地域住民の認識を高め、快適な生活環境を創造するため、住民の意向を十分に把握し、住民合意の形成を行いながら進めていくものとする。

(4) 投資効果発現の迅速性の検討

水洗化の施設整備は、住民の要望を勘案しながら進めなければならないが、コミュニティ・プラントや合併処理浄化槽は他の施設（公共下水道、農業・漁業集落排水等）と比べ投資効果の発現が比較的早い施設であることを念頭に置き検討する。

(5) 地域環境保全効果の検討

施設整備にあたっては、処理施設における処理水質レベルのみならず、個別処理の場合は、処理施設から直接処理水が小水路や小河川に放流されるため、それらの小水域での自然浄化能力を十分に活用できる点に配慮するとともに、地域の身近な小河川や水路の水質確保にも役立ち、潤いのある生活環境を呼び戻す効果も期待できることなどを勘案しながら検討する。

(6) 将来見通しの検討

本町の人口は減少傾向にあり、今後も急激な人口増は考えられない。したがって、以下のことを考慮し施設整備を進めるものとする。

- ①一般に人口増が見込まれない場合、現状に対応した施設としてコミュニティ・プラントや農業・漁業集落排水等が導入される場合が多い。
- ②合併処理浄化槽は、個別処理・集合処理のいずれの方式も可能であることから、投資効果を早期に発現させることができるうえ、将来、施設整備の拡大が必要な場合でも比較的容易に対応が可能である。

第3節 将来予測

1. 生活排水処理人口の将来予測

本町の過去5年間の生活排水処理人口の推移および人口の予測をもとに、平成37年度の処理形態別人口を予測すると下表のとおりとなる。

合併処理浄化槽については、今後生活環境の改善に対する住民意識が向上していることからゆるやかではあるが、増加していくものと考えられる。反面、単独処理浄化槽については建設が全面的に禁止されたことにより年々減少してくると推測される。

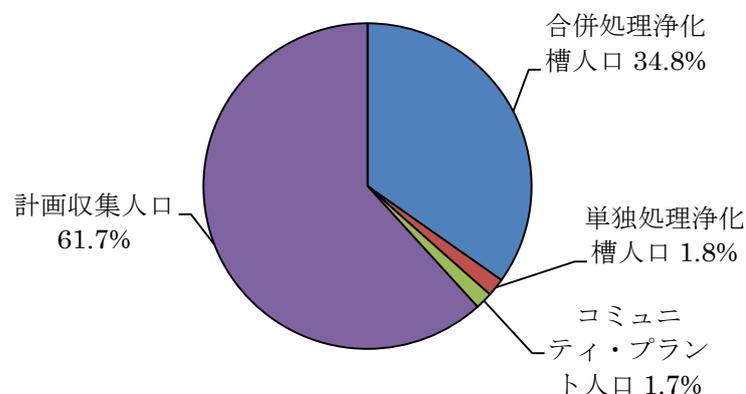
コミュニティ・プラントは、浦浜地区のみで、平成元年度に供用開始され、平成19年度に大規模な改修工事を実施しているが、コミュニティ・プラント人口は、ほぼ横ばいの状況となっているため、大きな増加はないと考えられる。

自家処理人口については、平成26年度の現在推計で453人となっている。今後環境保全等の面から減少させる方針であり、平成37年度までには自家処理人口を「0」人にする計画である。したがって、平成37年度における自家処理予測人口は「0」人とする。し尿収集人口は、行政区域内人口から合併処理浄化槽人口、コミュニティ・プラント人口を差し引いた人口とする。

以上のことから、平成37年度における処理形態別予測人口は下表及び図に示すとおりである。

処理形態別予測人口

| 区分 | 平成37年度の処理形態別人口 | 比率 (%) |
|---------------|----------------|--------|
| 合併処理浄化槽人口 | 5,391 | 34.8 |
| 単独処理浄化槽人口 | 279 | 1.8 |
| コミュニティ・プラント人口 | 268 | 1.7 |
| 計画収集人口 | 9,555 | 61.7 |
| 合計 | 15,493 | 100.0 |

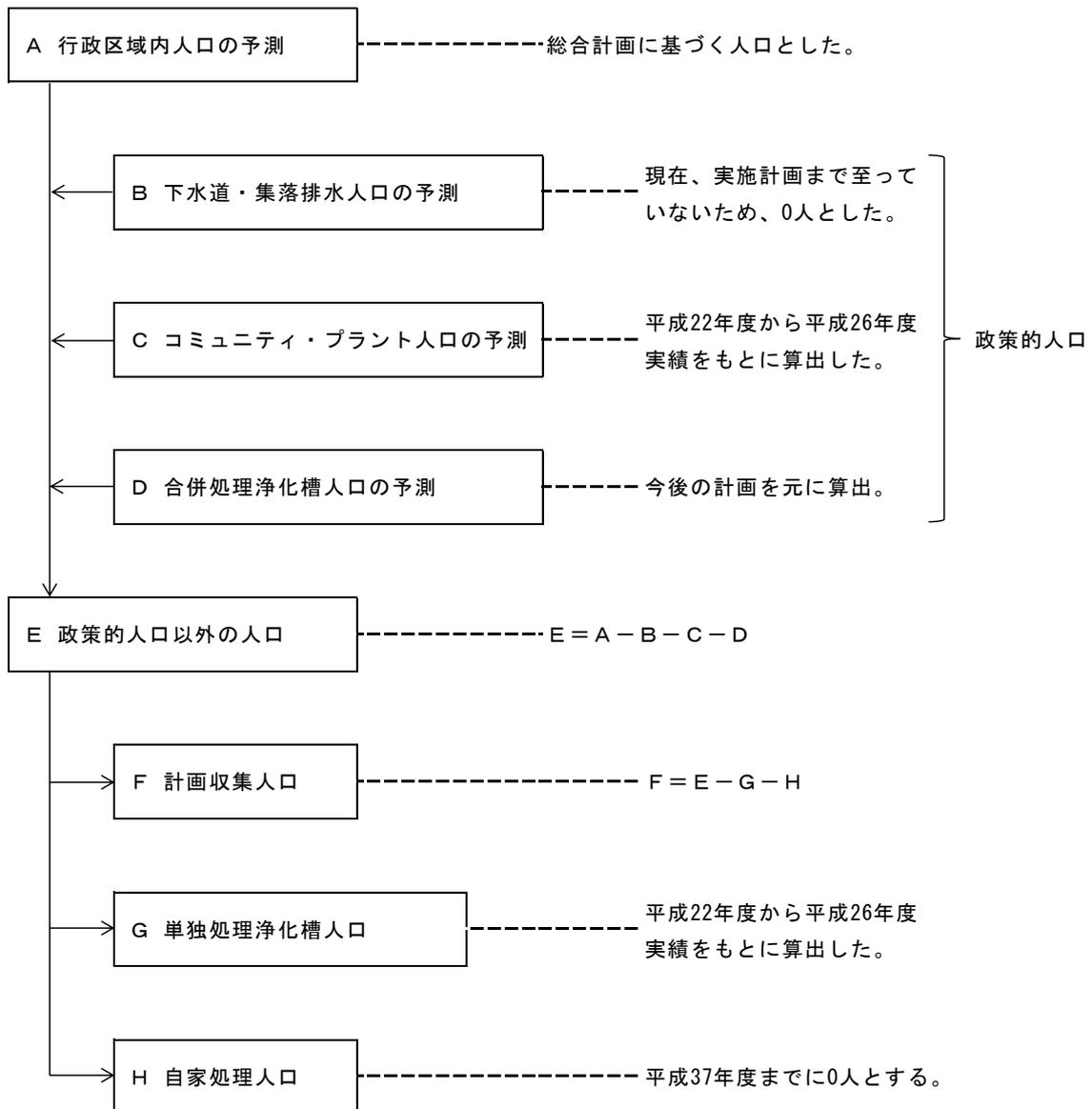


平成37年度の処理形態別予測人口比率

2. 生活排水処理排出量の将来予測

(1) 予測手順

将来推計については、下記の予測概念図をもとに将来における排出量の推計を行うものとする。



排出量の推計方法

(2) し尿等排出量の実績と将来予測

① 排出原単位の推移

本町の過去5年間の排出原単位をもとに将来推計を行うものとする。

し尿・浄化槽汚泥原単位の推移

単位：ℓ/人/日

| 区分 \ 年度 | 平成 22年度 | 平成 23年度 | 平成 24年度 | 平成 25年度 | 平成 26年度 |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|
| し尿 | 3.16 | 3.22 | 3.38 | 3.39 | 3.56 |
| 浄化槽汚泥 | 1.94 | 1.96 | 2.04 | 2.02 | 1.97 |

平成22年度から平成26年度までの排出量の変化は、し尿については簡易水洗の普及に伴い増加している。浄化槽汚泥は、増減しながらも増加傾向である。

② 排出原単位の将来推計

し尿及び浄化槽汚泥原単位の推計結果を示す。

し尿及び浄化槽汚泥原単位の将来推計結果

単位：ℓ/人/日

| 年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| し尿原単位 | 3.47 | 3.50 | 3.52 | 3.54 | 3.56 |
| 浄化槽汚泥原単位 | 2.02 | 2.02 | 2.03 | 2.03 | 2.04 |

| 年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 | 平成36年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| し尿原単位 | 3.58 | 3.59 | 3.61 | 3.62 | 3.64 |
| 浄化槽汚泥原単位 | 2.04 | 2.05 | 2.05 | 2.05 | 2.05 |

| 年度 | 平成37年度 | 平成38年度 | 平成39年度 | 平成40年度 | 平成41年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| し尿原単位 | 3.65 | 3.66 | 3.67 | 3.68 | 3.69 |
| 浄化槽汚泥原単位 | 2.06 | 2.06 | 2.06 | 2.06 | 2.07 |

③し尿等排出量の将来推計結果

し尿及び浄化槽汚泥 1 日量の推計結果を示す。し尿量は減少し、浄化槽汚泥量が増加となる。合計量は人口の減少に伴い減少傾向である。

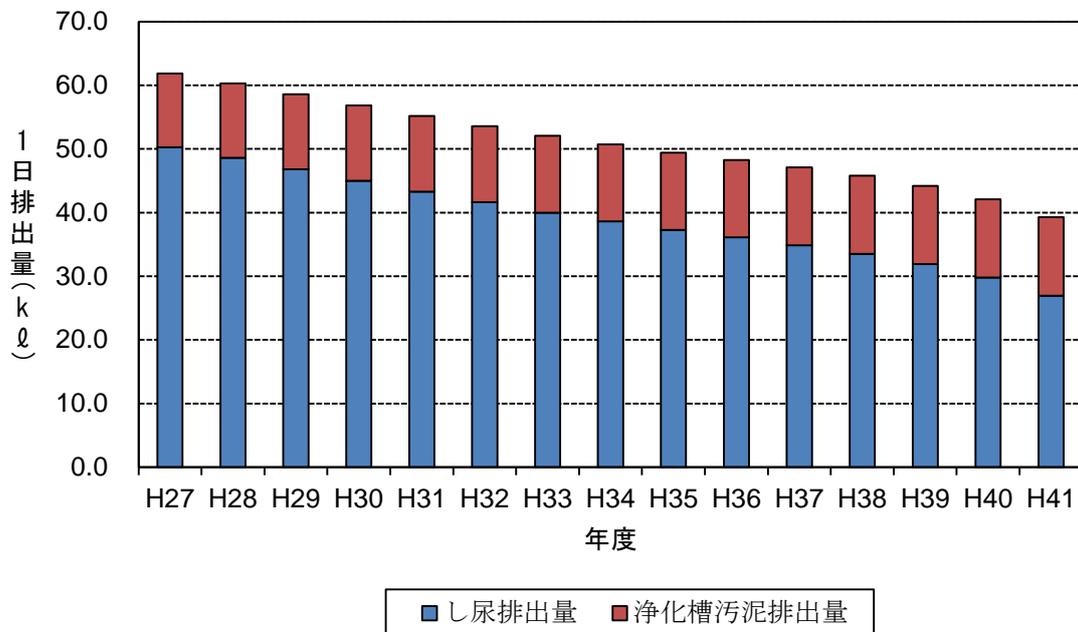
し尿及び浄化槽汚泥 1 日量の将来推計結果

単位：kl/日

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| し尿 | 50.29 | 48.63 | 46.82 | 45.01 | 43.27 |
| 浄化槽汚泥 | 11.59 | 11.66 | 11.77 | 11.82 | 11.93 |
| 合計 | 61.88 | 60.29 | 58.59 | 56.83 | 55.20 |

| 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 | 平成 36 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| し尿 | 41.63 | 40.00 | 38.63 | 37.28 | 36.12 |
| 浄化槽汚泥 | 11.97 | 12.06 | 12.09 | 12.12 | 12.15 |
| 合計 | 53.60 | 52.06 | 50.72 | 49.40 | 48.27 |

| 年度 | 平成 37 年度 | 平成 38 年度 | 平成 39 年度 | 平成 40 年度 | 平成 41 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| し尿 | 34.88 | 33.53 | 31.91 | 29.80 | 26.92 |
| 浄化槽汚泥 | 12.23 | 12.25 | 12.28 | 12.30 | 12.37 |
| 合計 | 47.11 | 45.78 | 44.19 | 42.10 | 39.29 |



し尿及び浄化槽汚泥 1 日量の将来推計結果

第4節 生活排水処理計画

1. 処理の目標

本町においては、発生源における生活雑排水対策をより一層強化、推進を図ることにより、身近な生活環境、公共用水域環境の水質保全を図っていくこととする。

以上のことから、生活排水処理の目標（処理率）と人口の内訳を下表のとおり設定する。

生活排水の処理の目標

| | 現在 (平成 26 年度) | 目標年次 (平成 37 年度) |
|---------|------------------|--------------------|
| 生活排水処理率 | 25.7% | 36.5% |

人口の内訳

| | 現在 (平成 26 年度) | 目標年次 (平成 37 年度) |
|---------------|------------------|--------------------|
| 行政区域内人口 | 20,780 人 | 15,493 人 |
| 計画処理区域内人口 | 20,780 人 | 15,493 人 |
| 水洗化・生活雑排水処理人口 | 5,343 人 | 5,659 人 |

2. 生活排水処理区域及び人口

(1) 合併処理浄化槽での処理を推進する区域及び人口

合併処理浄化槽での処理を推進する区域としては、公共事業や住宅開発に伴う申請規模に応じて設置を指導していく。

(2) コミュニティ・プラントで処理する区域及び人口等

コミュニティ・プラントで処理する区域は、現在、既存処理設備がある浦浜地区に限られているが、コミュニティ・プラント人口が今後、急激に増加することは考えられないこと、及び新規建築する家屋の多くが合併処理浄化槽を設置することを考慮すると、新しい施設の建設はせず、既存の施設を改修しながら今後も使用するものとする。

(3) 下水道で処理する区域及び人口等

本町において、下水道整備計画はない。

(4) 農業・漁業集落排水施設で処理する区域及び人口等

本町において、農業・漁業集落排水施設整備計画はない。

(5) その他

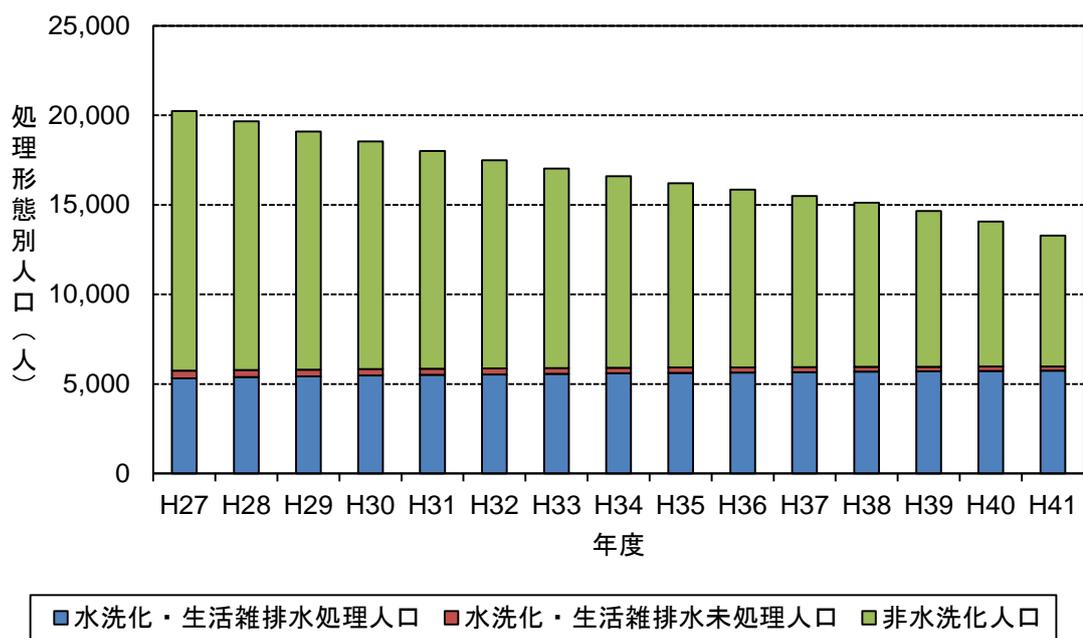
(1)～(4)以外の施設については、生活排水処理対策の必要性や浄化槽管理の重要性について、住民に周知を図るための定期的な広報、啓発活動を実施する。

以上を勘案し、本町の目標年度における処理形態別人口の内訳は下表のように計画する。

処理形態別人口の目標

単位：人

| | 現在 (平成 26 年度) | 目標年度 (平成 37 年度) |
|-----------------------------|------------------|--------------------|
| 1. 計画処理区域内人口 | 20,780 | 15,493 |
| 2. 水洗化・生活雑排水処理人口 | 5,343 | 5,659 |
| (1) コミュニティ・プラント | 247 | 268 |
| (2) 合併処理浄化槽 | 5,096 | 5,391 |
| (3) 下水道 | 0 | 0 |
| (4) 農業集落排水施設 | 0 | 0 |
| 3. 水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽) | 349 | 279 |
| 4. 非水洗化人口 | 15,088 | 9,555 |
| (1) し尿収集人口 | 14,635 | 9,555 |
| (2) 自家処理人口 | 453 | 0 |
| 5. 計画処理区域外人口 | 0 | 0 |



処理形態別人口の推移

3. 合併処理浄化槽設置に対する補助制度

新上五島町では、合併処理浄化槽の設置に対して補助制度を設けている。以下に補助制度の概要を整理する。

【対象区域】

町内全域を対象区域とする。

【対象浄化槽】

50 人槽以下の合併処理浄化槽であって、浄化槽法第2条第1号に規定する浄化槽であり、生物化学的酸素要求量（以下「BOD」という。）除去率が90%以上かつBODの日間平均値が20mg/l以下の機能を有し、全国合併処理浄化槽普及促進市町村協議会に登録した浄化槽とする。

【補助金額】

| | |
|----------|-----------|
| 5 人槽 | 332,000 円 |
| 6 ～ 7人槽 | 414,000 円 |
| 8 ～ 10人槽 | 548,000 円 |
| 11～50人槽 | 939,000 円 |

4. 施設及びその整備状況の概要

本町における施設別整備計画の概要は下表のとおりである。

施設整備計画の概要

| 施設名 | 計画処理区域 | 計画処理人口 (平成 27 年度) | 整備予定年度 | 事業費見込み |
|-------------|--------|----------------------|-------------|---------------------|
| コミュニティ・プラント | 浦桑地区 | 268 人 | — | 既存施設を利用 |
| 合併処理浄化槽 | 町内全域 | 5,391 人 | 平成 28～37 年度 | 設置費補助 228,270 千円 |
| 下水道 | — | — | — | — |
| 農業集落排水施設 | — | — | — | — |
| 汚泥再生処理センター | 町内全域 | し尿及び 浄化槽汚泥 | — | 既存施設を利用 |
| その他 | — | — | — | — |

第5節 し尿・汚泥の処理計画

1. 排出抑制計画

(1) 生活排水の排出抑制・再資源化に関する目標

本町においても、これまでのような大量生産、大量消費型の社会システムを見直し、持続可能な循環型の社会システムを目指すことが必要になってきており、し尿処理においても、排出抑制を図り、資源として積極的に有効利用を図りつつ、し尿の適正処理を推進していくことが求められている。このため、今後はし尿のみならず浄化槽汚泥、および生ごみ等有機性廃棄物も併せて処理し、汚泥等の再資源化を行う「汚泥再生処理センター」の施設を今後一層有効利用することで、排出抑制、再資源化を推進していくものとする。

(2) 排出抑制の方法

し尿、汚泥等の排出抑制は、様々な要因が複雑に関連しているため、本町の取り組みだけでは解決できない状況にある。

したがって、住民、事業者、行政の役割分担を明確にし、かつ、お互いの連携と協力を図りつつ、排出抑制（減量化）に取り組んでいく必要がある。

このようなことから、本町では三者の取り組みを次のように役割分担する。

①住民

- ◆ 減量化を念頭においた生活習慣を行うよう努める。
- ◆ 水切りネットの使用、合成洗剤の使用抑制、風呂の残り湯の再利用など、家庭でできる生活排水対策を行うよう努める。

②事業者

- ◆ 浄化槽汚泥の高濃度引き抜きに努める。
- ◆ 減量化を念頭においた事業活動を行うように努める。

③行政

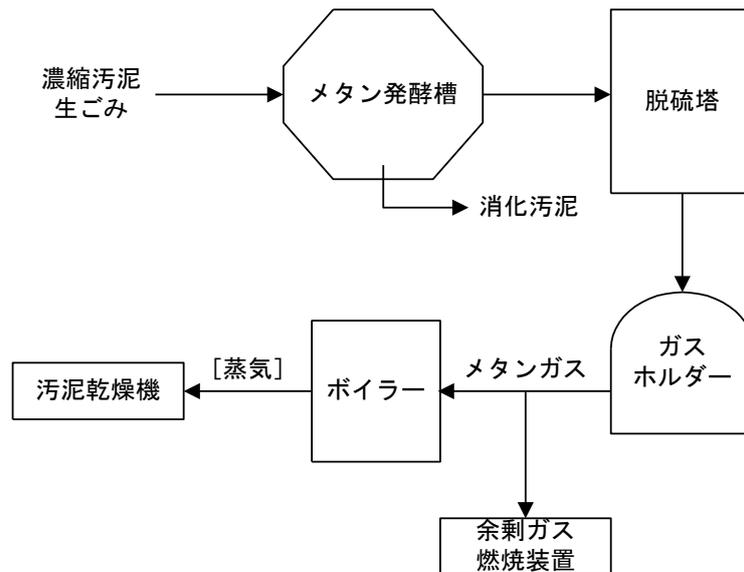
- ◆ 住民、事業者、行政の役割分担を明確にし、排出抑制を含めた減量に関する計画的な施策の推進に努める。
- ◆ 住民、事業者への意識啓発、協力要請に努める。
- ◆ 合併処理浄化槽の普及に努める。

2. 再資源化計画

(1) エネルギー回収、資源化の方法

① エネルギー回収の方法

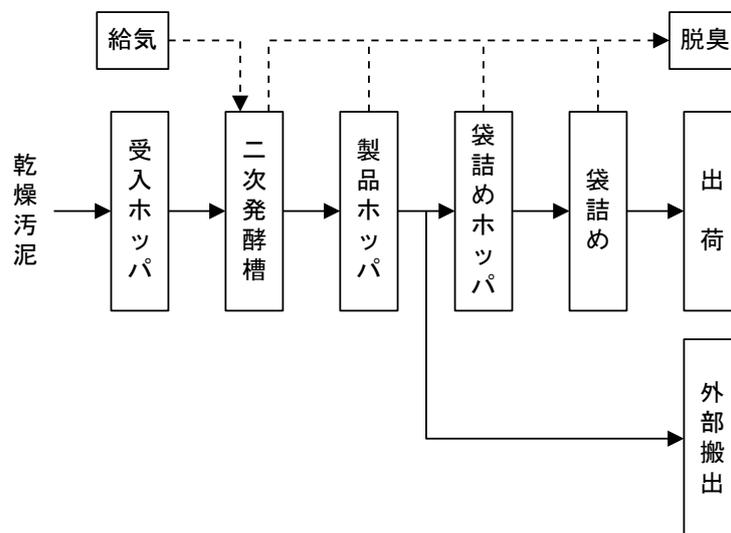
既存の汚泥再生処理センターでは、し尿、汚泥等の液状廃棄物を機械的に濃縮し、その濃縮汚泥に生ごみを混合、調質してメタン発酵槽に投入、発酵させ、その発酵によって発生したメタンガスを回収し、汚泥乾燥用熱源に再利用している。



エネルギー回収方法フロー

② 資源化の方法

前記メタン発酵プロセスで発生した消化（発酵）汚泥を脱水、乾燥、コンポスト化して土壌改良材、緑農地還元材等として有効利用している。



資源化方法のフローシート

(2) 資源化の量

乾燥堆肥化生産量は、過去の実績では搬入量の0.7%程度となっている。よって、乾燥堆肥生産量は施設搬入量の0.7%とすると、生産量は以下のとおりとなる。

乾燥堆肥化生産量の将来推計結果

単位：kg

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 堆肥生産量 | 158,095 | 154,049 | 149,702 | 145,215 | 141,029 |

| 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 | 平成 36 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 堆肥生産量 | 136,934 | 133,021 | 129,591 | 126,217 | 123,326 |

| 年度 | 平成 37 年度 | 平成 38 年度 | 平成 39 年度 | 平成 40 年度 | 平成 41 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 堆肥生産量 | 120,365 | 116,977 | 112,889 | 107,555 | 100,408 |

3. 収集、運搬計画

(1) 収集、運搬計画に関する目標

今後予想されるし尿収集量の減少、浄化槽汚泥収集量の増加、エネルギー回収、再資源化の促進に關与する生ごみ等に対応した適正かつ効率的な収集、運搬を行うため次の施策を推進していくものとする。

安全でかつ衛生的な収集運搬作業を実施するために、作業従事者（許可業者）に対する指導の徹底を図る。

(2) 収集区域の範囲

し尿、浄化槽汚泥収集区域は、新上五島町全域とする。

(3) 収集、運搬の方法及び量

①目標年次における収集、運搬方法は次のとおりとする。

収集運搬の方法

| | 収集形態 | 収集回数 | 運搬形態 |
|----------|-----------|--------|--------|
| し尿 | 計画収集・電話受付 | 年計画・随時 | バキューム車 |
| 浄化槽汚泥 | 計画収集・電話受付 | 随時 | バキューム車 |
| 収集・運搬手数料 | 従量制で徴収 | — | — |
| し尿処理手数料 | 従量制で徴収 | — | — |

②運搬量の見通し

主要年度における区分別運搬量は下表のとおりである。

運搬量の見通し

単位：kℓ/日

| | 平成 30 年度 | 平成 33 年度 | 平成 37 年度 |
|-------|----------|----------|----------|
| し尿 | 45.01 | 40.00 | 34.88 |
| 浄化槽汚泥 | 11.82 | 12.06 | 12.23 |
| 収集量合計 | 56.83 | 52.06 | 47.11 |

(4) 中継施設及びその整備計画の概要

現在、各地区には収集し尿の中継施設があり、住民の利便を図っているが、今後の新たな整備計画はない。ただし、「メタン発酵システム」を促進するための「生ごみ」の収集運搬の伸び具合によっては、新たな中継施設の整備計画が必要となる場合もある。

4. 中間処理計画

(1) 中間処理に関する目標

当面の間、既存の汚泥再生処理センターにおいて、適正処理を行っていく。また、現在施設で行っているメタン発酵や堆肥化についても継続して行い、堆肥については、広く住民に利用して貰えるよう広報等を行う。

災害時はし尿等の適正処理が行えるよう、施設の復旧等を優先して行う。

(2) 処理量の見通し

し尿及び浄化槽汚泥 1 日処理量の見通しは下表のとおりである。

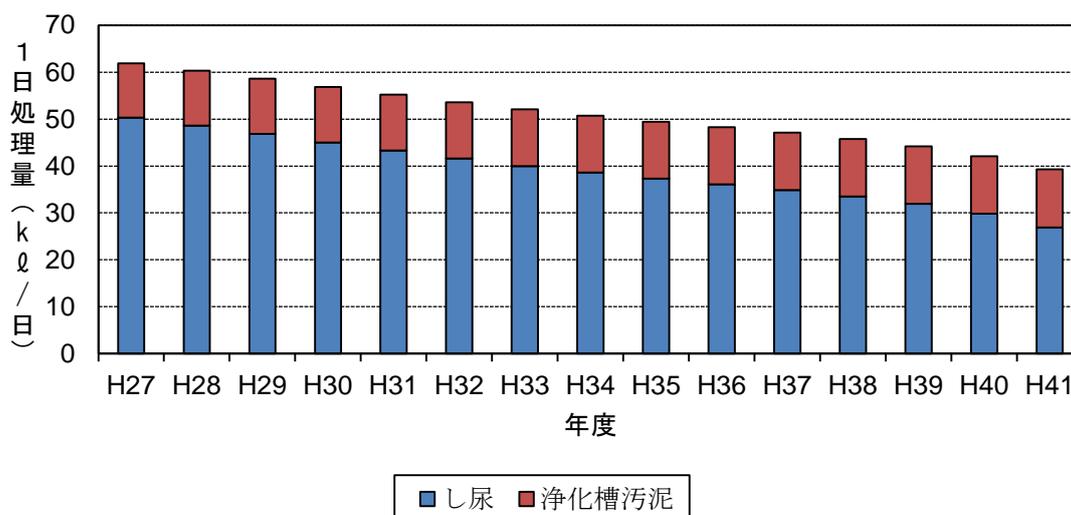
し尿及び浄化槽汚泥 1 日処理量の見通し

単位：kl/日

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| し尿 | 50.29 | 48.63 | 46.82 | 45.01 | 43.27 |
| 浄化槽汚泥 | 11.59 | 11.66 | 11.77 | 11.82 | 11.93 |
| 合計 | 61.88 | 60.29 | 58.59 | 56.83 | 55.20 |

| 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | 平成 35 年度 | 平成 36 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| し尿 | 41.63 | 40.00 | 38.63 | 37.28 | 36.12 |
| 浄化槽汚泥 | 11.97 | 12.06 | 12.09 | 12.12 | 12.15 |
| 合計 | 53.60 | 52.06 | 50.72 | 49.40 | 48.27 |

| 年度 | 平成 37 年度 | 平成 38 年度 | 平成 39 年度 | 平成 40 年度 | 平成 41 年度 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|
| し尿 | 34.88 | 33.53 | 31.91 | 29.80 | 26.92 |
| 浄化槽汚泥 | 12.23 | 12.25 | 12.28 | 12.30 | 12.37 |
| 合計 | 47.11 | 45.78 | 44.19 | 42.10 | 39.29 |



し尿及び浄化槽汚泥 1 日処理量の見通し

5. 最終処分計画

(1) 最終処分に関する目標

し尿、汚泥処理に伴って発生する残渣（対象物は、前処理における脱水し渣、生ごみ破碎選別装置によるメタン発酵不適物）は、ごみ焼却施設により処理するものとする。

(2) 最終処分の方法及び処理量

最終処分の方法は、焼却後埋立処分とし、その「目標年度」における焼却量は次のとおりである。

焼却処理量

| | 形態 | 処理施設発生量 | 備考 |
|-------|---------|------------|--|
| 脱水し渣物 | 含水率 60% | 約 372 t /年 | し渣量は、し尿 8kg-DS/m ³ 、 浄化槽汚泥 3kg-DS/m ³ とした |
| 発酵不適物 | 含水率 83% | 約 10 t /年 | 過去の実績より |
| 合計 | — | 約 382 t /年 | — |

(3) 最終処分の方法及び処理量

新魚目最終処分場においては、平成 28 年 3 月の廃止に向けて、水質検査を実施した。現在は上五島・有川・奈良尾最終処分場を利用している。今後は新規最終処分場の整備を図ることとしている。

本町における施設整備計画スケジュール（案）を以下に示す。

施設整備計画スケジュール

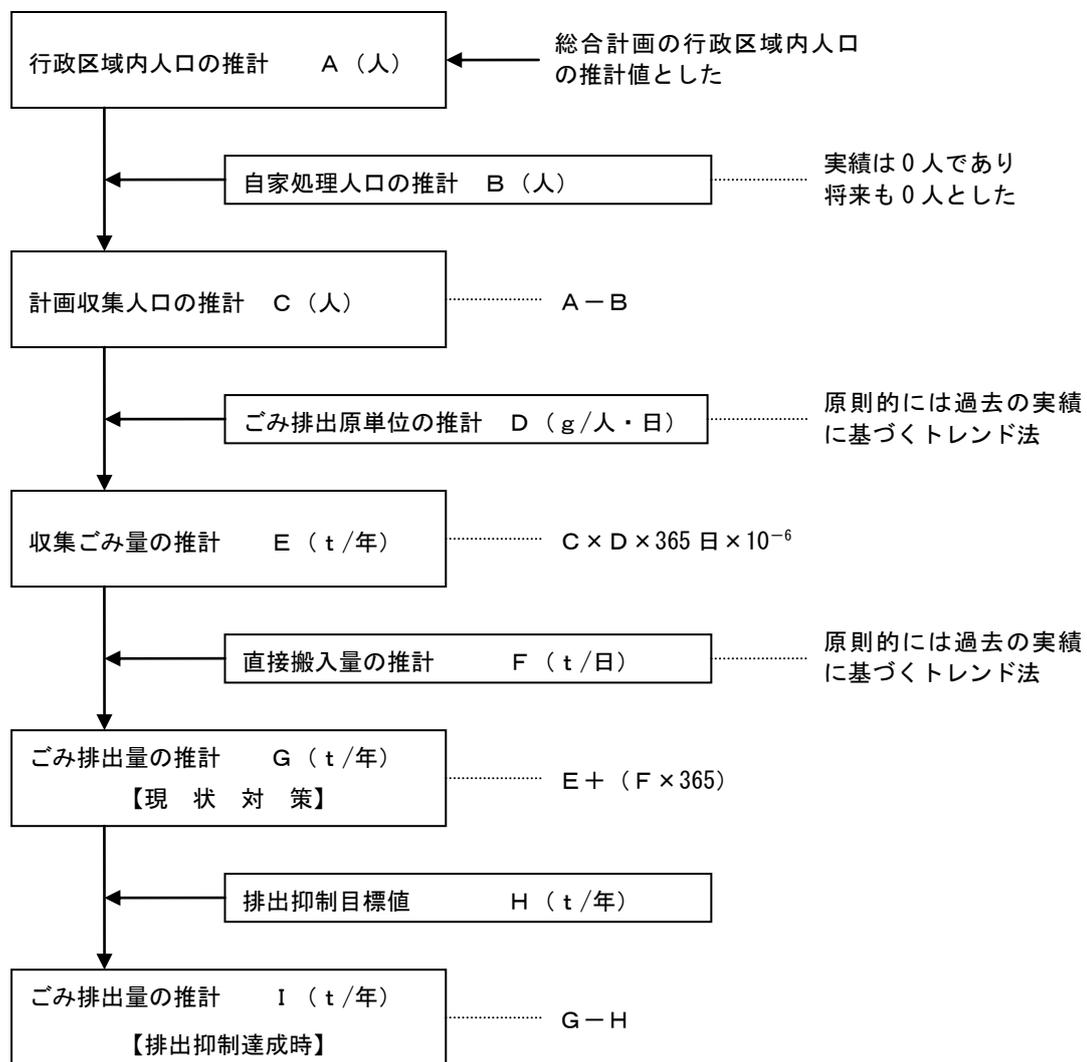
| 区分 \ 年度 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | |
|---------------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|
| 現焼却施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画焼却施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ----- |
| 現リサイクルプラザ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画リサイクルプラザ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ----- |
| 有川最終処分場（管理型） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上五島最終処分場（管理型） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 奈良尾最終処分場（管理型） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画最終処分場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ----- |
| 有川最終処分場（安定型） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現汚泥再生処理センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計画汚泥再生処理センター | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ----- |
| 現浦浜地域し尿処理施設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備 考 | <p> 現施設稼動予定期間 調査・計画・建設期間 計画施設稼動予定期間 </p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

検 討 資 料

人口及びごみ排出量の将来予測

1 ごみ排出量等の将来予測の方法

本町から排出されるごみの将来推計は、「ごみ処理施設構造指針解説」（（社）全国都市清掃会議）に示される方法を参考に、以下に示すごみ排出量予測概念図に基づき行った。なお、ごみ処理内訳の推計については、本町の搬入実績等をもとに設定した。



排出量予測概念図

2 人口及びごみ1人1日平均排出量の推計方法

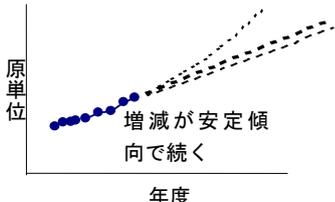
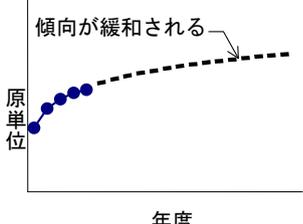
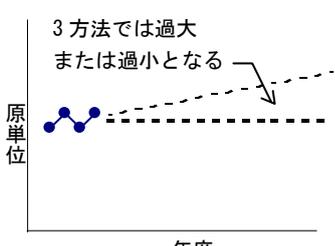
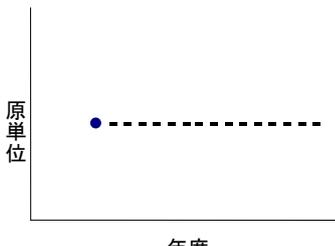
本町におけるごみ排出量の将来推計において、収集ごみは、1人1日平均排出量を原単位（以降、「ごみ排出原単位」とする）とし、これを将来推計し、さらに行政区画内人口及び計画収集人口の将来推計結果を乗じてごみ排出量の予測値とした。

また、直接搬入ごみについては、1日平均排出量を原単位とし、これを将来推計してごみ排出量の予測値とした。

推計方法は、基本的に推計の計算に4つのトレンド法（最小二乗法、等差級数法、等比級数法、対数回帰法）と平均値と指定年から、最適な方法を採用するものとした。

なお、トレンド法によるごみ排出量の推計方法については、「ごみ処理施設構造指針解説（（社）全国都市清掃会議）示される方法を参考に行った。推計方法の考え方は以下に示すとおりである。

推計方法と考え方

| 推計方法 | 考え方 |
|-------------------------|--|
| 最小二乗法 等差級数法 等比級数法 | <p>○ 増加や減少が安定した傾向を示し、推計対象物の性格や他事例から今後もこの傾向が続くと判断できると考えられる場合に採用。</p>  |
| 対数回帰法 | <p>○ 増加や減少傾向が徐々に緩和される傾向を示し、今後もこの傾向が続くと判断できる場合に採用。</p>  |
| 平均 | <p>○ 横ばい傾向を示すが、増減を繰り返しているような傾向を示し、3方法（最小二乗法、等差級数法及び等比級数法）では実績値を反映して推計できないと判断できる場合に採用。</p>  |
| 指定年 | <p>○ 過去の実績値がない、あるいは将来的な推計において参考とならない場合に採用。</p>  |

3 ごみ排出量の実績値

平成22年度～平成26年度までのごみ排出量の実績は以下のとおりである。

ごみ排出量の実績（平成22年度～平成26年度）

| 年 度 | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | |
|-------------|-----------------|--------------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 収集ごみ | 行政区域内人口 | [人] | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 |
| | 計画処理区域内人口 | [人] | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 |
| | 計画収集人口 | [人] | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 |
| | 自家処理人口 | [人] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 直搬ごみ | 可燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 5,946 | 5,910 | 5,805 | 5,710 | 5,571 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 16.29 | 16.19 | 15.90 | 15.64 | 15.26 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 717.0 | 727.6 | 729.2 | 735.0 | 734.5 |
| | 不燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 279 | 264 | 210 | 252 | 205 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.76 | 0.72 | 0.58 | 0.69 | 0.56 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 33.6 | 32.5 | 26.4 | 32.4 | 27.0 |
| | 粗大ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 57 | 49 | 44 | 47 | 36 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.16 | 0.13 | 0.12 | 0.13 | 0.10 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 6.9 | 6.0 | 5.5 | 6.0 | 4.7 |
| | 資源ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 613 | 588 | 589 | 589 | 536 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.68 | 1.61 | 1.61 | 1.61 | 1.47 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 73.9 | 72.4 | 74.0 | 75.8 | 70.7 |
| | 缶・ビン ・ペットボトル | 年間ごみ量 [t/年度] | 394 | 388 | 380 | 375 | 335 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.08 | 1.06 | 1.04 | 1.03 | 0.92 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 47.5 | 47.8 | 47.7 | 48.3 | 44.2 |
| | 段ボール | 年間ごみ量 [t/年度] | 128 | 121 | 125 | 132 | 122 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.35 | 0.33 | 0.34 | 0.36 | 0.33 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 15.4 | 14.9 | 15.7 | 17.0 | 16.1 |
| | 新聞 | 年間ごみ量 [t/年度] | 62 | 50 | 56 | 54 | 53 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.17 | 0.14 | 0.15 | 0.15 | 0.15 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 7.5 | 6.2 | 7.0 | 7.0 | 7.0 |
| | 発泡スチロール ・トレー | 年間ごみ量 [t/年度] | 9 | 9 | 8 | 8 | 7 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 1.1 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 0.9 |
| | 有害ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 2.4 | 2.5 | 2.5 | 2.6 | 2.5 |
| その他 | 年間ごみ量 [t/年度] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 1日ごみ量 [t/日] | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | 原単位 [g/人/日] | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 合計 | 年間ごみ量 [t/年度] | 6,895 | 6,811 | 6,648 | 6,598 | 6,348 | |
| | 1日ごみ量 [t/日] | 18.89 | 18.66 | 18.21 | 18.08 | 17.39 | |
| | 原単位 [g/人/日] | 831.4 | 838.5 | 835.1 | 849.3 | 836.9 | |
| 直搬ごみ | 可燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 640 | 722 | 755 | 832 | 849 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.75 | 1.98 | 2.07 | 2.28 | 2.33 |
| | 不燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,170 | 1,123 | 1,411 | 1,517 | 1,292 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.21 | 3.08 | 3.87 | 4.16 | 3.54 |
| | 粗大ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 485 | 464 | 606 | 680 | 777 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.33 | 1.27 | 1.66 | 1.86 | 2.13 |
| | 資源ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 209 | 240 | 246 | 247 | 219 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.57 | 0.66 | 0.67 | 0.68 | 0.60 |
| | 缶・ビン ・ペットボトル | 年間ごみ量 [t/年度] | 17 | 20 | 18 | 19 | 15 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.04 |
| | 段ボール | 年間ごみ量 [t/年度] | 23 | 35 | 37 | 50 | 36 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.06 | 0.10 | 0.10 | 0.14 | 0.10 |
| | 新聞 | 年間ごみ量 [t/年度] | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.00 |
| | 発泡スチロール ・トレー | 年間ごみ量 [t/年度] | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | 有害ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 |
| | その他 | 年間ごみ量 [t/年度] | 162 | 179 | 186 | 173 | 164 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.44 | 0.49 | 0.51 | 0.47 | 0.45 |
| | 合計 | 年間ごみ量 [t/年度] | 2,504 | 2,549 | 3,018 | 3,276 | 3,137 |
| 1日ごみ量 [t/日] | | 6.86 | 6.98 | 8.27 | 8.98 | 8.59 | |
| 排 出 量 | 年間ごみ量 [t/年度] | 9,399 | 9,360 | 9,666 | 9,874 | 9,485 | |
| | 1日ごみ量 [t/日] | 25.75 | 25.64 | 26.48 | 27.05 | 25.99 | |
| | 原単位 [g/人/日] | 1,133.4 | 1,152.3 | 1,214.3 | 1,270.9 | 1,250.5 | |

4 将来人口の推計

将来人口の推計は、新上五島町総合計画の行政区域内人口の推計結果を用いるものとした。

5 現状排出抑制によるごみ排出量の推計方法

将来におけるごみの排出量は、以上より算出した人口及びごみ排出原単位より収集ごみ、直接搬入ごみ別に以下により算出し、現状の排出抑制施策によるごみ排出量（排出抑制・現状施策）とした。

収集ごみ

$$1 \text{ 日量 (t/日)} = \text{ごみ排出原単位の推計値 (g/人・日)} \times \text{計画収集人口推計値 (人)} \times 10^{-6}$$

$$\text{年間量 (t/年)} = 1 \text{ 日量 (t/日)} \times 365 \text{ (日)}$$

直接搬入ごみ

$$1 \text{ 日量 (t/日)} = \text{原単位の推計値 (t/日)}$$

$$\text{年間量 (t/日)} = 1 \text{ 日量 (t/日)} \times 365 \text{ (日)}$$

6 具体的なごみ排出量の推計

将来推計における実績値の扱い並びに採用した推計式は以下のとおりである。

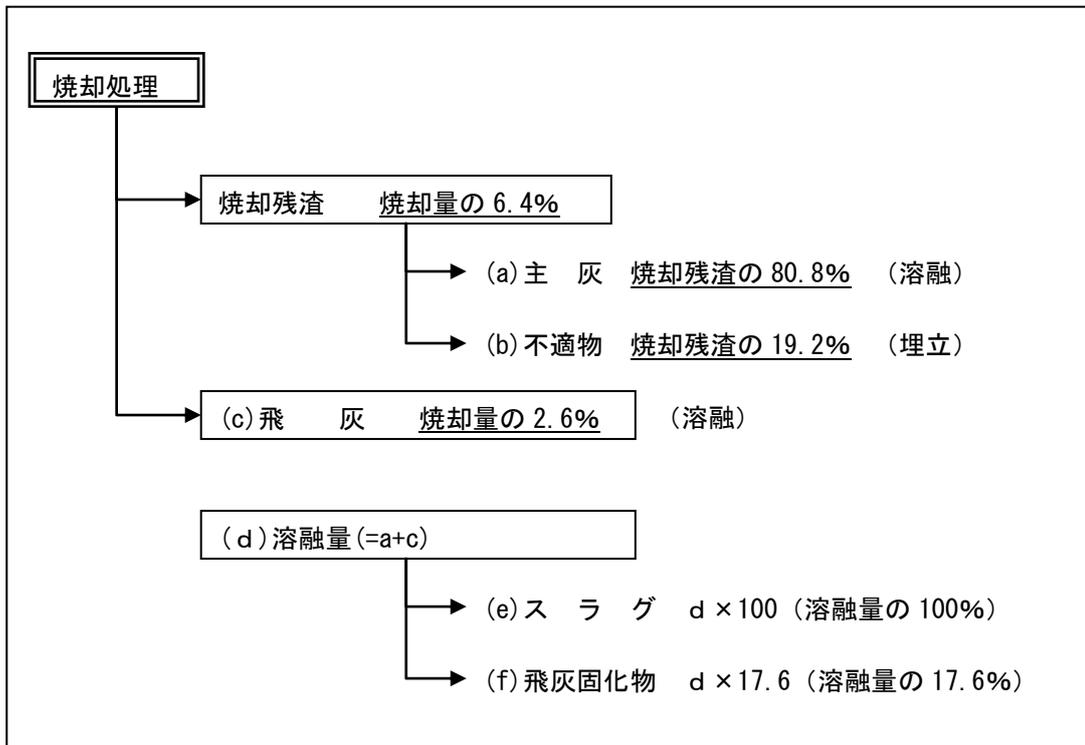
将来推計における実績値の扱い並びに採用した推計式

| | 項目 | 実績値を整理した年数 | 採用した推計式 | 推計式の選択根拠 |
|------------------------|-------------------------------|------------|---------|--|
| 収集 ごみ | 可燃ごみ | 4 | 対数回帰法 | 平成 23 から 25 年度にかけ増加傾向にあり、平成 26 年度は微減となるが、今後は増加傾向は続くと考えられ、緩やかな増加とした。 |
| | 不燃ごみ | 5 | 対数回帰法 | 増減を繰り返しているが、今後は減少傾向となると考えられ、緩やかな減少とした。 |
| | 粗大可燃ごみ | 5 | 対数回帰法 | 平成 22 から平成 26 年度にかけ、一旦増加しているが、減少傾向は続くと考えられ、緩やかな減少とした。 |
| | 資源 (缶・びん・ペットボトル) | 5 | 対数回帰法 | 平成 22 から平成 26 年度にかけほぼ変わらない排出状況ではあるが、今後は減少傾向となると考えられ、緩やかな減少とした。 |
| | 資源 (段ボール) | 1 | 指定年 | 将来、現状から大きな増減はなく安定して推移するものとし、平成 26 年度の実績を用いるものとした。 |
| | 資源 (新聞) | 3 | 指定年 | 将来、現状から大きな増減はなく安定して推移するものとし、平成 24 から平成 26 年度の実績を用いるものとした。 |
| | 資源 (発砲スチロール・トレイ) | 5 | 対数回帰法 | 平成 22 から平成 26 年度にかけ減少傾向にある。急激な減少はないものの、減少傾向は続くと考えられ、緩やかな減少とした。 |
| | 資源 (その他 [有害ごみ]) | 1 | 指定年 | 緩やかな増減を繰り返しており、今後は急激な増減はなく安定して推移するものとし、平成 26 年度の原単位を用いるものとした。 |
| 直接 搬 入 ご み | 可燃ごみ | 5 | 対数回帰法 | 平成 22 から平成 26 年度にかけ増加傾向にある。急激な増加はないものの、増加傾向は続くと考えられ、緩やかな増加とした。 |
| | 粗大可燃ごみ | 4 | 対数回帰法 | 平成 23 から平成 26 年度にかけて増加傾向にある。急激な増加はないものの、増加傾向は続くと考えられ、緩やかな増加とした。 |
| | 直接搬入ごみの合計 (可燃ごみ・粗大可燃ごみを除く) | 5 | 対数回帰法 | 平成 26 年度に微減となったが、平成 22 から平成 25 年度にかけては緩やかな増加傾向であった。急激な増減はないものの、増加傾向が続くと考えられ、緩やかな増加とした。 |
| | 不燃ごみ・資源ごみ (品目ごと) | — | — | 直接搬入ごみの合計 (不燃ごみを除く) の推計値に平成 26 年度の直接搬入ごみの合計 (不燃ごみを除く) の各々の割合を乗じた値で推移するものとした。 |

なお、将来の処理内訳は平成 26 年度の処理内訳の割合より算出した。また、焼却残渣の内訳については施設の処理能力をもとに、以下のように設定を行い算定した。

以上より、ごみ排出量の実績及び将来推計結果 (現状対策) を表 6-1、処理内訳の推計結果 (現状対策) を表 6-2 に示す。

焼却残渣の処理内訳



資料：ごみ焼却施設の実施設計図書より設定

表6-1 ごみ排出量の実績及び将来推計結果 【新上五島町】

| 《 現状対策 》 | | ← 実績 推計 → | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 年 度 | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | | |
| 行政区域内人口 | 〔人〕 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | | |
| | 計画処理区域内人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | | |
| | 計画収集人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | | |
| | 自家処理人口 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 収集ごみ | 可燃ごみ | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 5,946 | 5,910 | 5,805 | 5,710 | 5,571 | 5,436 | 5,293 | 5,146 | 5,000 | 4,859 | 4,726 | 4,603 | 4,491 | 4,389 | 4,293 | 4,199 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 16.29 | 16.19 | 15.90 | 15.64 | 15.26 | 14.89 | 14.50 | 14.10 | 13.70 | 13.31 | 12.95 | 12.61 | 12.30 | 12.02 | 11.76 | 11.50 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 717.0 | 727.6 | 729.2 | 735.0 | 734.5 | 736.2 | 737.3 | 738.1 | 738.9 | 739.6 | 740.2 | 740.7 | 741.2 | 741.7 | 742.1 | 742.5 | |
| | 不燃ごみ | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 279 | 264 | 210 | 252 | 205 | 203 | 194 | 185 | 177 | 170 | 162 | 156 | 151 | 146 | 141 | 137 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.76 | 0.72 | 0.58 | 0.69 | 0.56 | 0.56 | 0.53 | 0.51 | 0.48 | 0.46 | 0.44 | 0.43 | 0.41 | 0.40 | 0.39 | 0.37 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 33.6 | 32.5 | 26.4 | 32.4 | 27.0 | 27.5 | 27.0 | 26.5 | 26.1 | 25.8 | 25.4 | 25.1 | 24.9 | 24.6 | 24.4 | 24.2 | |
| | 粗大ごみ | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 57 | 49 | 44 | 47 | 36 | 36 | 34 | 32 | 30 | 28 | 27 | 25 | 24 | 24 | 23 | 21 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.16 | 0.13 | 0.12 | 0.13 | 0.10 | 0.10 | 0.09 | 0.09 | 0.08 | 0.08 | 0.07 | 0.07 | 0.07 | 0.06 | 0.06 | 0.06 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 6.9 | 6.0 | 5.5 | 6.0 | 4.7 | 4.9 | 4.7 | 4.6 | 4.5 | 4.3 | 4.2 | 4.1 | 4.0 | 4.0 | 3.9 | 3.8 | |
| | 資源ごみ | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 613 | 588 | 589 | 589 | 536 | 536 | 520 | 503 | 488 | 474 | 460 | 447 | 434 | 423 | 413 | 404 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 1.68 | 1.61 | 1.61 | 1.61 | 1.47 | 1.47 | 1.43 | 1.38 | 1.34 | 1.30 | 1.26 | 1.22 | 1.19 | 1.16 | 1.13 | 1.11 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 73.9 | 72.4 | 74.0 | 75.8 | 70.7 | 72.6 | 72.5 | 72.3 | 72.2 | 72.1 | 71.9 | 71.7 | 71.6 | 71.6 | 71.5 | 71.4 | |
| | 缶・ビン・ペットボトル | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 394 | 388 | 380 | 375 | 335 | 340 | 330 | 319 | 309 | 300 | 290 | 282 | 274 | 267 | 261 | 254 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 1.08 | 1.06 | 1.04 | 1.03 | 0.92 | 0.93 | 0.90 | 0.87 | 0.85 | 0.82 | 0.79 | 0.77 | 0.75 | 0.73 | 0.71 | 0.70 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 47.5 | 47.8 | 47.7 | 48.3 | 44.2 | 46.1 | 46.0 | 45.8 | 45.7 | 45.6 | 45.4 | 45.3 | 45.2 | 45.2 | 45.1 | 45.0 | |
| | 段ボール | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 128 | 121 | 125 | 132 | 122 | 119 | 116 | 112 | 109 | 106 | 103 | 100 | 98 | 95 | 93 | 91 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.35 | 0.33 | 0.34 | 0.36 | 0.33 | 0.33 | 0.32 | 0.31 | 0.30 | 0.29 | 0.28 | 0.27 | 0.27 | 0.26 | 0.26 | 0.25 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 15.4 | 14.9 | 15.7 | 17.0 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | |
| | 新聞 | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 62 | 50 | 56 | 54 | 53 | 52 | 50 | 49 | 47 | 46 | 45 | 44 | 42 | 41 | 40 | 40 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.17 | 0.14 | 0.15 | 0.15 | 0.15 | 0.14 | 0.14 | 0.13 | 0.13 | 0.13 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.11 | 0.11 | 0.11 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 7.5 | 6.2 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | |
| | 発泡スチロール・トレー | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 9 | 9 | 8 | 8 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 1.1 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | |
| | 有害ごみ | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 | 18 | 18 | 17 | 17 | 16 | 16 | 16 | 15 | 15 | 14 | 14 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 2.4 | 2.5 | 2.5 | 2.6 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | |
| | その他 | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| | 合計 | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 6,895 | 6,811 | 6,648 | 6,598 | 6,348 | 6,211 | 6,041 | 5,866 | 5,695 | 5,531 | 5,375 | 5,231 | 5,100 | 4,982 | 4,870 | 4,761 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 18.89 | 18.66 | 18.21 | 18.08 | 17.39 | 17.02 | 16.55 | 16.07 | 15.61 | 15.15 | 14.72 | 14.33 | 13.97 | 13.65 | 13.34 | 13.04 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 831.4 | 838.5 | 835.1 | 849.3 | 836.9 | 841.2 | 841.5 | 841.5 | 841.7 | 841.7 | 841.7 | 841.6 | 841.7 | 841.9 | 841.9 | 841.9 | |
| | 直搬ごみ | 可燃ごみ | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 640 | 722 | 755 | 832 | 849 | 872 | 891 | 909 | 923 | 938 | 953 | 964 | 975 | 986 | 993 | 1,000 |
| | | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 1.75 | 1.98 | 2.07 | 2.28 | 2.33 | 2.39 | 2.44 | 2.49 | 2.53 | 2.57 | 2.61 | 2.64 | 2.67 | 2.70 | 2.72 | 2.74 |
| | | | 原単位〔g/人/日〕 | 1,170 | 1,123 | 1,411 | 1,517 | 1,292 | 1,438 | 1,464 | 1,482 | 1,500 | 1,518 | 1,533 | 1,548 | 1,559 | 1,573 | 1,580 | 1,591 |
| 不燃ごみ | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 3.21 | 3.08 | 3.87 | 4.16 | 3.54 | 3.94 | 4.01 | 4.06 | 4.11 | 4.16 | 4.20 | 4.24 | 4.27 | 4.31 | 4.33 | 4.36 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 485 | 464 | 606 | 680 | 777 | 810 | 850 | 883 | 913 | 938 | 960 | 982 | 1,000 | 1,018 | 1,033 | 1,051 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 1.33 | 1.27 | 1.66 | 1.86 | 2.13 | 2.22 | 2.33 | 2.42 | 2.50 | 2.57 | 2.63 | 2.69 | 2.74 | 2.79 | 2.83 | 2.88 | |
| 資源ごみ | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 209 | 240 | 246 | 247 | 219 | 250 | 253 | 260 | 264 | 264 | 267 | 267 | 271 | 271 | 275 | 275 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.57 | 0.66 | 0.67 | 0.68 | 0.60 | 0.68 | 0.69 | 0.71 | 0.72 | 0.72 | 0.73 | 0.73 | 0.74 | 0.74 | 0.75 | 0.75 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 17 | 20 | 18 | 19 | 15 | 15 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | |
| 缶・ビン・ペットボトル | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.04 | 0.04 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 23 | 35 | 37 | 50 | 36 | 40 | 40 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 0.06 | 0.10 | 0.10 | 0.14 | 0.10 | 0.11 | 0.11 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | |
| 新聞 | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 発泡スチロール・トレー | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | |
| 有害ごみ | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 162 | 179 | 186 | 173 | 164 | 183 | 183 | 186 | 190 | 190 | 193 | 193 | 197 | 197 | 201 | 201 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 0.44 | 0.49 | 0.51 | 0.47 | 0.45 | 0.50 | 0.50 | 0.51 | 0.52 | 0.52 | 0.53 | 0.53 | 0.54 | 0.54 | 0.55 | 0.55 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 2,504 | 2,549 | 3,018 | 3,276 | 3,137 | 3,370 | 3,458 | 3,534 | 3,600 | 3,658 | 3,713 | 3,761 | 3,805 | 3,848 | 3,881 | 3,917 | |
| 合計 | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 6.86 | 6.98 | 8.27 | 8.98 | 8.59 | 9.23 | 9.47 | 9.68 | 9.86 | 10.02 | 10.17 | 10.30 | 10.42 | 10.54 | 10.63 | 10.73 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | 9,399 | 9,360 | 9,666 | 9,874 | 9,485 | 9,581 | 9,499 | 9,400 | 9,295 | 9,189 | 9,088 | 8,992 | 8,905 | 8,830 | 8,751 | 8,678 | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | 25.75 | 25.64 | 26.48 | 27.05 | 25.99 | 26.25 | 26.02 | 25.75 | 25.47 | 25.17 | 24.89 | 24.63 | 24.39 | 24.19 | 23.97 | 23.77 | |
| 排 出 量 | | 年間ごみ量〔t/年度〕 | 1,133.4 | 1,152.3 | 1,214.3 | 1,270.9 | 1,250.5 | 1,297.6 | 1,323.3 | 1,348.3 | 1,373.6 | 1,398.6 | 1,423.3 | 1,446.9 | 1,469.8 | 1,492.3 | 1,512.7 | 1,534.6 | |
| | | 1日ごみ量〔t/日〕 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 原単位〔g/人/日〕 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

表 6-2 処理内訳の推計結果 【新上五島町】

| 《 現状対策 》 | | | 年 度 | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | | |
| ごみ内訳 | 可燃ごみ | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 6,308 | 6,184 | 6,055 | 5,923 | 5,797 | 5,679 | 5,567 | 5,466 | 5,375 | 5,286 | 5,199 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 17.28 | 16.94 | 16.59 | 16.23 | 15.88 | 15.56 | 15.25 | 14.98 | 14.73 | 14.48 | 14.24 | |
| | 不燃ごみ | - | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,641 | 1,658 | 1,667 | 1,677 | 1,688 | 1,695 | 1,704 | 1,710 | 1,719 | 1,721 | 1,728 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 4.49 | 4.54 | 4.57 | 4.59 | 4.62 | 4.64 | 4.67 | 4.69 | 4.71 | 4.71 | 4.73 | |
| | 埋立処分 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,311 | 1,332 | 1,350 | 1,365 | 1,380 | 1,392 | 1,405 | 1,415 | 1,425 | 1,435 | 1,443 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.59 | 3.65 | 3.70 | 3.74 | 3.78 | 3.81 | 3.85 | 3.88 | 3.90 | 3.93 | 3.95 | |
| | 資源ごみ処理施設 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 330 | 326 | 317 | 312 | 308 | 303 | 299 | 295 | 294 | 286 | 285 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.90 | 0.89 | 0.87 | 0.85 | 0.84 | 0.83 | 0.82 | 0.81 | 0.81 | 0.78 | 0.78 | |
| | 粗大可燃ごみ | - | 年間ごみ量 [t/年度] | 846 | 884 | 915 | 943 | 966 | 987 | 1,007 | 1,024 | 1,042 | 1,056 | 1,072 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 2.32 | 2.42 | 2.50 | 2.59 | 2.65 | 2.70 | 2.76 | 2.81 | 2.86 | 2.89 | 2.93 | |
| | 粗大ごみ処理施設 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 617 | 643 | 665 | 685 | 703 | 719 | 733 | 747 | 759 | 771 | 782 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.69 | 1.76 | 1.82 | 1.88 | 1.93 | 1.97 | 2.01 | 2.05 | 2.08 | 2.11 | 2.14 | |
| | 資源ごみ処理施設 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 229 | 241 | 250 | 258 | 263 | 268 | 274 | 277 | 283 | 285 | 290 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.63 | 0.66 | 0.68 | 0.71 | 0.72 | 0.73 | 0.75 | 0.76 | 0.78 | 0.78 | 0.79 | |
| 資源ごみ | - | 年間ごみ量 [t/年度] | 786 | 773 | 763 | 752 | 738 | 727 | 714 | 705 | 694 | 688 | 679 | | |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 2.15 | 2.12 | 2.09 | 2.06 | 2.02 | 1.99 | 1.96 | 1.93 | 1.90 | 1.88 | 1.86 | | |
| 中間処理内訳 | 焼却処理量計 | - | 年間ごみ量 [t/年度] | 7,354 | 7,261 | 7,156 | 7,048 | 6,940 | 6,841 | 6,743 | 6,656 | 6,580 | 6,503 | 6,429 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 20.15 | 19.89 | 19.61 | 19.31 | 19.01 | 18.74 | 18.47 | 18.24 | 18.03 | 17.81 | 17.61 | |
| | | | 年間ごみ量 [t/年度] | 6,308 | 6,184 | 6,055 | 5,923 | 5,797 | 5,679 | 5,567 | 5,466 | 5,375 | 5,286 | 5,199 | |
| | 直接焼却量 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 6,308 | 6,184 | 6,055 | 5,923 | 5,797 | 5,679 | 5,567 | 5,466 | 5,375 | 5,286 | 5,199 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 17.28 | 16.94 | 16.59 | 16.23 | 15.88 | 15.56 | 15.25 | 14.98 | 14.73 | 14.48 | 14.24 | |
| | 中間処理施設からの可燃物 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,046 | 1,077 | 1,101 | 1,125 | 1,143 | 1,162 | 1,176 | 1,190 | 1,205 | 1,217 | 1,230 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 2.87 | 2.95 | 3.02 | 3.08 | 3.13 | 3.18 | 3.22 | 3.26 | 3.30 | 3.33 | 3.37 | |
| | 資源ごみ処理施設 | - | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,345 | 1,340 | 1,330 | 1,322 | 1,309 | 1,298 | 1,287 | 1,277 | 1,271 | 1,259 | 1,254 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.70 | 3.01 | 2.96 | 2.91 | 2.86 | 2.82 | 2.78 | 2.74 | 2.71 | 2.66 | 2.64 | |
| | | | 年間ごみ量 [t/年度] | 429 | 434 | 436 | 440 | 440 | 443 | 443 | 443 | 443 | 446 | 446 | |
| | 焼却処理 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 429 | 434 | 436 | 440 | 440 | 443 | 443 | 443 | 443 | 446 | 446 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.18 | 1.19 | 1.19 | 1.21 | 1.21 | 1.21 | 1.21 | 1.21 | 1.21 | 1.22 | 1.23 | |
| | 埋立処理 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 199 | 201 | 203 | 205 | 205 | 206 | 205 | 206 | 207 | 207 | 208 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.55 | 0.55 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.57 | 0.57 | |
| | 資源化 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 717 | 705 | 691 | 677 | 664 | 649 | 639 | 628 | 618 | 606 | 598 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.97 | 1.94 | 1.89 | 1.86 | 1.82 | 1.79 | 1.76 | 1.73 | 1.69 | 1.67 | 1.64 | |
| | 缶 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 102 | 100 | 97 | 94 | 91 | 88 | 86 | 84 | 82 | 80 | 78 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.28 | 0.27 | 0.27 | 0.26 | 0.25 | 0.24 | 0.24 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.21 | |
| | びん | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 146 | 144 | 139 | 135 | 131 | 127 | 124 | 121 | 118 | 115 | 112 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.40 | 0.39 | 0.38 | 0.37 | 0.36 | 0.35 | 0.34 | 0.33 | 0.32 | 0.32 | 0.31 | |
| | ペットボトル | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 58 | 57 | 55 | 53 | 52 | 50 | 49 | 48 | 47 | 46 | 44 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.16 | 0.16 | 0.15 | 0.15 | 0.14 | 0.14 | 0.13 | 0.13 | 0.13 | 0.13 | 0.12 | |
| | 金属類(破砕) | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 139 | 137 | 133 | 131 | 130 | 127 | 126 | 124 | 124 | 120 | 120 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.38 | 0.38 | 0.36 | 0.36 | 0.36 | 0.35 | 0.35 | 0.34 | 0.34 | 0.33 | 0.33 | |
| | 発泡スチロール・トレー | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | |
| | 段ボール | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 141 | 138 | 138 | 136 | 133 | 130 | 128 | 126 | 123 | 121 | 120 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.39 | 0.38 | 0.38 | 0.37 | 0.36 | 0.36 | 0.35 | 0.35 | 0.34 | 0.33 | 0.33 | |
| | 新聞紙 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 47 | 46 | 45 | 43 | 42 | 41 | 41 | 39 | 38 | 37 | 37 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.13 | 0.13 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.11 | 0.11 | 0.11 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | |
| | その他(有害ごみ等) | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 76 | 76 | 77 | 78 | 78 | 79 | 79 | 80 | 80 | 81 | 81 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.21 | 0.21 | 0.21 | 0.21 | 0.21 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | |
| | 資源化の合計 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 717 | 705 | 691 | 677 | 664 | 649 | 639 | 628 | 618 | 606 | 598 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.97 | 1.94 | 1.89 | 1.86 | 1.82 | 1.79 | 1.76 | 1.73 | 1.69 | 1.67 | 1.64 | |
| 粗大ごみ処理施設 | 破砕 | 年間ごみ量 [t/年度] | 617 | 643 | 665 | 685 | 703 | 719 | 733 | 747 | 759 | 771 | 782 | | |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.69 | 1.76 | 1.82 | 1.88 | 1.93 | 1.97 | 2.01 | 2.05 | 2.08 | 2.11 | 2.14 | | |
| 最終処分内訳 | 焼却処理後の残渣 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 661 | 653 | 644 | 634 | 624 | 616 | 607 | 599 | 592 | 585 | 578 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.81 | 1.79 | 1.76 | 1.74 | 1.70 | 1.69 | 1.67 | 1.63 | 1.62 | 1.60 | 1.59 | |
| | 焼却灰 | - | 年間ごみ量 [t/年度] | 470 | 464 | 458 | 451 | 444 | 438 | 432 | 426 | 421 | 416 | 411 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.29 | 1.27 | 1.25 | 1.24 | 1.21 | 1.20 | 1.19 | 1.16 | 1.15 | 1.14 | 1.13 | |
| | 主灰 | 熔融 | 年間ごみ量 [t/年度] | 380 | 375 | 370 | 364 | 359 | 354 | 349 | 344 | 340 | 336 | 332 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.04 | 1.03 | 1.01 | 1.00 | 0.98 | 0.97 | 0.96 | 0.94 | 0.93 | 0.92 | 0.91 | |
| | 熔融不適物 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 90 | 89 | 88 | 87 | 85 | 84 | 83 | 82 | 81 | 80 | 79 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.25 | 0.24 | 0.24 | 0.24 | 0.23 | 0.23 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | |
| | 飛灰 | 熔融 | 年間ごみ量 [t/年度] | 191 | 189 | 186 | 183 | 180 | 178 | 175 | 173 | 171 | 169 | 167 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.52 | 0.52 | 0.51 | 0.50 | 0.49 | 0.49 | 0.48 | 0.47 | 0.47 | 0.46 | 0.46 | |
| | 埋立処分計 | - | 年間ごみ量 [t/年度] | 2,271 | 2,285 | 2,295 | 2,300 | 2,304 | 2,308 | 2,309 | 2,311 | 2,314 | 2,316 | 2,317 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 6.22 | 6.26 | 6.29 | 6.30 | 6.31 | 6.32 | 6.33 | 6.33 | 6.34 | 6.34 | 6.35 | |
| | 直接埋立 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,311 | 1,332 | 1,350 | 1,365 | 1,380 | 1,392 | 1,405 | 1,415 | 1,425 | 1,435 | 1,443 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.59 | 3.65 | 3.70 | 3.74 | 3.78 | 3.81 | 3.85 | 3.88 | 3.90 | 3.93 | 3.95 | |
| | 資源ごみ処理からの処理残渣 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 199 | 201 | 203 | 205 | 205 | 206 | 205 | 206 | 207 | 207 | 208 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.55 | 0.55 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.56 | 0.57 | 0.57 | 0.57 | |
| | 焼却処理施設からの処理残渣 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 761 | 752 | 742 | 730 | 719 | 710 | 699 | 690 | 682 | 674 | 666 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 2.08 | 2.06 | 2.03 | 2.00 | 1.97 | 1.95 | 1.92 | 1.89 | 1.87 | 1.84 | 1.83 | |
| | 熔融スラグ | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 571 | 564 | 556 | 547 | 539 | 532 | 524 | 517 | 511 | 505 | 499 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.56 | 1.55 | 1.52 | 1.50 | 1.48 | 1.46 | 1.44 | 1.42 | 1.40 | 1.38 | 1.37 | |
| | 飛灰溶融固化物 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 100 | 99 | 98 | 96 | 95 | 94 | 92 | 91 | 90 | 89 | 88 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.27 | 0.27 | 0.27 | 0.26 | 0.26 | 0.26 | 0.25 | 0.25 | 0.25 | 0.24 | 0.24 | |
| | 熔融不適物 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 90 | 89 | 88 | 87 | 85 | 84 | 83 | 82 | 81 | 80 | 79 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.25 | 0.24 | 0.24 | 0.24 | 0.23 | 0.23 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | |
| | 排出量 | | | 9,581 | 9,499 | 9,400 | 9,295 | 9,189 | 9,088 | 8,992 | 8,905 | 8,830 | 8,751 | 8,678 | |
| | 資源化量 | | | 717 | 705 | 691 | 677 | 664 | 649 | 639 | 628 | 618 | 606 | 598 | |
| | 埋立量 | | | 2,271 | 2,285 | 2,295 | 2,300 | 2,304 | 2,308 | 2,309 | 2,311 | 2,314 | 2,316 | 2,317 | |
| | リサイクル率 | | | 7.8% | 7.4% | 7.8% | 7.9% | 7.9% | 7.9% | 7.9% | 7.9% | 8.0% | 8.0% | 8.0% | |
| | 最終処分率 | | | 23.6% | 23.9% | 24.2% | 24.5% | 24.8% | 25.1% | 25.6% | 25.6% | 25.8% | 26.1% | 26.3% | |

7 減量化・再資源化目標の設定

本町においては、現状のまま推移し続けると、1人1日あたりの排出量が10年後の平成37年度には平成26年度の1.18倍のになると推計された。ごみの排出量を可能な限り抑制し、地球環境負荷を軽減させていくことが今後のごみ行政の役割であることから、増加し続けるごみの排出量に対し、一定の排出抑制量を設定し、これを行政目標として施策推進を図っていくことが必要である。

平成37年度における減量目標を以下のとおり設定する。

- ◆ 《 排出量 》を1人1日あたり平成26年度に比べ「5% 約63g」減量する。
- ◆ 《 リサイクル率 》を排出量の「約9%」に増加させる。
- ◆ 《 最終処分量 》を、平成26年度に比べ「約10%」削減する。

※ 排出量＝「収集量」＋「直接搬入量」＋「住民回収量」
リサイクル率＝「町の資源化量」＋「住民回収量」／「町の処理量」＋「集団回収量」
最終処分量＝「直接最終処分量」＋「処理後最終処分量」

8 本町の排出抑制目標を達成した場合のごみ排出量の推計

ごみ排出量の推計で求められた推計値から、排出抑制目標値{排出量を1人1日あたり平成26年度に比べ5%減量〔平成37年度のごみ排出量（資源ごみを除く）の29%減量〕を達成した場合のごみ排出量を推計した。排出抑制目標を達成した場合のごみ排出量算出方法は以下のとおりである。

排出抑制目標を達成した場合のごみ排出量算出方法

$$\text{収集ごみ} : \text{ごみの排出原単位} \times (1 - \text{排出抑制目標値})$$

なお、将来の処理内訳は平成26年度の処理内訳の割合より算出した。

以上より、ごみ排出量の実績及び将来推計結果（排出抑制達成時）を表8-1、処理内訳の推計結果（排出抑制達成時）を表8-2に示す。

表 8-1 ごみ排出量の実績及び将来推計結果 【新上五島町】

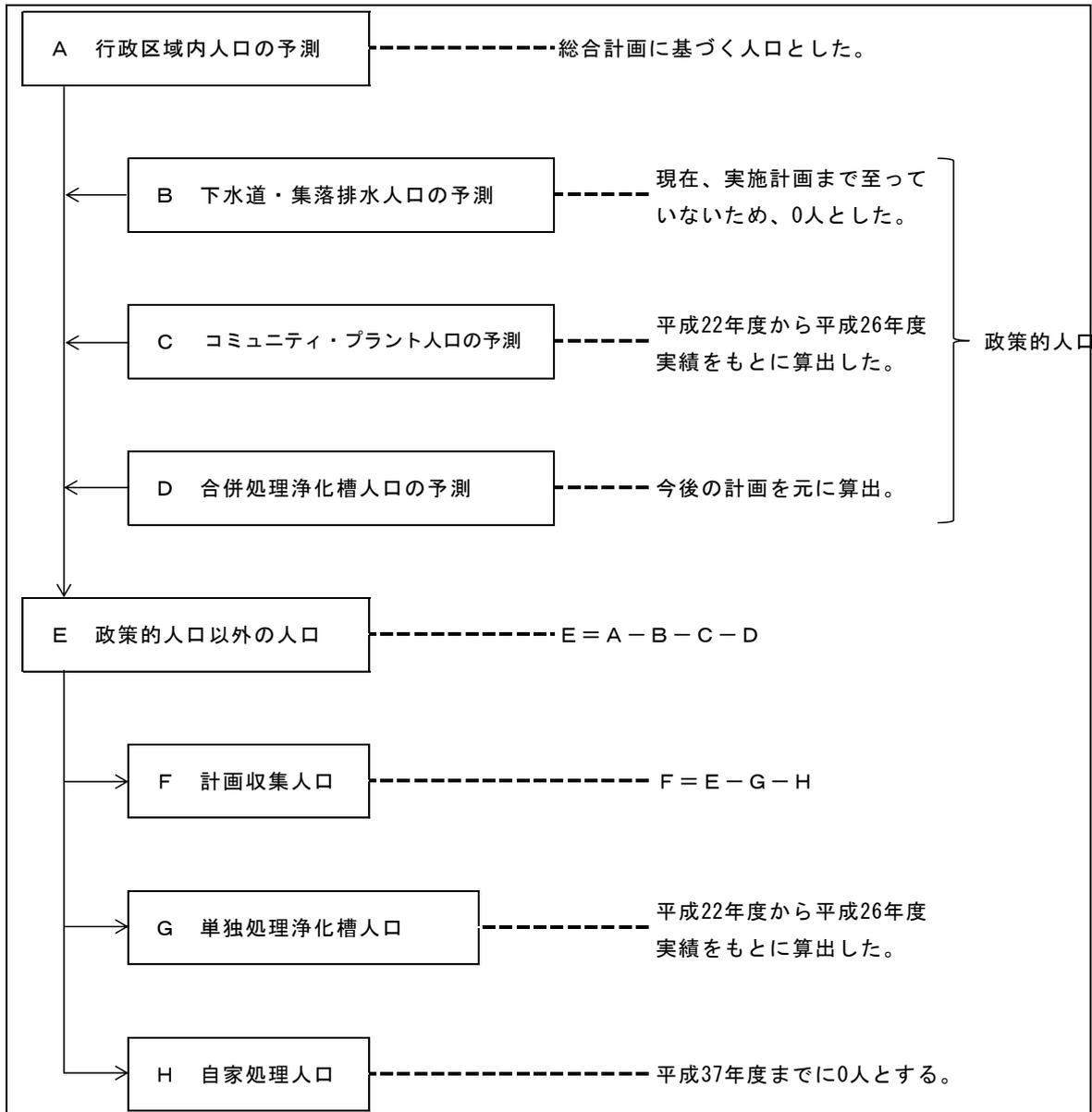
| 《 追加対策 》 | | ← 実績 推計 → | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|--------------|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 年 度 | | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | |
| 行政区域内人口 | [人] | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | |
| | 計画処理区域内人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | |
| | 計画収集人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | |
| | 自家処理人口 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 収集ごみ | 可燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 5,946 | 5,910 | 5,805 | 5,710 | 5,571 | 5,595 | 5,410 | 5,234 | 5,052 | 4,880 | 4,723 | 4,573 | 4,434 | 4,310 | 4,194 | 4,077 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 16.29 | 16.19 | 15.90 | 15.64 | 15.26 | 15.33 | 14.82 | 14.34 | 13.84 | 13.37 | 12.94 | 12.53 | 12.15 | 11.81 | 11.49 | 11.17 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 717.0 | 727.6 | 729.2 | 735.0 | 734.5 | 757.8 | 753.5 | 750.8 | 746.5 | 742.7 | 739.7 | 735.9 | 732.0 | 728.5 | 725.0 | 721.0 |
| | 不燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 279 | 264 | 210 | 252 | 205 | 234 | 227 | 219 | 212 | 205 | 197 | 190 | 186 | 179 | 176 | 172 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.76 | 0.72 | 0.58 | 0.69 | 0.56 | 0.64 | 0.62 | 0.60 | 0.58 | 0.56 | 0.52 | 0.52 | 0.51 | 0.49 | 0.48 | 0.47 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 33.6 | 32.5 | 26.4 | 32.4 | 27.0 | 31.6 | 31.5 | 31.4 | 31.3 | 31.1 | 30.0 | 30.5 | 30.7 | 30.2 | 30.3 | 30.3 |
| | 粗大ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 57 | 49 | 44 | 47 | 36 | 44 | 45 | 40 | 40 | 40 | 36 | 36 | 36 | 36 | 33 | 33 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.16 | 0.13 | 0.12 | 0.13 | 0.10 | 0.12 | 0.12 | 0.11 | 0.11 | 0.11 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | 0.09 | 0.09 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 6.9 | 6.0 | 5.5 | 6.0 | 4.7 | 5.9 | 6.1 | 5.8 | 5.9 | 6.1 | 5.7 | 5.9 | 6.0 | 6.2 | 5.7 | 5.8 |
| | 資源ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 613 | 588 | 589 | 589 | 536 | 536 | 520 | 503 | 488 | 474 | 460 | 447 | 434 | 423 | 413 | 404 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.68 | 1.61 | 1.61 | 1.61 | 1.47 | 1.47 | 1.43 | 1.38 | 1.34 | 1.30 | 1.26 | 1.22 | 1.19 | 1.16 | 1.13 | 1.11 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 73.9 | 72.4 | 74.0 | 75.8 | 70.7 | 72.6 | 72.5 | 72.3 | 72.2 | 72.1 | 71.9 | 71.7 | 71.6 | 71.6 | 71.5 | 71.4 |
| | 缶・ビン・ペットボトル | 年間ごみ量 [t/年度] | 394 | 388 | 380 | 375 | 335 | 340 | 330 | 319 | 309 | 300 | 290 | 282 | 274 | 267 | 261 | 254 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.08 | 1.06 | 1.04 | 1.03 | 0.92 | 0.93 | 0.90 | 0.87 | 0.85 | 0.82 | 0.79 | 0.77 | 0.75 | 0.73 | 0.71 | 0.70 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 47.5 | 47.8 | 47.7 | 48.3 | 44.2 | 46.1 | 46.0 | 45.8 | 45.7 | 45.6 | 45.4 | 45.3 | 45.2 | 45.2 | 45.1 | 45.0 |
| | 段ボール | 年間ごみ量 [t/年度] | 128 | 121 | 125 | 132 | 122 | 119 | 116 | 112 | 109 | 106 | 103 | 100 | 98 | 95 | 93 | 91 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.35 | 0.33 | 0.34 | 0.36 | 0.33 | 0.33 | 0.32 | 0.31 | 0.30 | 0.29 | 0.28 | 0.27 | 0.27 | 0.26 | 0.26 | 0.25 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 15.4 | 14.9 | 15.7 | 17.0 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 | 16.1 |
| | 新聞 | 年間ごみ量 [t/年度] | 62 | 50 | 56 | 54 | 53 | 52 | 50 | 49 | 47 | 46 | 45 | 44 | 42 | 41 | 40 | 40 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.17 | 0.14 | 0.15 | 0.15 | 0.15 | 0.14 | 0.14 | 0.13 | 0.13 | 0.13 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.11 | 0.11 | 0.11 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 7.5 | 6.2 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 | 7.0 |
| | 発泡スチロール・トレー | 年間ごみ量 [t/年度] | 9 | 9 | 8 | 8 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 1.1 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.9 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 | 0.8 |
| | 有害ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 20 | 20 | 20 | 20 | 19 | 18 | 18 | 17 | 17 | 16 | 16 | 16 | 15 | 15 | 14 | 14 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 | 0.04 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 2.4 | 2.5 | 2.5 | 2.6 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 | 2.5 |
| | その他 | 年間ごみ量 [t/年度] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1日ごみ量 [t/日] | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | |
| 原単位 [g/人/日] | | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 合計 | 年間ごみ量 [t/年度] | 6,895 | 6,811 | 6,648 | 6,598 | 6,348 | 6,409 | 6,202 | 5,996 | 5,792 | 5,599 | 5,416 | 5,246 | 5,090 | 4,948 | 4,816 | 4,686 | |
| | 1日ごみ量 [t/日] | 18.89 | 18.66 | 18.21 | 18.08 | 17.39 | 17.56 | 16.99 | 16.43 | 15.87 | 15.34 | 14.82 | 14.37 | 13.95 | 13.56 | 13.19 | 12.84 | |
| | 原単位 [g/人/日] | 831.4 | 838.5 | 835.1 | 849.3 | 836.9 | 867.9 | 863.6 | 860.3 | 855.9 | 852.0 | 847.3 | 844.0 | 840.3 | 836.5 | 832.5 | 828.5 | |
| 直搬ごみ | 可燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 640 | 722 | 755 | 832 | 849 | 722 | 696 | 671 | 646 | 620 | 595 | 573 | 555 | 537 | 517 | 504 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.75 | 1.98 | 2.07 | 2.28 | 2.33 | 1.98 | 1.91 | 1.84 | 1.77 | 1.70 | 1.63 | 1.57 | 1.52 | 1.47 | 1.42 | 1.38 |
| | 不燃ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,170 | 1,123 | 1,411 | 1,517 | 1,292 | 1,241 | 1,197 | 1,146 | 1,102 | 1,062 | 1,022 | 985 | 949 | 920 | 890 | 861 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.21 | 3.08 | 3.87 | 4.16 | 3.54 | 3.40 | 3.28 | 3.14 | 3.02 | 2.91 | 2.80 | 2.70 | 2.60 | 2.52 | 2.44 | 2.36 |
| | 粗大ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 485 | 464 | 606 | 680 | 777 | 569 | 547 | 526 | 503 | 485 | 467 | 452 | 435 | 420 | 408 | 394 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.33 | 1.27 | 1.66 | 1.86 | 2.13 | 1.56 | 1.50 | 1.44 | 1.38 | 1.33 | 1.28 | 1.24 | 1.19 | 1.15 | 1.12 | 1.08 |
| | 資源ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 209 | 240 | 246 | 247 | 219 | 250 | 253 | 260 | 264 | 264 | 267 | 267 | 271 | 271 | 275 | 275 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.57 | 0.66 | 0.67 | 0.68 | 0.60 | 0.68 | 0.69 | 0.71 | 0.72 | 0.72 | 0.73 | 0.73 | 0.74 | 0.74 | 0.75 | 0.75 |
| | 缶・ビン・ペットボトル | 年間ごみ量 [t/年度] | 17 | 20 | 18 | 19 | 15 | 15 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.04 | 0.04 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 | 0.05 |
| | 段ボール | 年間ごみ量 [t/年度] | 23 | 35 | 37 | 50 | 36 | 40 | 40 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 | 44 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.06 | 0.10 | 0.10 | 0.14 | 0.10 | 0.11 | 0.11 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.12 |
| | 新聞 | 年間ごみ量 [t/年度] | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | 発泡スチロール・トレー | 年間ごみ量 [t/年度] | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | 有害ごみ | 年間ごみ量 [t/年度] | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | その他 | 年間ごみ量 [t/年度] | 162 | 179 | 186 | 173 | 164 | 183 | 183 | 186 | 190 | 190 | 193 | 193 | 197 | 197 | 201 | 201 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.44 | 0.49 | 0.51 | 0.47 | 0.45 | 0.50 | 0.50 | 0.51 | 0.52 | 0.52 | 0.53 | 0.53 | 0.54 | 0.54 | 0.55 | 0.55 |
| | 合計 | 年間ごみ量 [t/年度] | 2,504 | 2,549 | 3,018 | 3,276 | 3,137 | 2,782 | 2,693 | 2,603 | 2,515 | 2,431 | 2,351 | 2,277 | 2,210 | 2,148 | 2,090 | 2,034 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 6.86 | 6.98 | 8.27 | 8.98 | 8.59 | 7.62 | 7.38 | 7.13 | 6.89 | 6.66 | 6.44 | 6.24 | 6.05 | 5.88 | 5.73 | 5.57 |
| | 排 出 量 | 年間ごみ量 [t/年度] | 9,399 | 9,360 | 9,666 | 9,874 | 9,485 | 9,191 | 8,895 | 8,599 | 8,307 | 8,030 | 7,767 | 7,523 | 7,300 | 7,096 | 6,906 | 6,720 |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 25.75 | 25.64 | 26.48 | 27.05 | 25.99 | 25.18 | 24.37 | 23.56 | 22.76 | 22.00 | 21.26 | 20.61 | 20.00 | 19.44 | 18.92 | 18.41 |
| | | 原単位 [g/人/日] | 1,133.4 | 1,152.3 | 1,214.3 | 1,270.9 | 1,250.5 | 1,244.8 | 1,239.1 | 1,233.5 | 1,227.6 | 1,222.2 | 1,215.3 | 1,210.6 | 1,204.9 | 1,199.3 | 1,193.8 | 1,188.3 |

表 8-2 処理内訳の推計結果 【新上五島町】

| 《 追加対策 》 | | | 年 度 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|--------------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| | | | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 | H37 | | |
| ごみ内訳 | 可燃ごみ | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 6,317 | 6,106 | 5,905 | 5,698 | 5,500 | 5,318 | 5,146 | 4,989 | 4,847 | 4,711 | 4,581 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 17.31 | 16.73 | 16.18 | 15.61 | 15.07 | 14.57 | 14.10 | 13.67 | 13.28 | 12.91 | 12.55 | |
| | 不燃ごみ | — | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,475 | 1,424 | 1,365 | 1,314 | 1,267 | 1,219 | 1,175 | 1,135 | 1,099 | 1,066 | 1,033 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 4.04 | 3.90 | 3.74 | 3.60 | 3.47 | 3.34 | 3.22 | 3.11 | 3.01 | 2.92 | 2.83 | |
| | 埋立処分 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,209 | 1,167 | 1,119 | 1,077 | 1,039 | 999 | 963 | 930 | 901 | 874 | 847 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.31 | 3.20 | 3.07 | 2.95 | 2.85 | 2.74 | 2.64 | 2.55 | 2.47 | 2.39 | 2.32 | |
| | 資源ごみ処理施設 【不燃ごみの18.03%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 266 | 257 | 246 | 237 | 228 | 220 | 212 | 205 | 198 | 192 | 186 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.73 | 0.70 | 0.67 | 0.65 | 0.62 | 0.60 | 0.58 | 0.56 | 0.54 | 0.53 | 0.51 | |
| | 粗大可燃ごみ | — | 年間ごみ量 [t/年度] | 613 | 592 | 566 | 543 | 525 | 503 | 488 | 471 | 456 | 441 | 427 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.67 | 1.62 | 1.55 | 1.48 | 1.44 | 1.38 | 1.33 | 1.29 | 1.25 | 1.21 | 1.17 | |
| | 粗大ごみ処理施設 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 447 | 431 | 412 | 396 | 382 | 366 | 355 | 343 | 332 | 321 | 311 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.22 | 1.18 | 1.13 | 1.08 | 1.05 | 1.00 | 0.97 | 0.94 | 0.91 | 0.88 | 0.85 | |
| | 資源ごみ処理施設 【粗大可燃ごみの27.16%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 166 | 161 | 154 | 147 | 143 | 137 | 133 | 128 | 124 | 120 | 116 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.45 | 0.44 | 0.42 | 0.40 | 0.39 | 0.38 | 0.36 | 0.35 | 0.34 | 0.33 | 0.32 | |
| 資源ごみ | — | 年間ごみ量 [t/年度] | 786 | 773 | 763 | 752 | 738 | 727 | 714 | 705 | 694 | 688 | 679 | | |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 2.15 | 2.12 | 2.09 | 2.06 | 2.02 | 1.99 | 1.95 | 1.93 | 1.90 | 1.88 | 1.86 | | |
| 中間処理内訳 | 焼却処理量計 | — | 年間ごみ量 [t/年度] | 7,106 | 6,869 | 6,639 | 6,407 | 6,186 | 5,981 | 5,788 | 5,612 | 5,451 | 5,301 | 5,154 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 19.47 | 18.82 | 18.19 | 17.55 | 16.95 | 16.38 | 15.86 | 15.38 | 14.94 | 14.53 | 14.12 | |
| | 直接焼却量 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 6,317 | 6,106 | 5,905 | 5,698 | 5,500 | 5,318 | 5,146 | 4,989 | 4,847 | 4,711 | 4,581 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 17.31 | 16.73 | 16.18 | 15.61 | 15.07 | 14.57 | 14.10 | 13.67 | 13.28 | 12.91 | 12.55 | |
| | 中間処理施設からの可燃物 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 789 | 763 | 734 | 709 | 686 | 663 | 642 | 623 | 604 | 590 | 573 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 2.16 | 2.09 | 2.01 | 1.94 | 1.88 | 1.81 | 1.76 | 1.71 | 1.66 | 1.62 | 1.57 | |
| | 資源ごみ処理施設 | — | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,218 | 1,191 | 1,163 | 1,136 | 1,109 | 1,084 | 1,059 | 1,038 | 1,016 | 1,000 | 981 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.35 | 3.27 | 3.18 | 3.12 | 3.04 | 2.98 | 2.91 | 2.86 | 2.79 | 2.75 | 2.69 | |
| | 焼却処理 | 焼却 | 年間ごみ量 [t/年度] | 342 | 332 | 322 | 313 | 304 | 297 | 287 | 280 | 272 | 269 | 262 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.94 | 0.91 | 0.88 | 0.86 | 0.83 | 0.81 | 0.79 | 0.77 | 0.75 | 0.74 | 0.72 | |
| | 埋立処理 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 159 | 154 | 150 | 146 | 141 | 138 | 133 | 130 | 126 | 125 | 121 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.44 | 0.42 | 0.41 | 0.40 | 0.39 | 0.38 | 0.36 | 0.36 | 0.35 | 0.34 | 0.33 | |
| | 資源化 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 717 | 705 | 691 | 677 | 664 | 649 | 639 | 628 | 618 | 606 | 598 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.97 | 1.94 | 1.89 | 1.86 | 1.82 | 1.79 | 1.76 | 1.73 | 1.69 | 1.67 | 1.64 | |
| | 缶 【回収量の86.21%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 102 | 100 | 97 | 94 | 91 | 88 | 86 | 84 | 82 | 80 | 78 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.28 | 0.27 | 0.27 | 0.26 | 0.25 | 0.24 | 0.24 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.21 | |
| | びん 【回収量の86.21%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 146 | 144 | 139 | 135 | 131 | 127 | 124 | 121 | 118 | 115 | 112 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.40 | 0.39 | 0.38 | 0.37 | 0.36 | 0.35 | 0.34 | 0.33 | 0.32 | 0.32 | 0.31 | |
| | ペットボトル 【回収量の86.21%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 58 | 57 | 55 | 53 | 52 | 50 | 49 | 48 | 47 | 46 | 44 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.16 | 0.16 | 0.15 | 0.15 | 0.14 | 0.14 | 0.13 | 0.13 | 0.13 | 0.13 | 0.12 | |
| | 金属類(破砕) 【回収量の42.07%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 139 | 137 | 133 | 131 | 130 | 127 | 126 | 124 | 124 | 120 | 120 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.38 | 0.38 | 0.36 | 0.36 | 0.36 | 0.35 | 0.35 | 0.34 | 0.34 | 0.33 | 0.33 | |
| | 発泡スチロール・トレー 【回収量の70.23%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | 0.02 | |
| | 段ボール 【回収量の88.67%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 141 | 138 | 138 | 136 | 133 | 130 | 128 | 126 | 123 | 121 | 120 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.39 | 0.38 | 0.38 | 0.37 | 0.36 | 0.36 | 0.35 | 0.35 | 0.34 | 0.33 | 0.33 | |
| | 新聞紙 【回収量の84.53%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 47 | 46 | 45 | 43 | 42 | 41 | 41 | 39 | 38 | 37 | 37 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.13 | 0.13 | 0.12 | 0.12 | 0.12 | 0.11 | 0.11 | 0.11 | 0.10 | 0.10 | 0.10 | |
| | その他(有害ごみ等) 【回収量の36.99%】 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 76 | 76 | 77 | 78 | 78 | 79 | 79 | 80 | 80 | 81 | 81 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.21 | 0.21 | 0.21 | 0.21 | 0.21 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | 0.22 | |
| | 資源化の合計 | 資源化 | 年間ごみ量 [t/年度] | 717 | 705 | 691 | 677 | 664 | 649 | 639 | 628 | 618 | 606 | 598 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.97 | 1.94 | 1.89 | 1.86 | 1.82 | 1.79 | 1.76 | 1.73 | 1.69 | 1.67 | 1.64 | |
| | 粗大ごみ処理施設 | 破砕 | 年間ごみ量 [t/年度] | 447 | 431 | 412 | 396 | 382 | 366 | 355 | 343 | 332 | 321 | 311 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.22 | 1.18 | 1.13 | 1.08 | 1.05 | 1.00 | 0.97 | 0.94 | 0.91 | 0.88 | 0.85 | |
| 最終処分内訳 | 焼却処理後の残渣 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 639 | 618 | 598 | 577 | 557 | 538 | 520 | 505 | 491 | 477 | 464 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.76 | 1.70 | 1.64 | 1.60 | 1.54 | 1.49 | 1.44 | 1.40 | 1.36 | 1.33 | 1.29 | |
| | 焼却灰 【焼却量の6.4%】 | — | 年間ごみ量 [t/年度] | 454 | 439 | 425 | 410 | 396 | 382 | 370 | 359 | 349 | 339 | 330 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.25 | 1.21 | 1.17 | 1.14 | 1.10 | 1.06 | 1.03 | 1.00 | 0.97 | 0.95 | 0.92 | |
| | 主灰 【焼却灰の80.8%】 | 熔融 | 年間ごみ量 [t/年度] | 367 | 355 | 343 | 331 | 320 | 309 | 299 | 290 | 282 | 274 | 267 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.01 | 0.98 | 0.95 | 0.92 | 0.89 | 0.86 | 0.84 | 0.81 | 0.79 | 0.77 | 0.75 | |
| | 熔融不適物 【焼却灰の19.2%】 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 87 | 84 | 82 | 79 | 76 | 73 | 71 | 69 | 67 | 65 | 63 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.24 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.21 | 0.20 | 0.19 | 0.19 | 0.18 | 0.18 | 0.17 | |
| | 飛灰 【焼却量の2.6%】 | 熔融 | 年間ごみ量 [t/年度] | 185 | 179 | 173 | 167 | 161 | 156 | 150 | 146 | 142 | 138 | 134 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.51 | 0.49 | 0.47 | 0.46 | 0.44 | 0.43 | 0.41 | 0.40 | 0.39 | 0.38 | 0.37 | |
| | 埋立処分計 | — | 年間ごみ量 [t/年度] | 2,104 | 2,033 | 1,958 | 1,888 | 1,822 | 1,757 | 1,695 | 1,642 | 1,593 | 1,549 | 1,503 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 5.78 | 5.58 | 5.37 | 5.19 | 5.01 | 4.83 | 4.66 | 4.52 | 4.39 | 4.26 | 4.13 | |
| | 直接埋立 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 1,209 | 1,167 | 1,119 | 1,077 | 1,039 | 999 | 963 | 930 | 901 | 874 | 847 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 3.31 | 3.20 | 3.07 | 2.95 | 2.85 | 2.74 | 2.64 | 2.55 | 2.47 | 2.39 | 2.32 | |
| | 資源ごみ処理からの処理残渣 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 159 | 154 | 150 | 146 | 141 | 138 | 133 | 130 | 126 | 125 | 121 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.44 | 0.42 | 0.41 | 0.40 | 0.39 | 0.38 | 0.36 | 0.36 | 0.35 | 0.34 | 0.33 | |
| | 焼却処理施設からの処理残渣 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 736 | 712 | 689 | 665 | 642 | 620 | 599 | 582 | 566 | 550 | 535 | |
| | | | 1日ごみ量 [t/日] | 2.03 | 1.96 | 1.89 | 1.84 | 1.77 | 1.71 | 1.66 | 1.61 | 1.57 | 1.53 | 1.48 | |
| 熔融スラグ 【熔融量(主灰+飛灰)の100.0%】 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 552 | 534 | 516 | 498 | 481 | 465 | 449 | 436 | 424 | 412 | 401 | | |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 1.52 | 1.47 | 1.42 | 1.38 | 1.33 | 1.29 | 1.25 | 1.21 | 1.18 | 1.15 | 1.12 | | |
| 飛灰熔融固化物 【熔融量(主灰+飛灰)の17.6%】 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 97 | 94 | 91 | 88 | 85 | 82 | 79 | 77 | 75 | 73 | 71 | | |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.27 | 0.26 | 0.25 | 0.24 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.21 | 0.21 | 0.20 | 0.19 | | |
| 熔融不適物 | 埋立 | 年間ごみ量 [t/年度] | 87 | 84 | 82 | 79 | 76 | 73 | 71 | 69 | 67 | 65 | 63 | | |
| | | 1日ごみ量 [t/日] | 0.24 | 0.23 | 0.22 | 0.22 | 0.21 | 0.20 | 0.19 | 0.19 | 0.18 | 0.18 | 0.17 | | |
| 排出量 | | | 9,191 | 8,895 | 8,599 | 8,307 | 8,030 | 7,767 | 7,523 | 7,300 | 7,096 | 6,906 | 6,720 | | |
| 資源化量 | | | 717 | 705 | 691 | 677 | 664 | 649 | 639 | 628 | 618 | 606 | 598 | | |
| 埋立量 | | | 2,104 | 2,033 | 1,958 | 1,888 | 1,822 | 1,757 | 1,695 | 1,642 | 1,593 | 1,549 | 1,503 | | |
| リサイクル率 | | | 7.8% | 7.9% | 8.0% | 8.1% | 8.3% | 8.4% | 8.5% | 8.6% | 8.7% | 8.8% | 8.9% | | |
| 最終処分量 | | | 22.9% | 22.9% | 22.8% | 22.7% | 22.7% | 22.6% | 22.5% | 22.5% | 22.4% | 22.4% | 22.4% | | |

し尿量・汚泥量の将来予測

1 生活排水処理形態別人口の推計方法



生活排水処理形態別人口の推計方法を図 1-1 に示す。

図 1-1 生活排水処理形態別人口の推計方法

2 生活排水処理形態別人口の推計

2-1 行政区域内人口

行政区域内人口の実績を表 2-1-1 に示す。行政区域内人口は、総合計画の人口を用いる。行政区域内人口の推計値を表 2-1-2 に示す。

表 2-1-1 行政区域内人口の実績

単位：人

| 年度 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 |
|---------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 行政区域内人口 | 25,654 | 24,959 | 24,299 | 23,719 | 23,210 |
| 前年差 | — | -659 | -660 | -580 | -509 |
| 前年比 | — | 0.97291 | 0.97356 | 0.97613 | 0.97854 |

| 年度 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 行政区域内人口 | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 |
| 前年差 | -490 | -466 | -445 | -524 | -505 |
| 前年比 | 0.97889 | 0.97949 | 0.98000 | 0.97597 | 0.97627 |

表 2-1-2 行政区域内人口の推計値

| 年度 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 行政区域内人口 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 |

| 年度 | H32 | H33 | H34 | H35 | H36 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 行政区域内人口 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 |

| 年度 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 行政区域内人口 | 15,493 | 15,110 | 14,654 | 14,067 | 13,274 |

2-2 コミュニティ・プラント人口

コミュニティ・プラントの施設概要を表 2-2-1 に示す。コミュニティ・プラント人口の推計結果を表 2-2-2 に示す。

表 2-2-1 コミュニティ・プラントの施設概要

| | |
|--------|---------------------------|
| 施設名 | 浦浜地域し尿処理施設 |
| 所在地 | 新上五島町浦桑郷 1402 番地 |
| 排水の種類 | 合併排水（し尿＋雑排水） |
| 計画処理人口 | 630 人 |
| 計画水量 | 240 m ³ /日（最大） |
| 処理時間 | 24h/日 |
| 処理方式 | FRP浄化槽による接触ばっ気方式 |
| 管理・運営 | 委託 |

表 2-2-2 コミュニティ・プラント人口の推計結果

| | | 年度 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
|-------------|----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人 口 等 | 行政区域内人口（外国人含む） | [人] | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 |
| | 計画処理区域内人口 | [人] | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 |
| | 非水洗化人口 | [人] | 14,492 | 13,895 | 13,300 | 12,715 | 12,154 | 11,628 | 11,143 | 10,702 |
| | 計画収集人口 | [人] | 14,041 | 13,488 | 12,937 | 12,397 | 11,880 | 11,398 | 10,958 | 10,561 |
| | 自家処理人口 | [人] | 451 | 407 | 363 | 318 | 274 | 230 | 185 | 141 |
| | 水洗化人口 | [人] | 5,737 | 5,772 | 5,800 | 5,825 | 5,847 | 5,866 | 5,883 | 5,897 |
| | コミュニティプラント人口 | [人] | 251 | 254 | 256 | 258 | 260 | 262 | 263 | 264 |
| | 浄化槽人口 | [人] | 5,486 | 5,518 | 5,544 | 5,567 | 5,587 | 5,604 | 5,620 | 5,633 |
| | 合併処理浄化槽 | [人] | 5,068 | 5,122 | 5,167 | 5,206 | 5,241 | 5,272 | 5,300 | 5,325 |
| | 単独処理浄化槽 | [人] | 418 | 396 | 377 | 361 | 346 | 332 | 320 | 308 |
| 計画処理区域外人口 | [人] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

| | | 年度 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 |
|-------------|----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人 口 等 | 行政区域内人口（外国人含む） | [人] | 16,211 | 15,849 | 15,493 | 15,110 | 14,654 | 14,067 | 13,274 |
| | 計画処理区域内人口 | [人] | 16,211 | 15,849 | 15,493 | 15,110 | 14,654 | 14,067 | 13,274 |
| | 非水洗化人口 | [人] | 10,298 | 9,923 | 9,555 | 9,161 | 8,694 | 8,098 | 7,296 |
| | 計画収集人口 | [人] | 10,201 | 9,871 | 9,555 | 9,161 | 8,694 | 8,098 | 7,296 |
| | 自家処理人口 | [人] | 97 | 52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 水洗化人口 | [人] | 5,913 | 5,926 | 5,938 | 5,949 | 5,960 | 5,969 | 5,978 |
| | コミュニティプラント人口 | [人] | 266 | 267 | 268 | 269 | 270 | 270 | 271 |
| | 浄化槽人口 | [人] | 5,647 | 5,659 | 5,670 | 5,680 | 5,690 | 5,699 | 5,707 |
| | 合併処理浄化槽 | [人] | 5,349 | 5,371 | 5,391 | 5,410 | 5,428 | 5,444 | 5,460 |
| | 単独処理浄化槽 | [人] | 298 | 288 | 279 | 270 | 262 | 255 | 247 |
| 計画処理区域外人口 | [人] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

2-3 合併処理浄化槽人口

合併処理浄化槽については、表 2-3-1 に示すとおり設置を推進する計画である。よって、合併処理浄化槽人口については、以下の式により算出する。

$$\text{合併処理浄化槽人口} = \text{前年度合併処理浄化槽人口} + \text{当該年度合併処理浄化槽設置基数} \times \text{人槽別計画人口}$$

表 2-3-1 合併処理浄化槽整備計画

| 年度 | 人槽別 計画人口 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32～ |
|---------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 5人槽 | 5人 | 10基 | 10基 | 10基 | 10基 | 10基 | 10基 |
| 6～7人槽 | 7人 | 11基 | 10基 | 10基 | 10基 | 10基 | 10基 |
| 8～10人槽 | 9人 | 1基 | 1基 | 1基 | 1基 | 1基 | 1基 |
| 11～20人槽 | 11人 | 1基 | 1基 | 1基 | 1基 | 1基 | 1基 |
| 21～30人槽 | 22人 | 1基 | 0基 | 0基 | 0基 | 0基 | 0基 |
| 31～50人槽 | 28人 | 1基 | 0基 | 0基 | 0基 | 0基 | 0基 |

2-4 自家処理人口

自家処理人口は、平成 37 年度までに 0 人とすることを目標とする。なお、平成 37 年度までは均等に減少するものとした。

2-5 単独処理浄化槽人口

単独処理浄化槽人口は、平成 22 年度から平成 26 年度までの実績をもとに算出した。

2-6 計画収集人口

計画収集人口は以下の式により算出した。

$$\text{計画収集人口} = \text{行政区域内人口} - \text{コミュニティ・プラント人口} - \text{合併処理浄化槽人口} - \text{自家処理人口} - \text{単独処理浄化槽人口}$$

3 し尿等原単位の推計

3-1 し尿原単位の推計

し尿原単位の実績を表 3-1-1、推計結果を表 3-1-2 に示す。

推計については、微増傾向を示す対数回帰法を採用する。

表 3-1-1 し尿原単位の実績

単位：ℓ/人・日

| 年度 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
|-------|------|---------|---------|---------|---------|
| し尿原単位 | 3.16 | 3.22 | 3.38 | 3.39 | 3.56 |
| 前年差 | — | 0.06 | 0.16 | 0.01 | 0.17 |
| 前年比 | — | 1.01899 | 1.04969 | 1.00296 | 1.05015 |

表 3-1-2 し尿原単位の推計結果（対数回帰法による）

単位：ℓ/人・日

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 原単位 | 3.47 | 3.50 | 3.52 | 3.54 | 3.56 | 3.58 | 3.59 | 3.61 |

| | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 原単位 | 3.62 | 3.64 | 3.65 | 3.66 | 3.67 | 3.68 | 3.69 |

3-2 浄化槽汚泥単位の推計

浄化槽汚泥原単位の実績を表 3-2-1、推計結果を表 3-2-2 に示す。

推計については、微増傾向を示す対数回帰法を採用する。

表 3-2-1 浄化槽汚泥原単位の実績

単位：ℓ/人・日

| 年度 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 |
|-------|------|---------|---------|---------|---------|
| し尿原単位 | 1.94 | 1.96 | 2.04 | 2.02 | 1.97 |
| 前年差 | — | 0.02 | 0.08 | -0.02 | -0.05 |
| 前年比 | — | 1.01031 | 1.04082 | 0.99020 | 0.97525 |

表 3-2-2 浄化槽汚泥原単位の推計結果

単位：ℓ/人・日

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 対数回帰法 | 2.04 | 2.05 | 2.05 | 2.05 | 2.05 | 2.04 | 2.05 | 2.05 |

| | H35 | H36 | H37 | H38 | H39 | H40 | H41 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 対数回帰法 | 2.05 | 2.05 | 2.06 | 2.06 | 2.06 | 2.06 | 2.07 |

3-3 し尿等の排出量の推計結果

し尿等の排出量の推計結果を表 3-3-1 に示す。

表3-1-1 し尿等排出量の実績及び推計結果

| 年度 | | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | | |
|-----------------|----------------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人 | 行政区域内人口（外国人含む） | [人] | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | 15,110 | 14,654 | 14,067 | 13,274 | |
| | 計画処理区域内人口 | [人] | 22,720 | 22,254 | 21,809 | 21,285 | 20,780 | 20,229 | 19,667 | 19,100 | 18,540 | 18,001 | 17,494 | 17,026 | 16,599 | 16,211 | 15,849 | 15,493 | 15,110 | 14,654 | 14,067 | 13,274 | |
| | 非水洗化人口 | [人] | 17,015 | 16,745 | 16,253 | 15,692 | 15,088 | 14,492 | 13,895 | 13,300 | 12,715 | 12,154 | 11,628 | 11,143 | 10,702 | 10,298 | 9,923 | 9,555 | 9,161 | 8,694 | 8,098 | 7,296 | |
| | 計画収集人口 | [人] | 16,203 | 16,147 | 15,669 | 15,145 | 14,560 | 14,041 | 13,488 | 12,937 | 12,397 | 11,880 | 11,398 | 10,958 | 10,561 | 10,201 | 9,871 | 9,555 | 9,161 | 8,694 | 8,098 | 7,296 | |
| | 自家処理人口 | [人] | 812 | 598 | 584 | 547 | 528 | 451 | 407 | 363 | 318 | 274 | 230 | 185 | 141 | 97 | 52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 水洗化人口 | [人] | 5,705 | 5,509 | 5,556 | 5,593 | 5,692 | 5,737 | 5,772 | 5,800 | 5,825 | 5,847 | 5,866 | 5,883 | 5,897 | 5,913 | 5,926 | 5,938 | 5,949 | 5,960 | 5,969 | 5,978 | |
| | コミュニティプラント人口 | [人] | 333 | 252 | 232 | 241 | 247 | 251 | 254 | 256 | 258 | 260 | 262 | 263 | 264 | 266 | 267 | 268 | 269 | 270 | 270 | 271 | |
| | 浄化槽人口 | [人] | 5,372 | 5,257 | 5,324 | 5,352 | 5,445 | 5,486 | 5,518 | 5,544 | 5,567 | 5,587 | 5,604 | 5,620 | 5,633 | 5,647 | 5,659 | 5,670 | 5,680 | 5,690 | 5,699 | 5,707 | |
| | 合併処理浄化槽 | [人] | 4,749 | 4,649 | 4,722 | 4,850 | 5,096 | 5,068 | 5,122 | 5,167 | 5,206 | 5,241 | 5,272 | 5,300 | 5,325 | 5,349 | 5,371 | 5,391 | 5,410 | 5,428 | 5,444 | 5,460 | |
| | 単独処理浄化槽 | [人] | 623 | 608 | 602 | 502 | 349 | 418 | 396 | 377 | 361 | 346 | 332 | 320 | 308 | 298 | 288 | 279 | 270 | 262 | 255 | 247 | |
| 計画処理区域外人口 | [人] | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 生活排水処理率 | | 22.4% | 22.0% | 22.7% | 23.9% | 25.7% | 26.3% | 27.3% | 28.4% | 29.5% | 30.6% | 31.6% | 32.7% | 33.7% | 34.6% | 35.6% | 36.5% | 37.6% | 38.9% | 40.6% | 43.2% | | |
| 排出量 | し尿 | 年間排出量 | [kℓ/年] | 19,615 | 19,683 | 20,032 | 19,420 | 19,585 | 18,355 | 17,751 | 17,088 | 16,429 | 15,793 | 15,194 | 14,601 | 14,101 | 13,607 | 13,184 | 12,730 | 12,238 | 11,646 | 10,877 | 9,827 |
| | | 1日排出量 | [kℓ/日] | 53.74 | 53.93 | 54.88 | 53.21 | 53.66 | 50.29 | 48.63 | 46.82 | 45.01 | 43.27 | 41.63 | 40.00 | 38.63 | 37.28 | 36.12 | 34.88 | 33.53 | 31.91 | 29.80 | 26.92 |
| | | 原単位 | [ℓ/人/日] | 3.16 | 3.22 | 3.38 | 3.39 | 3.56 | 3.47 | 3.50 | 3.52 | 3.54 | 3.56 | 3.58 | 3.59 | 3.61 | 3.62 | 3.64 | 3.65 | 3.66 | 3.67 | 3.68 | 3.69 |
| | 浄化槽汚泥 | 年間排出量 | [kℓ/年] | 4,049 | 3,944 | 4,131 | 4,119 | 4,103 | 4,230 | 4,256 | 4,298 | 4,316 | 4,354 | 4,368 | 4,402 | 4,412 | 4,424 | 4,434 | 4,465 | 4,473 | 4,481 | 4,488 | 4,517 |
| | | 1日排出量 | [kℓ/日] | 11.09 | 10.81 | 11.32 | 11.28 | 11.24 | 11.59 | 11.66 | 11.78 | 11.82 | 11.93 | 11.97 | 12.06 | 12.09 | 12.12 | 12.15 | 12.23 | 12.25 | 12.28 | 12.30 | 12.38 |
| | | 原単位 | [ℓ/人/日] | 1.94 | 1.96 | 2.04 | 2.02 | 1.97 | 2.02 | 2.02 | 2.03 | 2.03 | 2.04 | 2.04 | 2.05 | 2.05 | 2.05 | 2.05 | 2.06 | 2.06 | 2.06 | 2.06 | 2.07 |
| | 合計 | 年間排出量 | [kℓ/年度] | 23,664 | 23,627 | 24,163 | 23,539 | 23,688 | 22,585 | 22,007 | 21,386 | 20,745 | 20,147 | 19,562 | 19,003 | 18,513 | 18,031 | 17,618 | 17,195 | 16,711 | 16,127 | 15,365 | 14,344 |
| | | 1日排出量 | [kℓ/日] | 64.83 | 64.73 | 66.20 | 64.49 | 64.90 | 61.88 | 60.29 | 58.59 | 56.84 | 55.20 | 53.59 | 52.06 | 50.72 | 49.40 | 48.27 | 47.11 | 45.78 | 44.18 | 42.10 | 39.30 |
| | 割合 (一日量) | し尿 | | 82.89% | 83.31% | 82.90% | 82.50% | 82.68% | 81.27% | 80.66% | 79.90% | 79.19% | 78.39% | 77.67% | 76.84% | 76.17% | 75.46% | 74.83% | 74.03% | 73.23% | 72.21% | 70.79% | 68.51% |
| 浄化槽汚泥 | | | 17.11% | 16.69% | 17.10% | 17.50% | 17.32% | 18.73% | 19.34% | 20.10% | 20.81% | 21.61% | 22.33% | 23.16% | 23.83% | 24.54% | 25.17% | 25.97% | 26.77% | 27.79% | 29.21% | 31.49% | |
| し尿年間排出量のうち自家処理量 | 年間排出量 | [kℓ/年] | 882 | 662 | 701 | 657 | 568 | 516 | 465 | 413 | 361 | 310 | 258 | 207 | 155 | 103 | 52 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 1日排出量 | [kℓ/日] | 2.42 | 1.81 | 1.92 | 1.80 | 1.56 | 1.41 | 1.27 | 1.13 | 0.99 | 0.85 | 0.71 | 0.57 | 0.42 | 0.28 | 0.14 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 原単位 | [ℓ/人/日] | 3.88 | 2.98 | 3.19 | 3.59 | 4.46 | 3.38 | 3.22 | 3.00 | 2.74 | 2.45 | 2.13 | 1.77 | 1.38 | 0.95 | 0.49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |